

「世田谷区子ども計画」ニーズ調査
調査結果報告書

目次

I 調査概要	1
II 調査結果	2
1 子どもと家族の状況について	2
(1) 対象児童の年齢	2
(2) 子どもの人数	2
(3) 末子の年齢	3
(4) 居住地域	3
(5) 同居・近居の状況	4
(6) 身の回りの世話を主にしている方	5
(7) 日頃、お子さんを預かってもらえる人	6
(8) 祖父母・友人に預かってもらっている状況	7
2 就労状況について	9
(1) 父親の就労状況	9
(2) 母親の就労状況	9
(3) 父親の就労状況の詳細	10
(4) 母親の就労状況の詳細	12
(5) 現在未就労の母親の就労希望	15
(6) 就労希望がある母親の就労希望の形態	16
(7) 現在働いていない理由	18
(8) 出産と離職	19
(9) 育児休業制度について	20
3 様々な子育て支援サービスについて	23
(1) 保育サービスの定期的な利用	23
(2) 保育サービスの希望	26
(3) 土・休日保育について	29
(4) 夜間の保育について	31
(5) 子どもが休んだときの対応	33
(6) 子どもの一時預かりについて	37
(7) 夜間の一時預かりについて	39
(8) 宿泊を伴う一時預かりについて	41
(9) ふれあい子育て支援事業について	44
(10) ベビーシッターについて	46
(11) 子育てひろばについて	47
(12) 子育て支援サービスの認知度・利用度	50

4	放課後の過ごし方について	53
(1)	新 BOP 内学童クラブの利用状況	53
(2)	BOP の利用意向	56
(3)	小学 4 年生以降の放課後の過ごし方	57
(4)	放課後過ごす場所として重要だと思う事柄	59
(5)	小学校に入学後の放課後の過ごし方	60
5	子育てについて	61
(1)	子育て情報の入手方法	61
(2)	子育てについての感想	62
(3)	子育てについての心配ごとや悩みごと	63
(4)	心配ごとや悩みごとの相談相手	64
(5)	子育てについての相談や学習についての要望	66
(6)	子育てしやすい社会について	67
6	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についての意識	69
(1)	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の理想と現実について	69
(2)	仕事と生活の調和が実現された社会に近づくために必要な取組み	71
7	アンケート回答者の属性	73
(1)	アンケート回答者	73
(2)	回答者の年代	73
Ⅲ	質問と回答（調査票）	75
1	就学前児童アンケート	75
2	就学児童アンケート	95

I 調査概要

1. 調査目的

この調査は、次世代育成支援対策推進法に基づく地域行動計画の策定のため、全国の自治体の共通項目による調査に世田谷区における地域行動計画である「世田谷区子ども計画」の見直しのための独自項目を加え、今後の区の子育て支援等の検討を資することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 世田谷区全域
- (2) 調査対象 平成20年4月現在、世田谷区内在住の0歳から9歳までの乳幼児の保護者
- (3) 標本数 各年齢600名ずつ、計6,000名
- (4) 調査方法 0歳～5歳の3,600名を就学前児童、6歳～9歳の2,400名を就学児童として異なる調査票を用いて郵送により対象者に送付、郵送回収にて調査を実施
- (5) 抽出方法 住民記録台帳から無作為に抽出
- (6) 調査時期 平成20年10月1日～10月31日

本調査は、就学前（0～5歳児）のお子さんをもつ家庭と、就学後小学3年生までの（6～9歳）お子さんをもつ家庭に別々の調査票を用いて行った。調査票には、就学前児童と就学児童共通の項目（家庭状況や終了状況など）と異なる項目（様々なサービスの利用状況など）がある。

3. 回収結果(有効回収数)

- (1) 就学前児童 1,942名 回収率 53.9%
- (2) 就学児童 1,297名 回収率 54.0%
- (3) 全児童計 3,239名 回収率 54.0%

4. データの見方

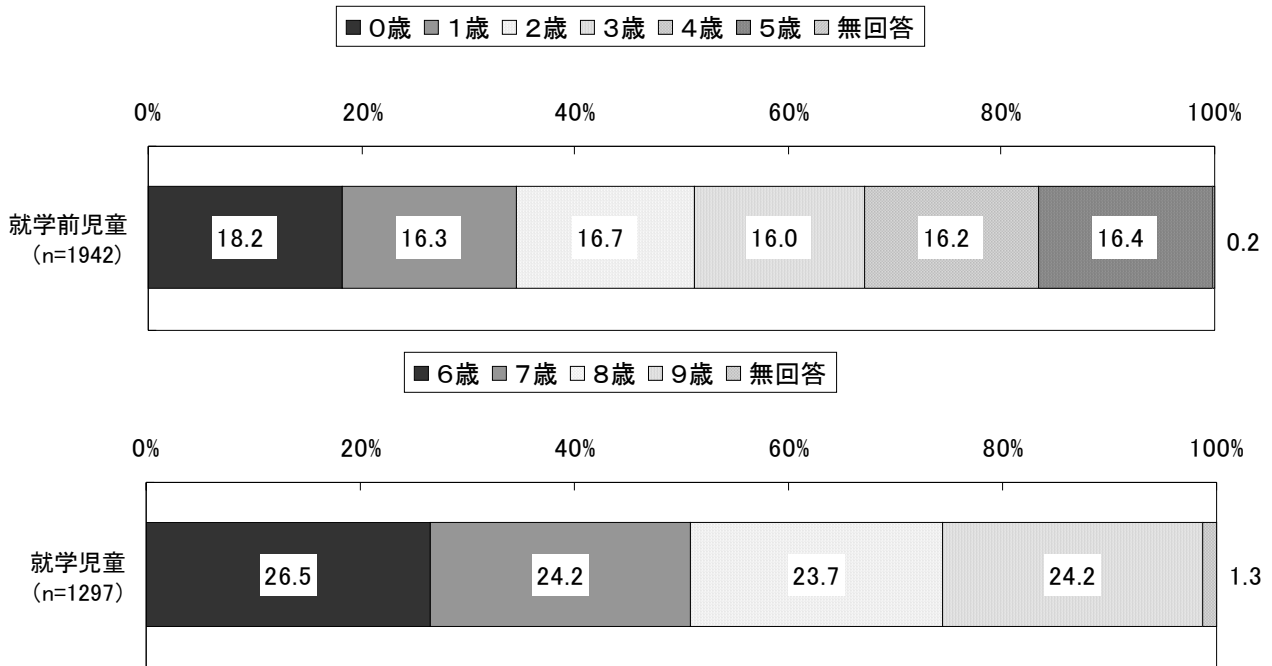
- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。そのため合計比が100%にならないことがある。
- 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- 基数が就学前児童は100未満、就学児童は65未満となる項目は、グラフを作成せず、回答の構成比のみを記述した。（一部例外あり）

Ⅱ 調査結果

1 子どもと家族の状況について

(1) 対象児童の年齢

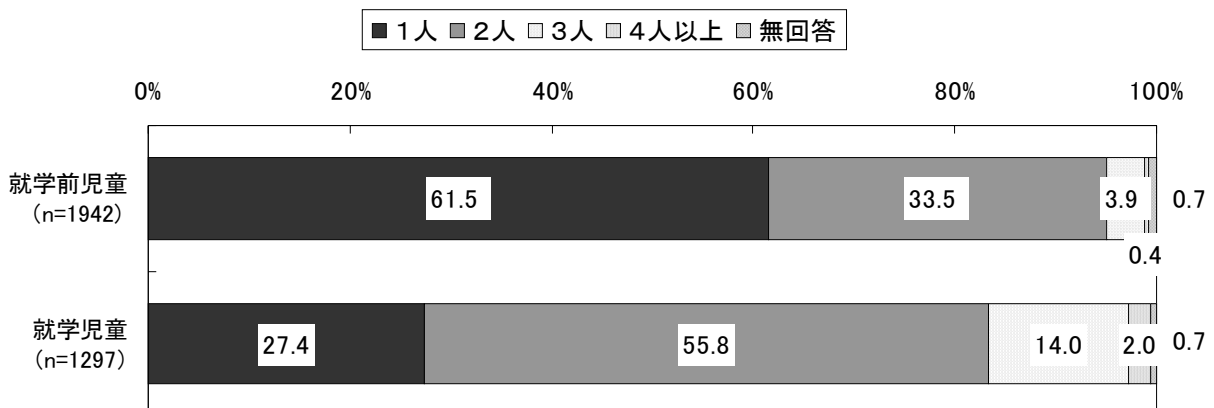
【基数：全体】



(2) 子どもの人数

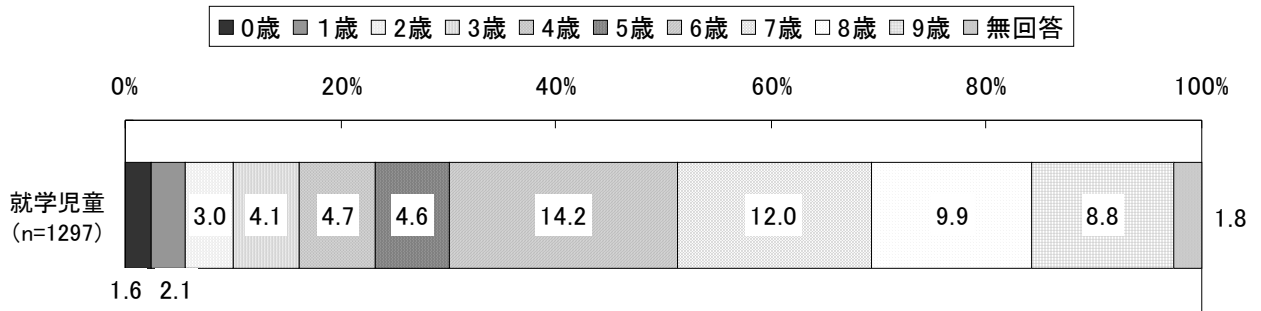
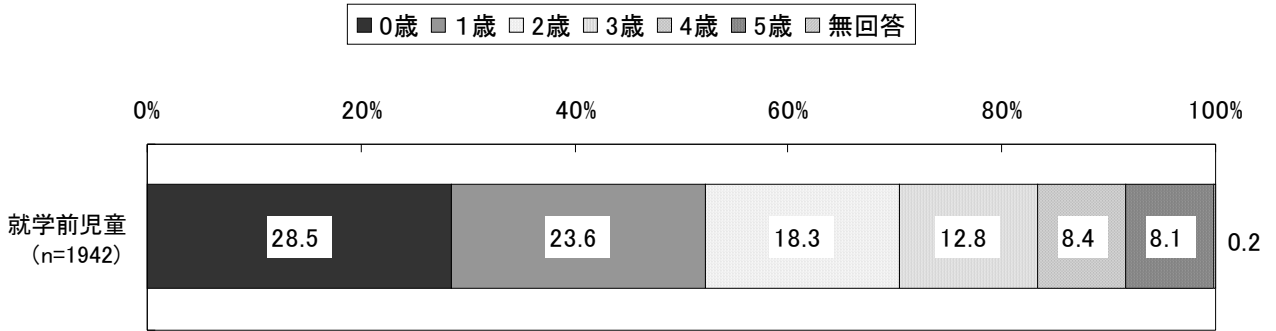
就学前児童では「1人」が最も多い（61.5%）のに対し、就学児童では「2人」が最も多かった。（55.8%）

【基数：全体】



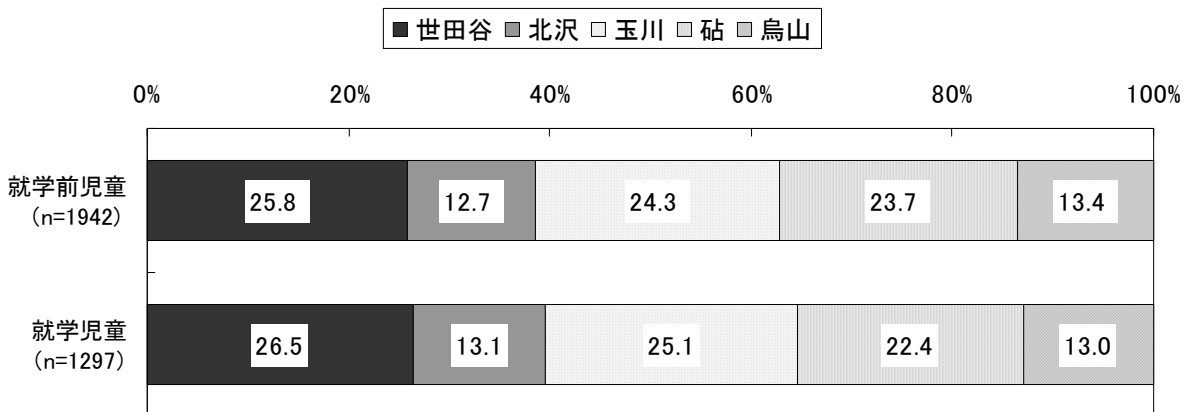
(3) 末子の年齢

【基数：全体】



(4) 居住地域

【基数：全体】



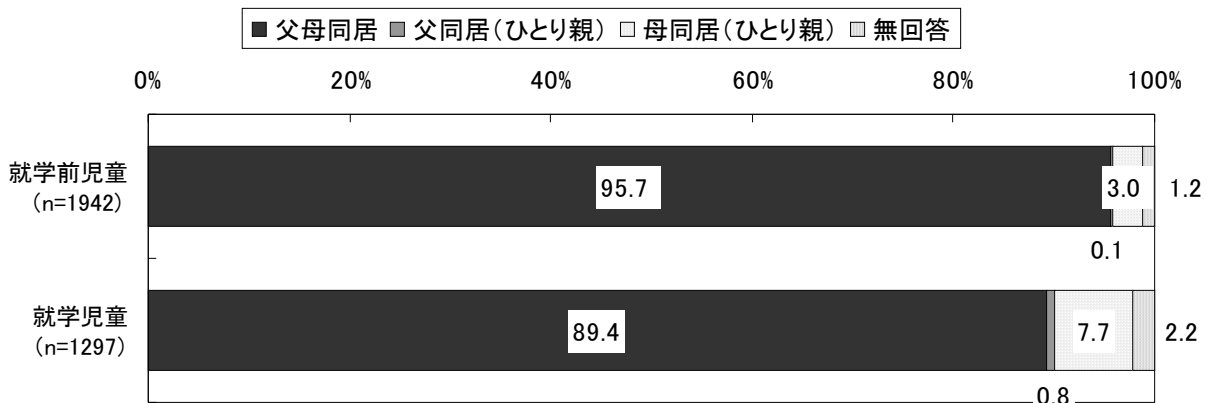
(5) 同居・近居の状況

父母の同居・近居状況は、就学前、就学児童とも「父母同居」が大部分を占めた。
 祖父母の同居・近居状況は、就学前、就学児童とも 6 割ぐらいの人が「同・近居でない」と回答しており、近居は 2 割強、同居は 1 割程度であった。

〔設問〕 あて名のお子さんの父、母、祖父、祖母の同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

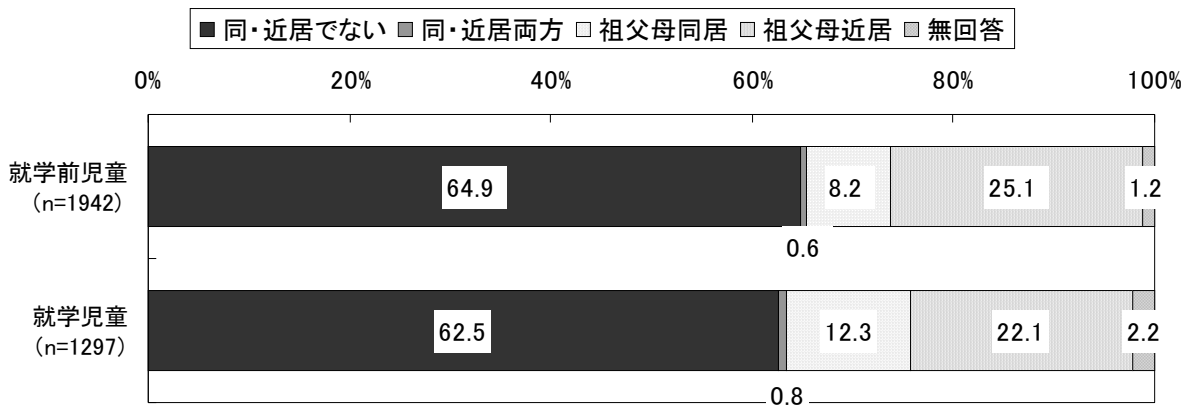
父母の同居状況

【基数：全体】



祖父母の同居・近居状況（近居とは概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）

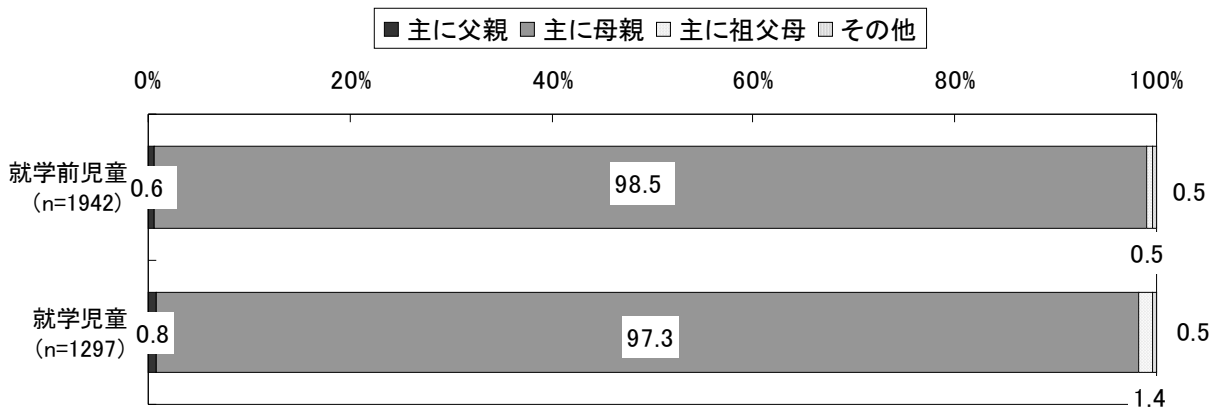
【基数：全体】



(6) 身の回りの世話を主にしている方

〔設問〕 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

【基数：全体】

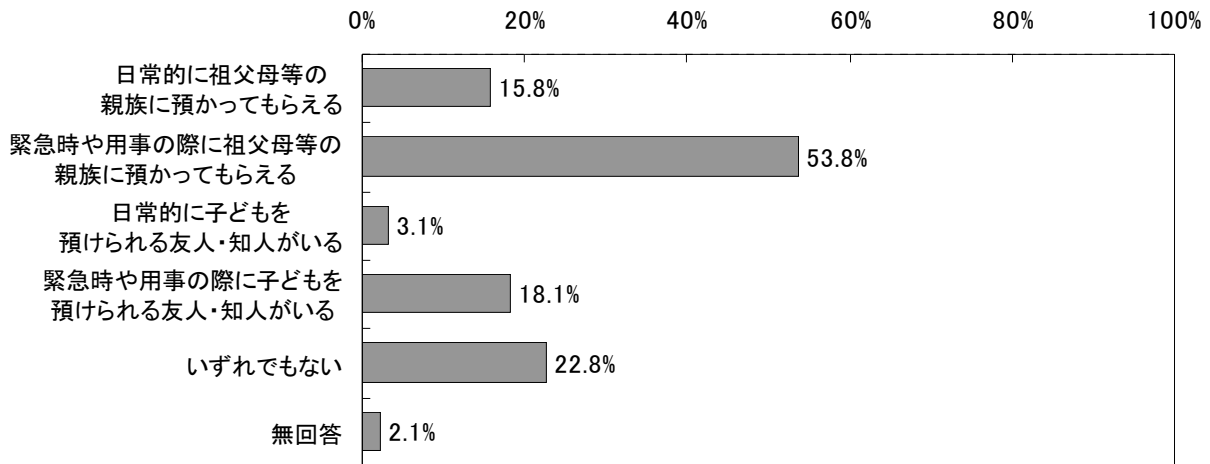


(7) 日頃、お子さんを預かってもらえる人

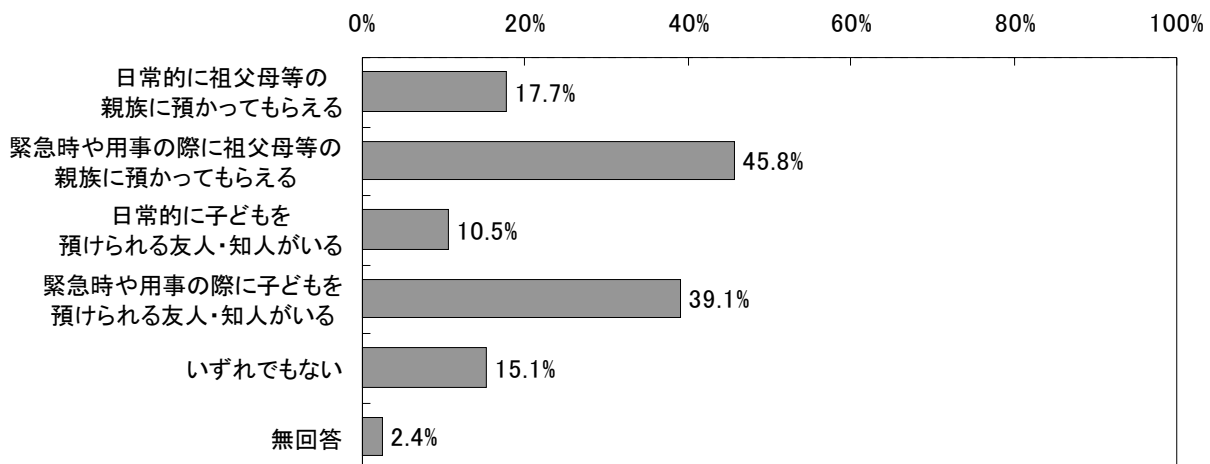
就学前、就学児童とも「緊急時や用事の際に祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も多く全体の半数程度（就学前 53.8%、就学児童 45.8%）であった。また、「緊急時や用事の際に子どもを預けられる友人・知人がいる」は就学児童の 39.1%であり、就学前児童より 20 ポイントも上回った。また就学前児童の 22.8%、就学児童の 15.1%が、「いずれもない」と回答している。

〔設問〕 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

就学前児童 【基数：全体（n=1942：複数回答）】



就学児童 【基数：全体（n=1297：複数回答）】



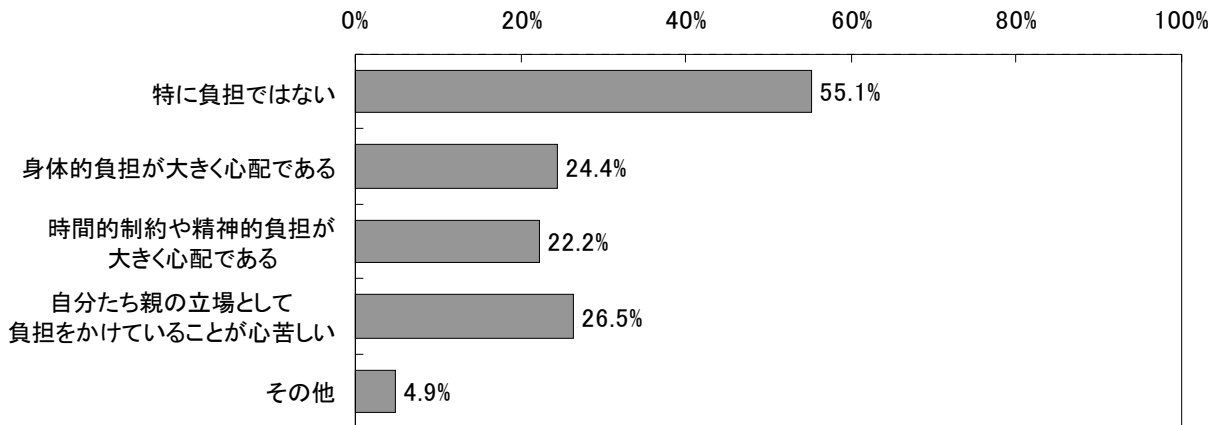
(8) 祖父母・友人に預かってもらっている状況

① 祖父母に預かってもらっている状況

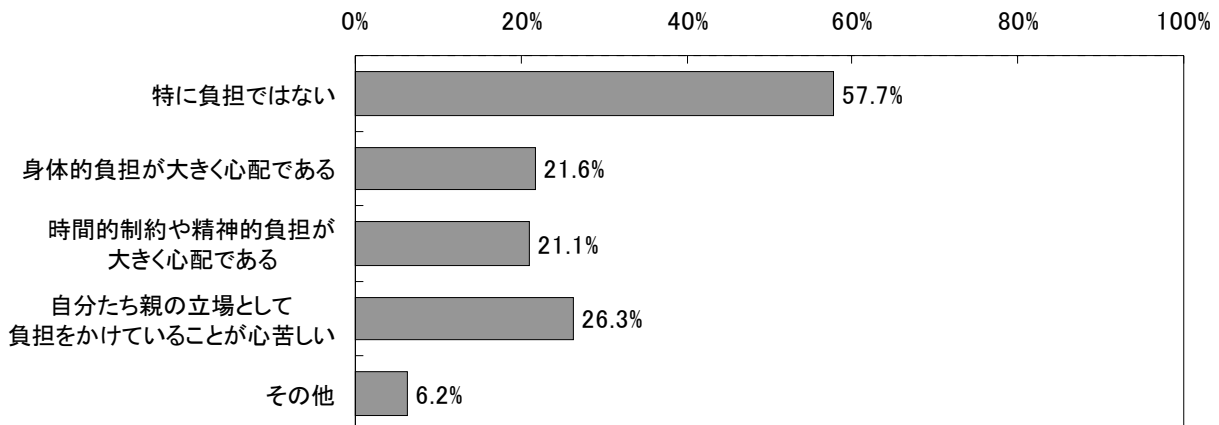
祖父母に預かってもらうことが負担であると感じているかどうかは、就学前、就学児童とも同じような傾向にあり、就学前児童の 55.1%、就学児童の 57.7%が「特に負担ではない」と回答している。また、2割以上の人それぞれ「身体的負担が大きく心配である」「時間的制約や精神的負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として負担をかけていることが心苦しい」と回答している。

〔設問〕 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

就学前児童【基数：祖父母に預かってもらえる方（n=1284：複数回答）】



就学児童【基数：祖父母に預かってもらえる方（n=777：複数回答）】

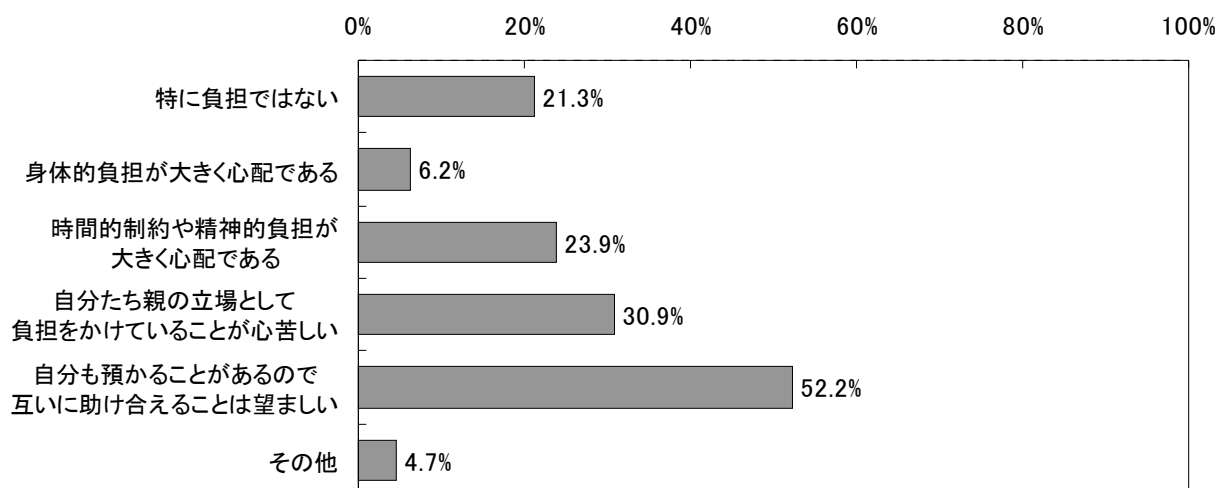


② 友人や知人に預かってもらっている状況

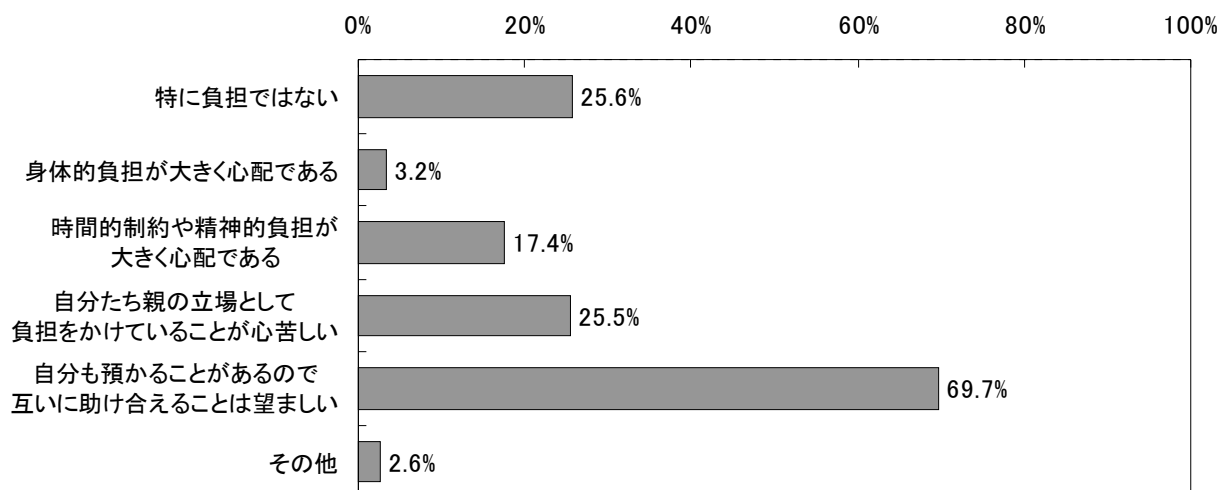
友人・知人に預かってもらえる状況についてたずねたところ、就学前児童の 52.2%、就学児童の 69.7%が「自分も預かることがあるので互いに助け合えることは望ましい」と回答している。また、「身体的負担が大きく心配である」「時間的制約や精神的負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として負担をかけていることが心苦しい」と回答した割合は、就学前児童が就学児童よりもいずれも多かった。

〔設問〕 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

就学前児童【基数：友人・知人に預かってもらえる方（n=385：複数回答）】



就学児童【基数：友人・知人に預かってもらえる方（n=585：複数回答）】



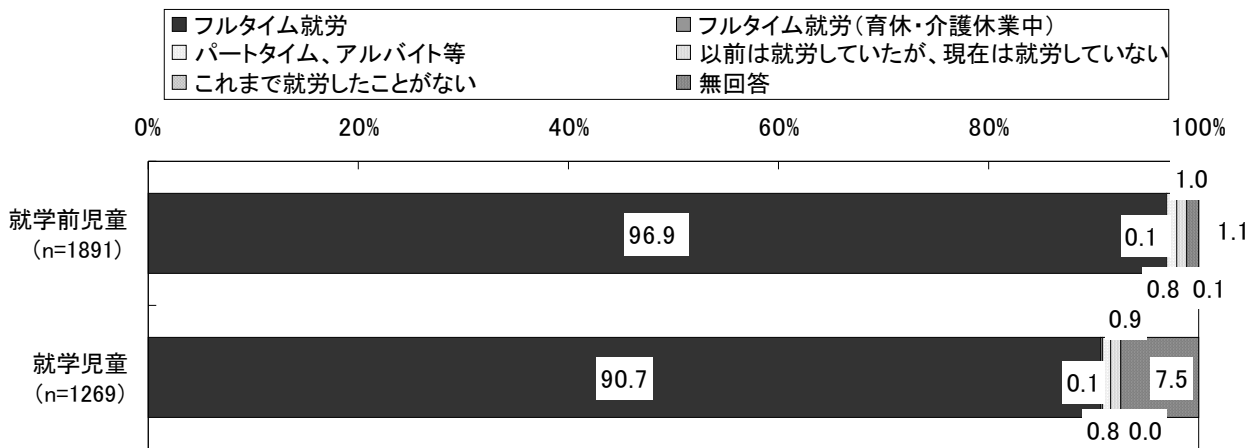
2 就労状況について

父親の就労状況は就学前、就学児童とも「フルタイム就労」(就学前 96.9%、就学児童 90.7%)が最も多く、9割を超えている。母親の就労状況は就学前、就学児童とも「以前は就労していたが、現在は就労していない」(同 63.0%、47.7%)が最も多く、2番目に多いのは就学前児童では「フルタイム就労」(15.8%)であり、就学児童では「パートタイム、アルバイト等」(22.4%)であった。

〔設問〕 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。

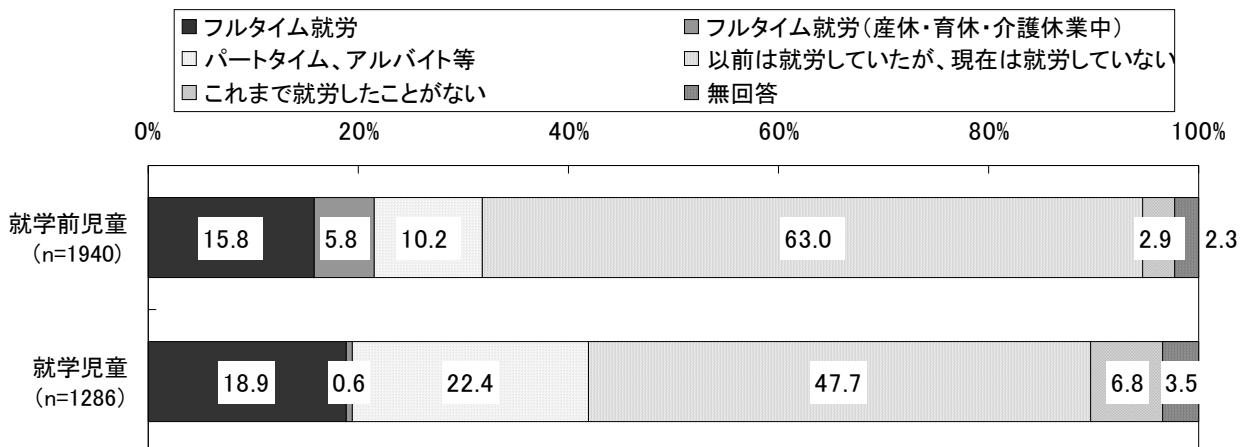
(1) 父親の就労状況【母子家庭の場合は記載不要】

【基数：父親のいる家庭】



(2) 母親の就労状況【父子家庭の場合は記載不要】

【基数：母親のいる家庭】



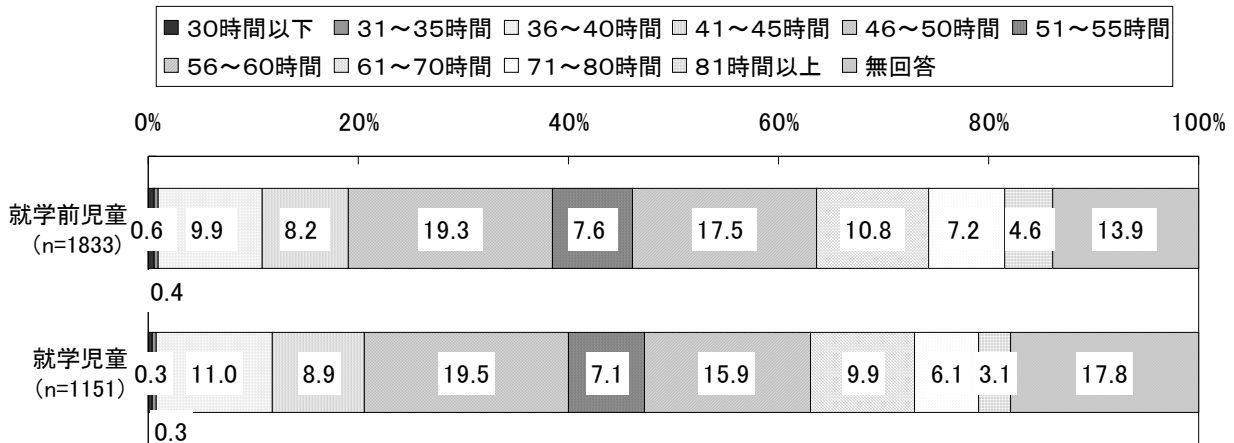
(3) 父親の就労状況の詳細

① フルタイム就労者の詳細

フルタイムで就労している父親の1週間あたりの平均就労時間は、就学前、就学児童とも「46～50時間」（就学前 19.3%、就学児童 19.5%）、「56～60時間」（同 17.5%、15.9%）の順に多く（無回答は除く）平均すると就学前児童が 57.2 時間、就学児童が 56.0 時間であった。また、帰宅時間は、就学前、就学児童とも「21時」（同 17.9%、17.9%）、「22時」（同 16.5%、16.2%）の順に多く、帰宅時間の平均は、就学前、就学児童とも 21 時 30 分であった。また、フルタイム就労者の就労種類は就学前、就学児童とも「フルタイムの被雇用者」（同 77.3%、77.0%）が 7 割以上を占めた。

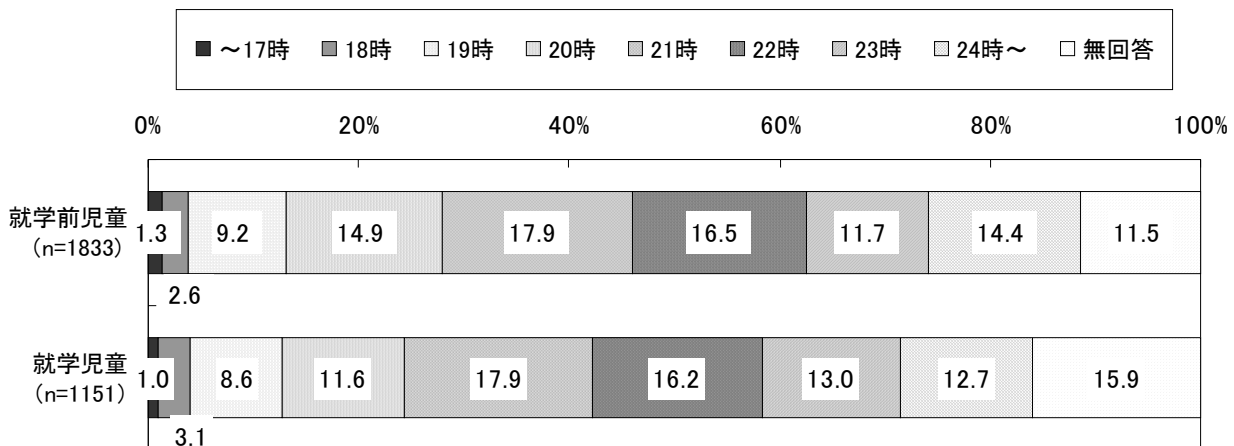
1 週間あたりの平均就労時間

【基数：フルタイムで就労している父親（育休・介護休暇中は除く）】



【平均：就学前児童 57.2 時間、就学児童 56.0 時間】

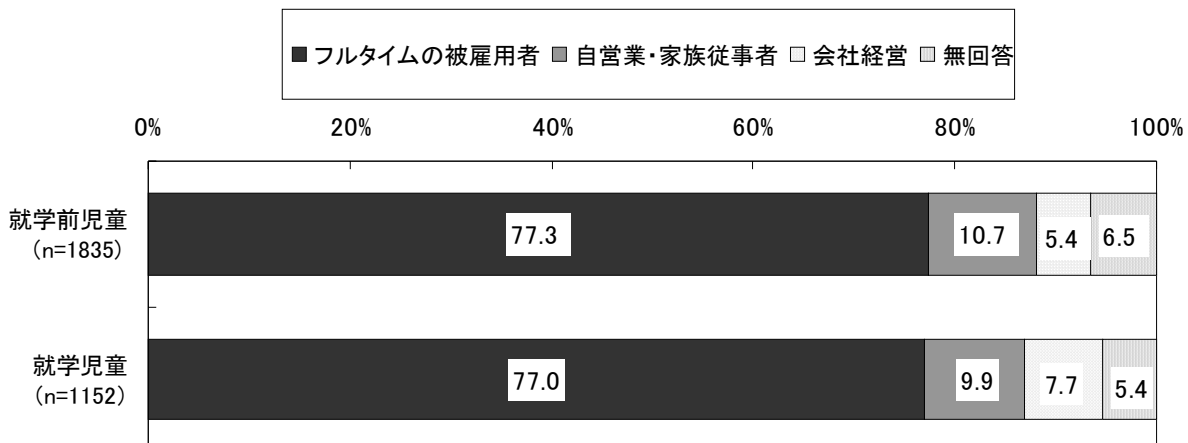
平均帰宅時間



【平均：就学前児童 21 時 30 分、就学児童 21 時 30 分】

就労種類

【基数：フルタイムで就労している父親（育休・介護休暇中も含む）】



② パートタイム就労者の詳細

【基数：パートタイムで就労している父親】

1週あたりの就労日数

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
就学前児童 (n=15)	-	-	13.3	6.7	46.7	20.0	13.3
就学児童 (n=10)	10.0	-	10.0	0.0	20.0	60.0	-

1日あたりの就労時間

	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間以上	無回答
就学前児童 (n=15)	6.7	-	-	6.7	-	6.7	40.0	26.7	13.3
就学児童 (n=10)	-	10.0	-	10.0	-	-	40.0	40.0	-

フルタイムへの就労希望

	希望がある	希望はあるが 予定はない	希望はない	無回答
就学前児童 (n=15)	40.0	20.0	20.0	20.0
就学児童 (n=10)	30.0	20.0	40.0	10.0

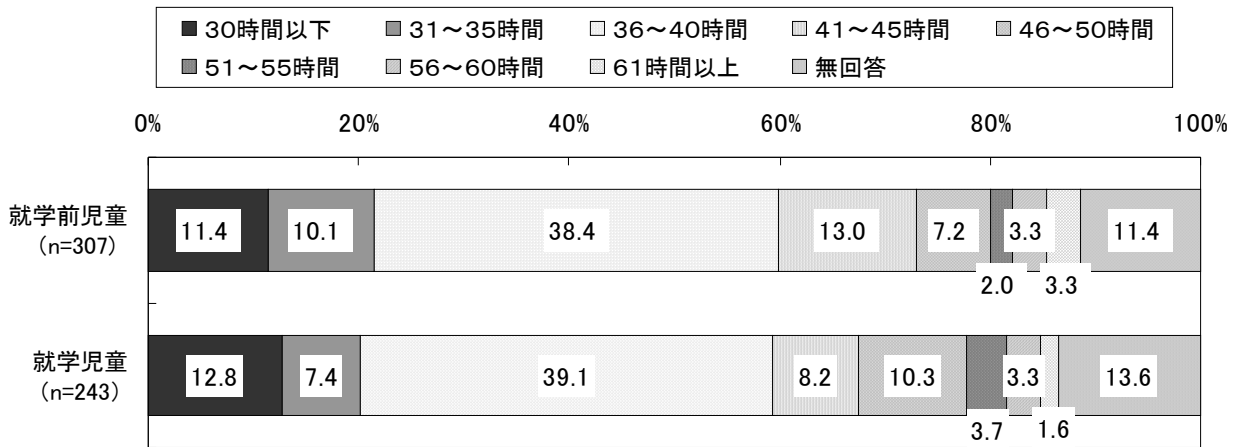
(4) 母親の就労状況の詳細

① フルタイム就労者の詳細

フルタイムで就労している母親の1週間あたりの平均就労時間は就学前、就学児童とも「36～40時間」（就学前38.4%、就学児童39.1%）が最も多く、平均すると就学前児童が41.3時間、就学児童が40.9時間であった。また、平均的な帰宅時間は、就学前、就学児童ともに「18時」（同31.3%、27.2%）、「19時」（同27.7%、24.7%）の順に多く、帰宅時間の平均は、就学前児童は18時30分、就学児童は18時50分であった。また、フルタイム就労者の就労種類は就学前、就学児童とも「フルタイムの被雇用者」（同82.8%、68.5%）が最も多かった。

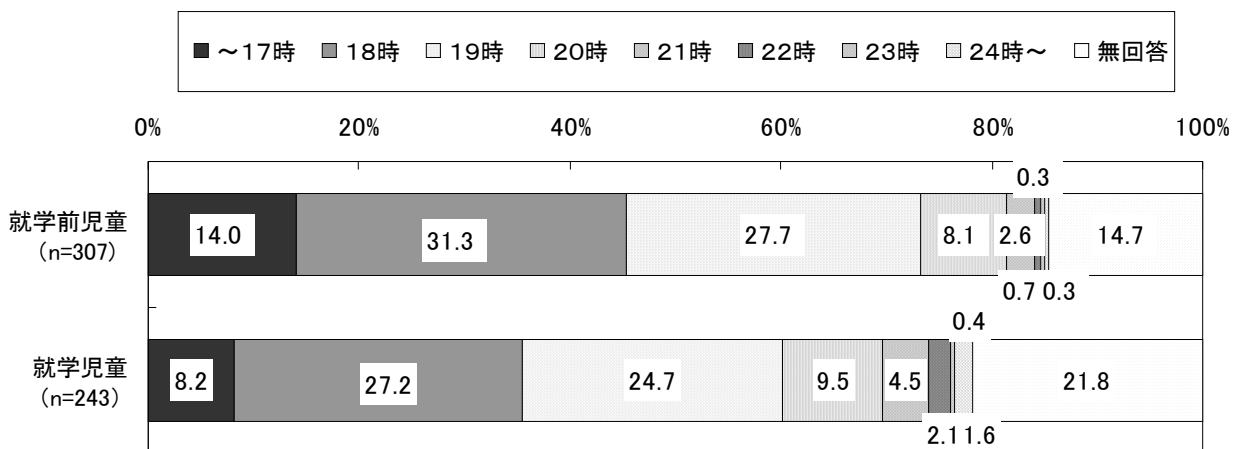
1週間あたりの平均就労時間

【基数：フルタイムで就労している母親（育休・介護休暇中は除く）】



【平均：就学前児童 41.3時間 ・ 就学児童 40.9時間】

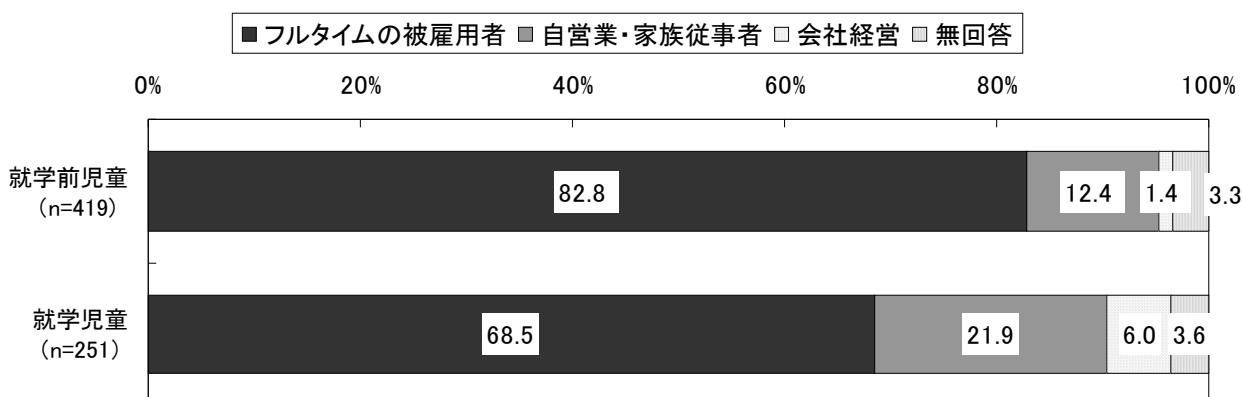
平均帰宅時間



【平均：就学前児童 18時30分 ・ 就学児童 18時50分】

就労種類

【基数：フルタイムで就労している母親（育休・介護休暇中も含む）】



② パートタイム就労者の詳細

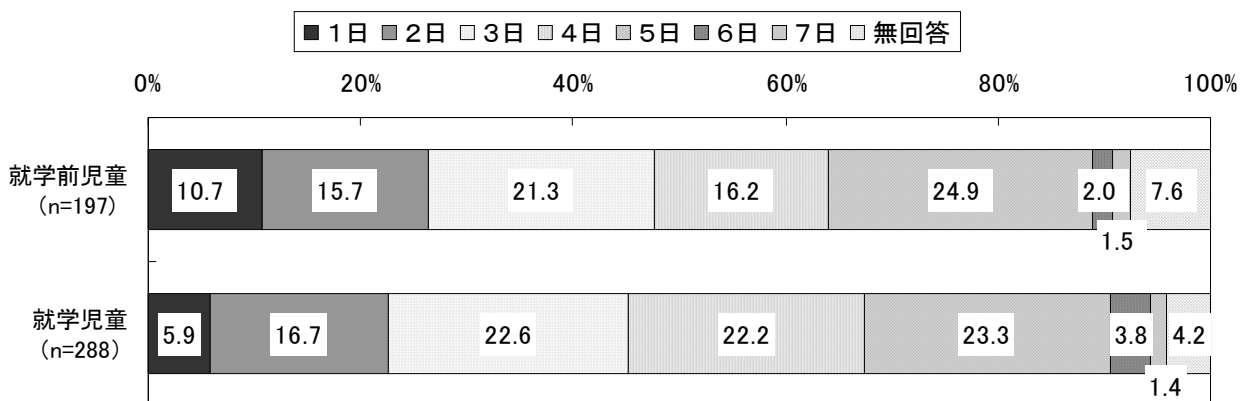
パートタイムで就労している母親の1週間あたりの勤務日数は、就学前、就学児童とも「5日」（就学前 24.9%、就学児童 23.3%）、「3日」（同 21.3%、22.6%）、「4日」（同 16.2%、22.2%）の順に多く、平均すると就学前児童は3.4日、就学児童は3.6日であった。

1日あたりの就労時間数は、就学前児童は「6時間」（20.3%）「5時間」（18.3%）「4時間」（16.8%）の順に多く、就学児童は、「5時間」（24.7%）「4時間」（23.3%）「6時間」（14.9%）の順に多かった。また、平均すると就学前児童は5.3時間、就学児童は5.0時間であった。

フルタイムへの転職希望は「希望がある」と「希望があるが予定はない」をあわせると就学前児童が48.7%、就学児童が38.5%であり、就学前児童では「希望はない」を上回ったが、就学児童では「希望はない」を下回った。

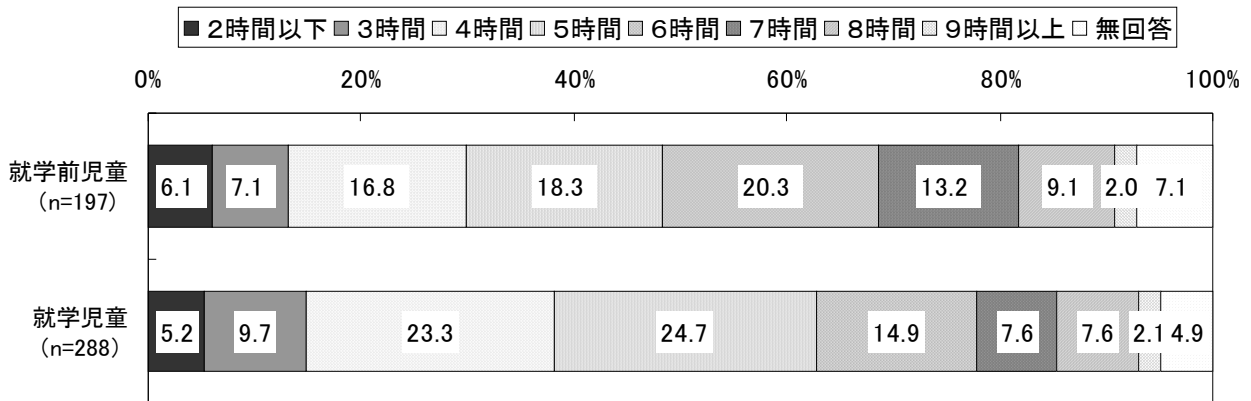
週あたりの勤務日数

【基数：パートタイムで就労している母親】



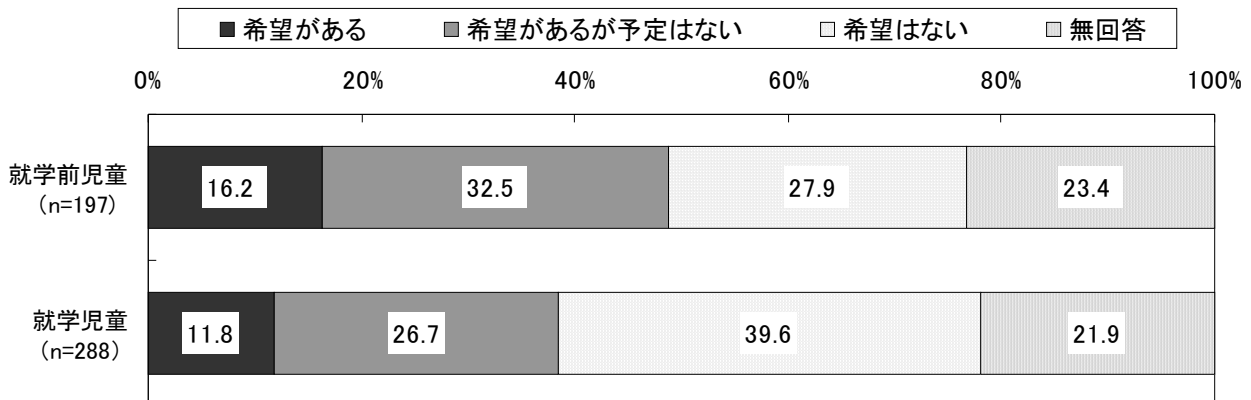
【平均：就学前児童 3.4日 ・ 就学児童 3.6日】

1日あたりの就労時間数



【平均：就学前児童 5.3時間 ・就学児童 5.0時間】

フルタイムへの転職希望



(5) 現在未就労の母親の就労希望

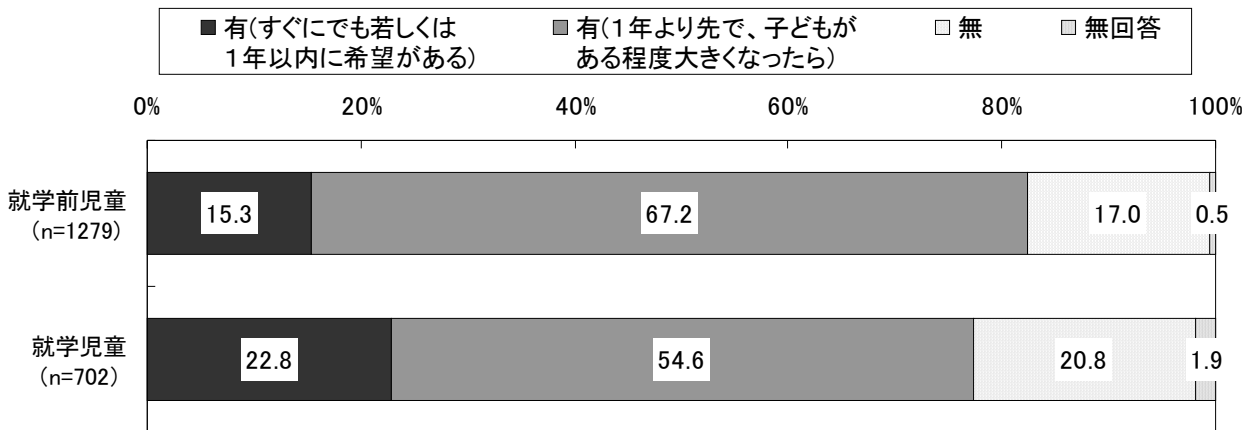
現在未就労の母親に就労希望はあるかをたずねたところ、就学前児童の 82.5%、就学児童の 77.4%が就労希望はありと回答しており、就学前児童の 15.3%、就学児童の 22.8%が「すぐにも若しくは 1年以内に希望がある」と回答した。

また、「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら働きたい」と回答した人が就労を希望する時期は、就学前児童では「末子の年齢が 3～4歳」(26.5%)、就学児童では「末子の年齢が 7～8歳」(23.8%)が最も多かった。

就労希望の有無

〔設問〕 母親の就労希望はありますか。

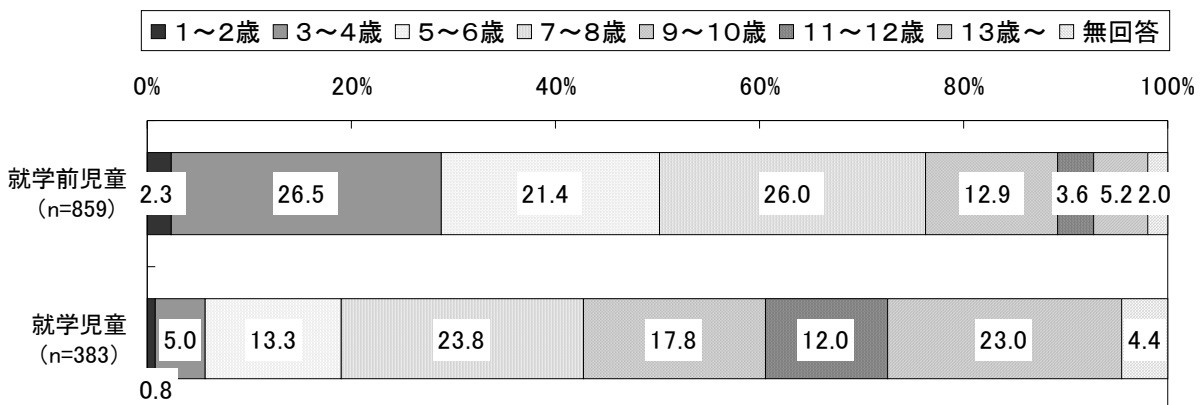
【基数：現在就労していない母親】



就労希望の時期

〔設問〕 あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

【基数：お子さんが1年より先である程度大きくなったら就労を希望する母親】



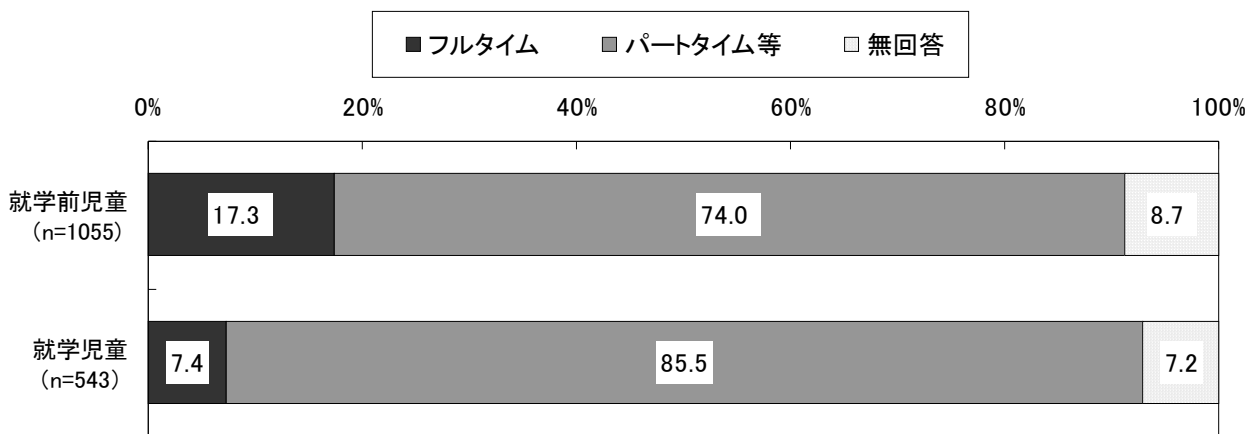
(6) 就労希望がある母親の就労希望の形態

母親の就労希望の形態は、就学前、就学児童とも「パートタイム等」が最も多かった。(就学前 74.0%、就学児童 85.5%)
 また、パートタイム就労を希望する人の希望する1週間あたりの勤務日数は就学前、就学児童とも「3日」が最も多く(同 48.3%、55.0%)全体の半分程度を占めている。また、希望する1日あたりの勤務時間は就学前、就学児童とも「5時間」(同 38.2%、42.0%)が最も多かった。

就労希望の形態

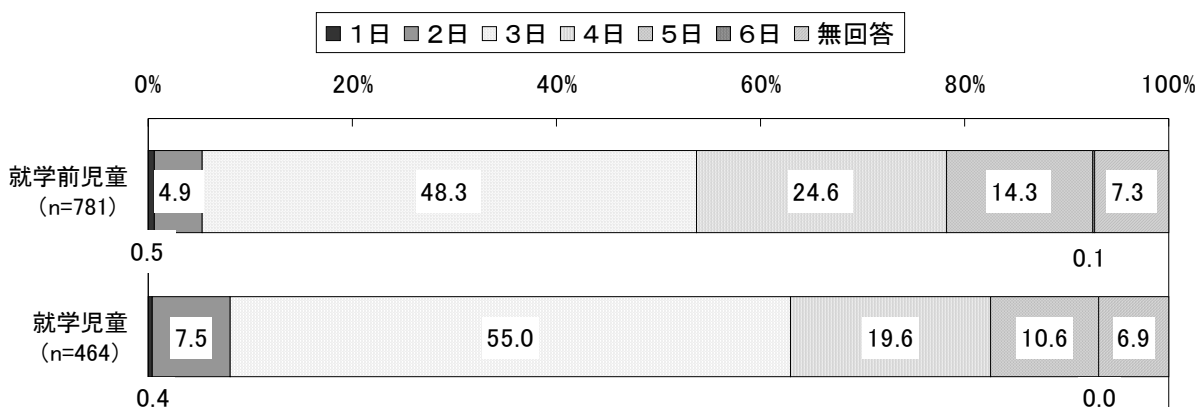
〔設問〕 就労希望の形態はどのようなものですか。(パート、アルバイトを希望の方は一週あたり日数及び一日あたり時間も記入してください。)

【基数：現在就労していない母親で就労希望のある方】



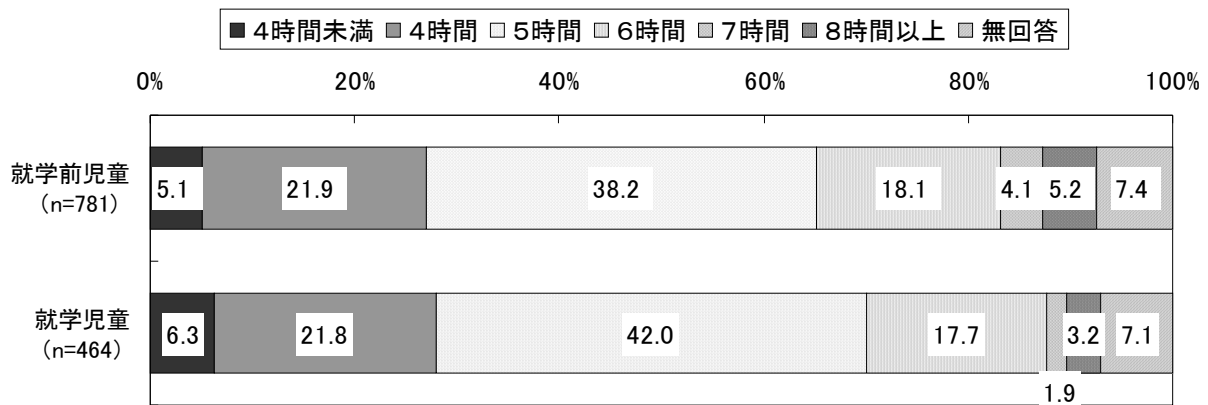
パートタイム就労を希望する人の1週間あたりの勤務日数

【基数：パートタイムの就労を希望する母親】



【平均：就学前児童 3.5日 ・就学児童 3.3日】

パートタイム就労を希望する人の1日あたりの時間数



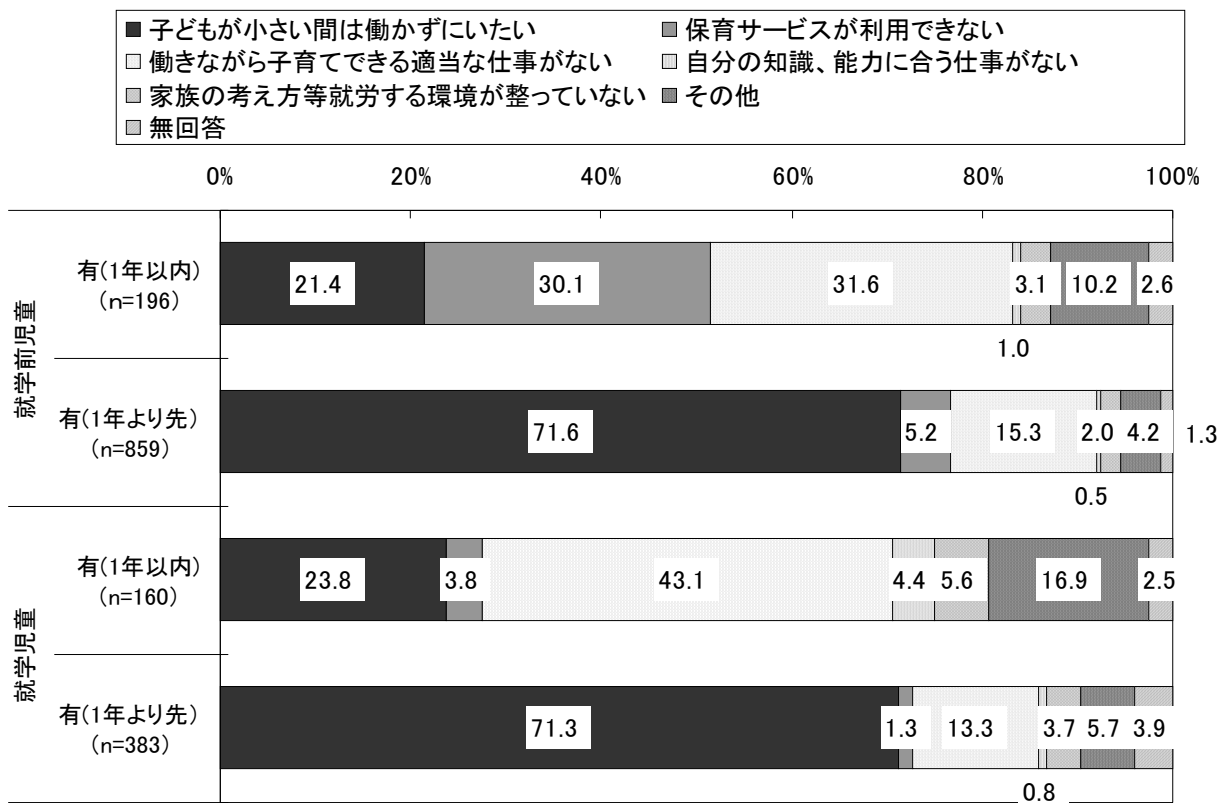
【平均：就学前児童 5.1 時間 ・ 就学児童 5.0 時間】

(7) 現在働いていない理由

現在働いていない理由は、仕事を希望する時期によって大きく異なり、「すぐにでも若しくは1年以内に働きたい」と回答した人では、就学前、就学児童とも「自分の知識、能力に合う仕事がない」（就学前 31.6%、就学児童 43.1%）が最も多いのに対し、「子どもがある程度大きくなったら働きたい」と回答した人では、就学前、就学児童とも「子どもが小さい間は働かずにいたい」（同 71.6%、71.3%）が最も多かった。

〔設問〕 就労希望があっても、現在働いていない理由は何ですか。

【基数：現在働いていない母親で就労希望のある方】



(8) 出産と離職（就学前児童のみ）

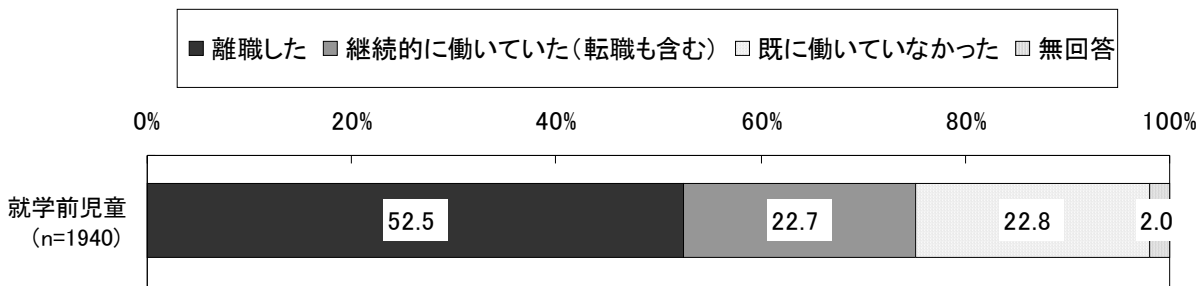
「出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職した」と回答した人は52.5%で、「継続的に働いていた（転職も含む）」（22.7%）と回答した人を大きく上回った。

出産前後に離職した母親に保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したかをたずねたところ、「いずれにしても仕事を辞めていた」が42.4%で最も多かったが、「保育サービスが利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」「職場の環境が整っていれば、継続して就労していた」「保育サービスと職場環境どちらも整っていれば、継続して就労していた」を合わせると47.1%となり、「いずれにしても仕事をやめていた」を上回る結果となった。

出産前後の離職の有無

〔設問〕 封筒のあて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。

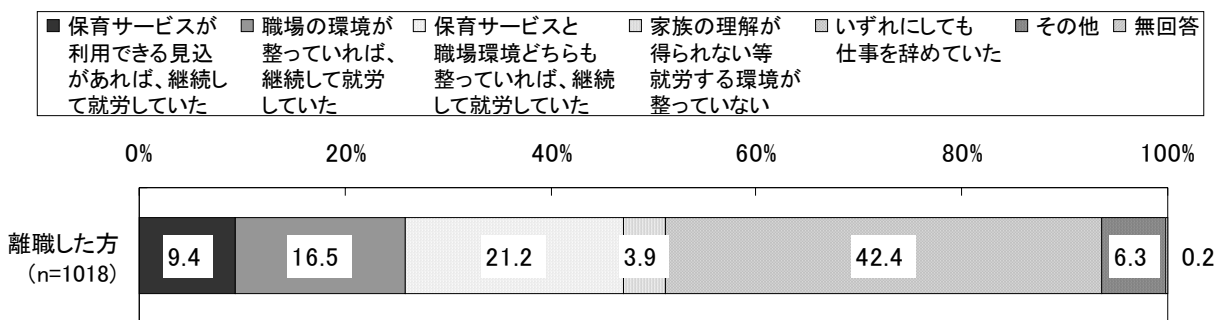
【基数：就学前児童の母親】



環境が整っていたら就労を継続していたか

〔設問〕 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。

就学前児童【基数：お子さんの出産前後に離職をした母親】



(9) 育児休業制度について（就学前児童のみ）

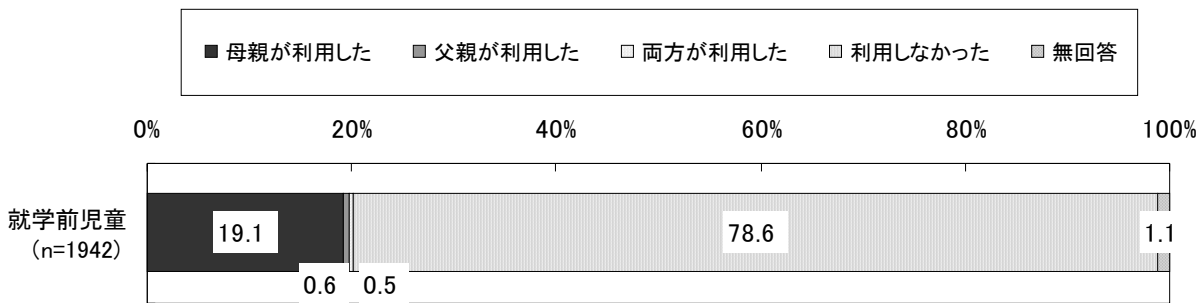
① 育児休業制度の利用について

育児休業制度を母親が利用した人は19.1%、父親が利用した人は0.6%、両方が利用した人は0.5%であり、利用しなかったと回答した人は78.6%であった。
 育児休業が明け、仕事に復帰したときのお子さんの月齢は、「10～12か月」が25.7%で最も多く、平均すると11.5か月だった。

育児休業制度の利用の有無

〔設問〕 封筒のあて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用しましたか。

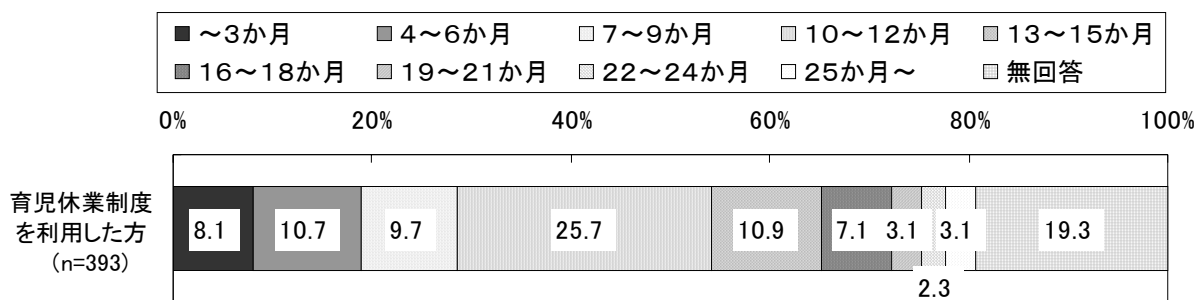
【基数：全体】



復帰の時期

〔設問〕 育児休業が明け、仕事に復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。（両方が利用した方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。）

【基数：育児休業制度を利用した方】



【平均：11.5か月】

② 育児休業後の保育サービスの利用について

育児休業から復帰したとき、すぐに保育サービスを利用できたかたずねたところ、「調節せずにできた」(23.4%)「調節したのでできた」(23.2%)「できなかった」(23.2%)のいずれも同じくらいの割合であった。

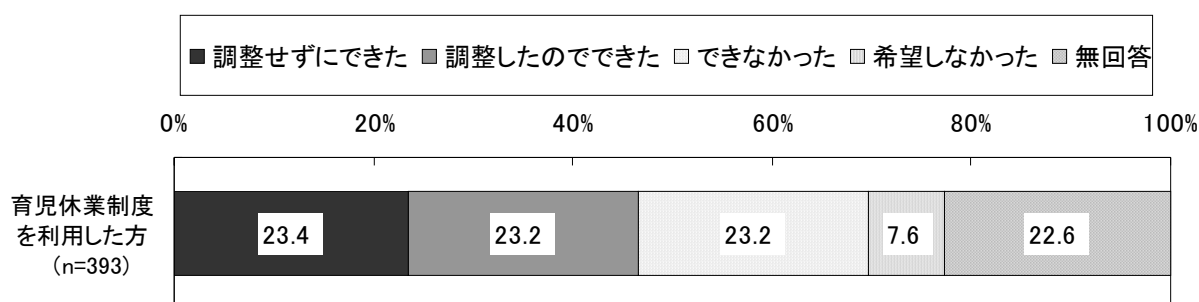
希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら育児休業期間を長くしたと回答したのは、53.8%であり、逆に短くしたと回答したのは33.0%であった。また、長くした育児休業期間の平均は6.4か月であり、短くした育児休業期間の平均は、5.5か月であった。

希望する保育サービスを利用できなかったときの対処方法は、「他の保育サービスを利用した」が38.5%で最も多かった。

育児休業明けの保育サービスの利用の有無

〔設問〕 育児休業から復帰なさった時に、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。

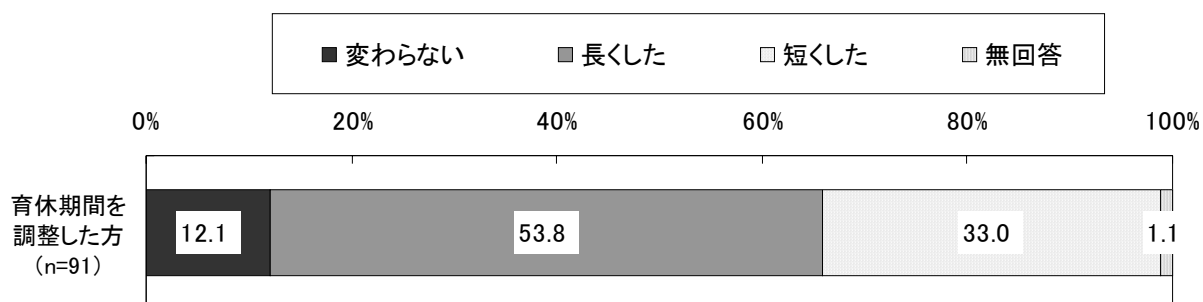
【基数：育児休業制度を利用した方】



育児休業期間の調節の必要性

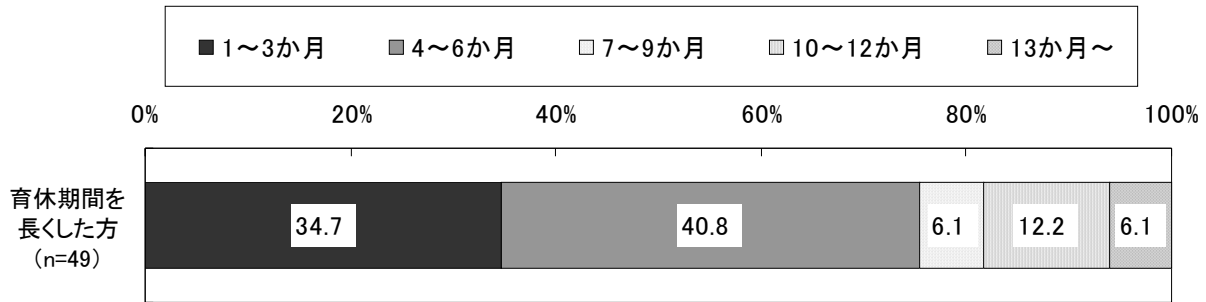
〔設問〕 育児休業から復帰なさった時に希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。

【基数：育児休業期間を調整して、復帰後すぐに保育サービスを利用した方】



育児休業期間を長くした月数

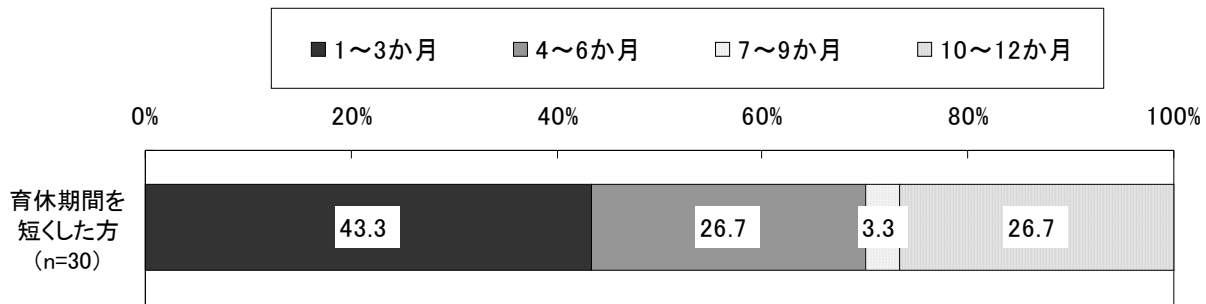
【基数：育児休業期間を長くした方】



【平均：6.4 か月】

育児休業期間を短くした月数

【基数：育児休業期間を短くした方】

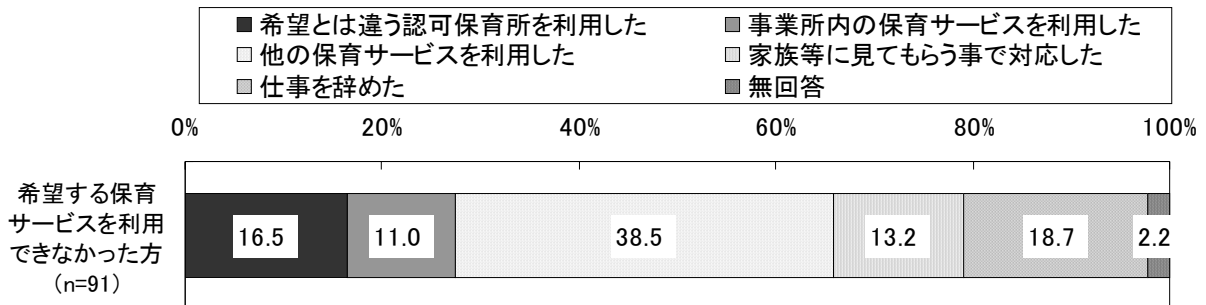


【平均：5.5 か月】

希望する保育サービスを利用できなかった方の対応方法

〔設問〕 「できなかった」を選ばれた方にお伺いします。どのように対応されましたか。

【基数：育児休業から復帰後すぐに希望する保育サービスを利用できなかった方】



3 様々な子育て支援サービスについて

(1) 保育サービスの定期的な利用（就学前児童のみ）

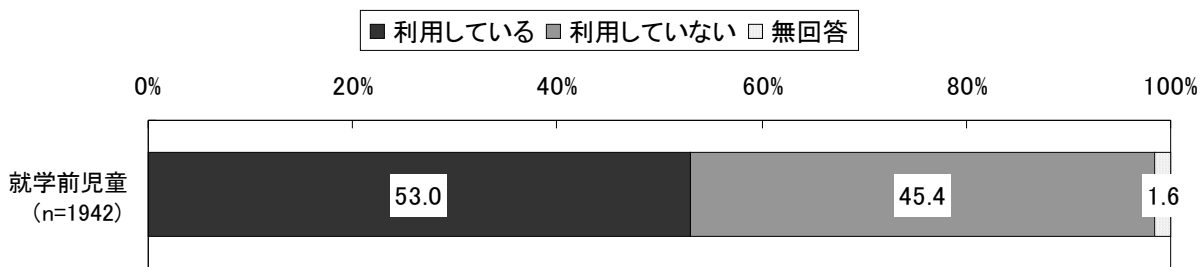
① 保育サービスの利用状況

就学前児童の 53.0%が保育サービス（幼稚園含む）を利用していると回答した。
 サービスの内容として主なものは、「私立幼稚園」（48.3%）、「認可保育園」（18.5%）、「認証保育所」（13.2%）となっている。また、1週間あたりの利用日数は「5日」が78.8%で最も多く、1日あたりの利用時間では、「5時間」の37.8%が最も多かった。

保育サービスの利用の有無

〔設問〕 あて名のお子さんの現在の保育サービスの定期的な利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的に保育サービスを利用していらっしゃいますか。

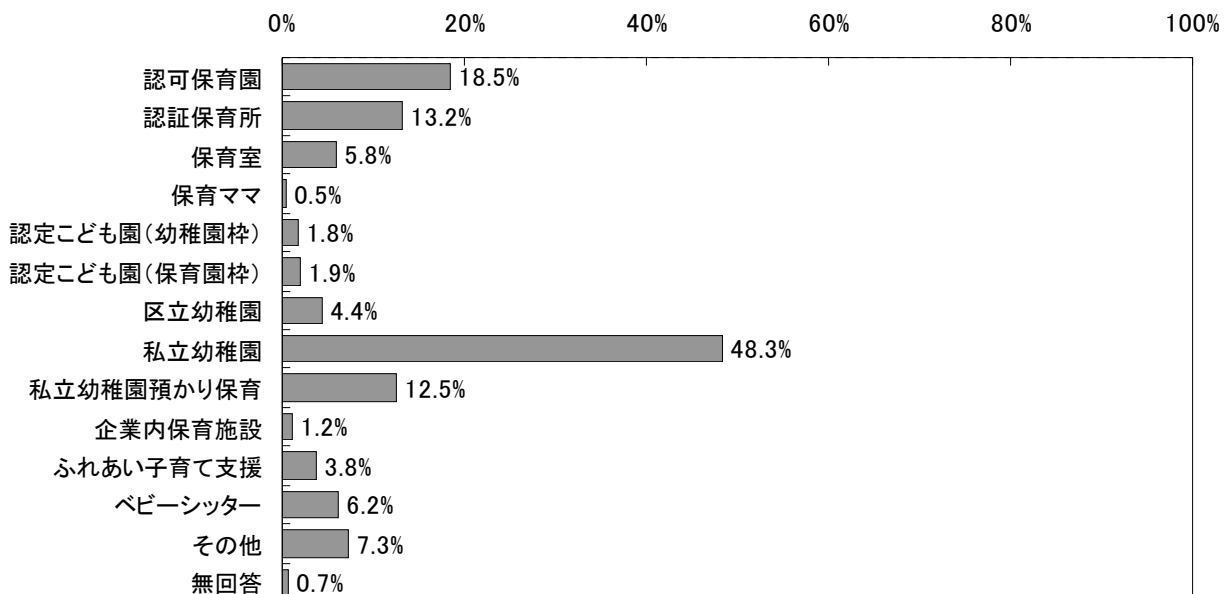
【基数：全体】



利用している保育サービス

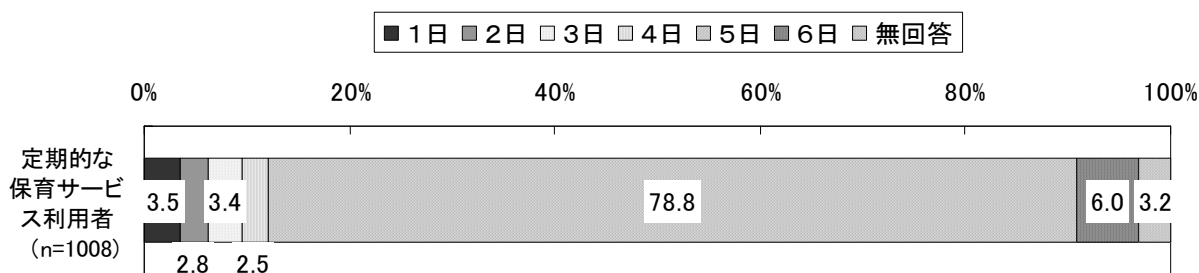
〔設問〕 あて名のお子さんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。

就学前児童【基数：保育サービスを利用している方（n=1029：複数回答）】



1週間あたり利用日数

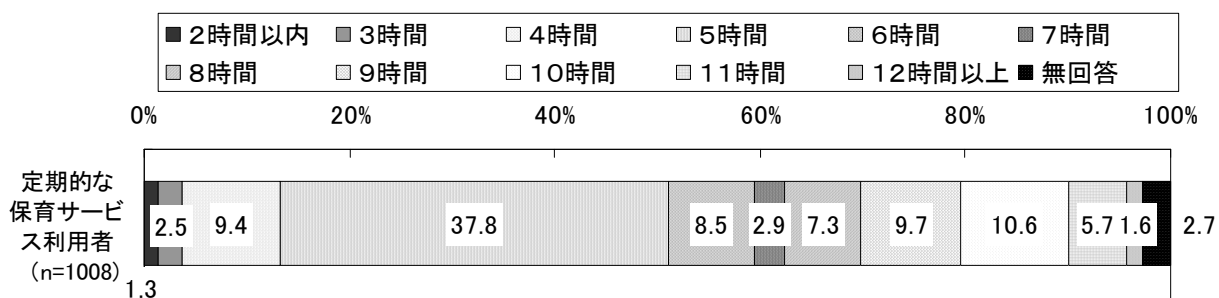
就学前児童【基数：定期的な保育サービスの利用者】



【平均：4.7日】

1日あたり利用時間

就学前児童【基数：定期的な保育サービスの利用者】



【平均：6.6時間】

利用開始・終了時間

就学前児童【基数：定期的な保育サービスの利用者 (n=1008)】

終了時間 \ 開始時間	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時以降
7時	-	-	0.1	-	-	0.2	0.8	1.9	1.3	0.2	-
8時	0.1	-	0.6	1.7	0.3	0.9	3.9	7.3	3.2	0.5	-
9時	0.6	0.6	10.6	31.5	4.1	1.8	6.2	5.1	2.3	0.1	0.1
10時	0.1	-	0.7	1.4	2.0	1.2	0.7	0.9	0.2	0.2	-
11時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1
12時	-	-	-	-	-	-	0.2	0.1	-	-	-
13時	-	-	-	-	0.5	0.4	0.8	0.1	0.1	-	-
14時	-	-	-	-	0.1	0.3	0.8	0.2	-	-	-
15時以降	-	-	-	-	-	-	0.1	-	0.1	-	0.1

無回答 2.8%

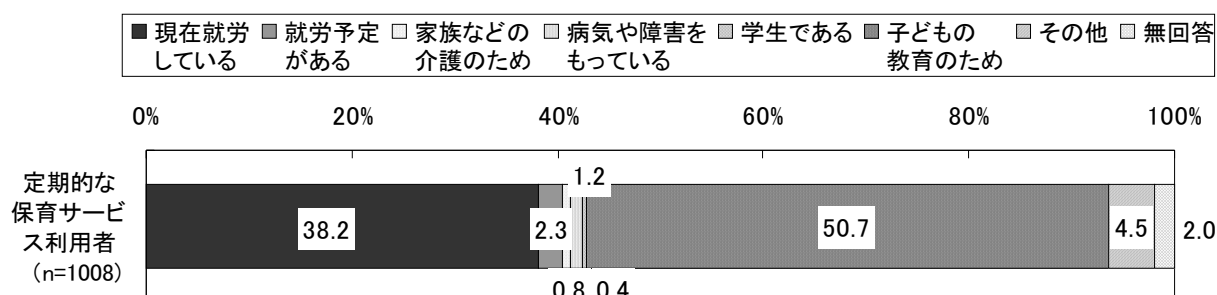
② 保育サービスを利用している・していない理由

保育サービスを利用している理由で多かったのは、「子どもの教育のため」(50.7%) および「現在就労している」(38.2%) であった。

保育サービスを利用していない理由で多かったのは、「必要がない」(50.5%) で、全体の半数以上を占めた。それ以外では、「保育サービスに空きがない」(11.1%)、「子どもがまだ小さいため」(10.1%) などの割合が高かった。

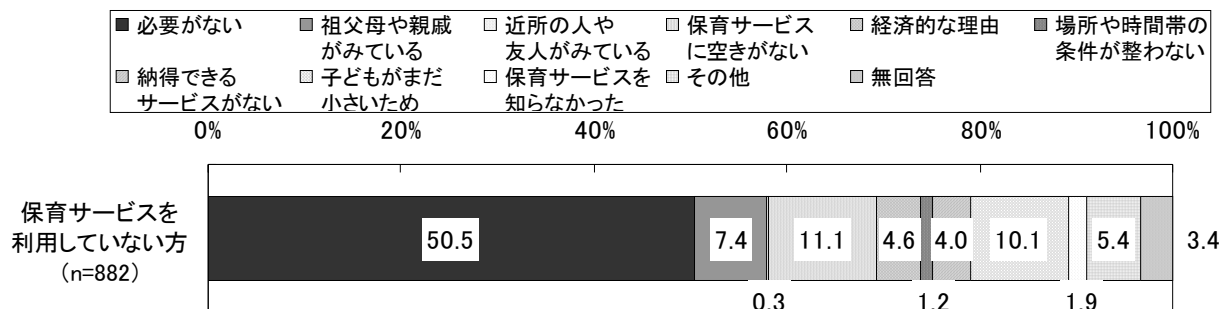
サービスを利用されている理由

就学前児童【基数：定期的な保育サービスの利用者】



保育サービスを利用していない理由

就学前児童【基数：保育サービスを利用していない方】



(2) 保育サービスの希望（就学前児童のみ）

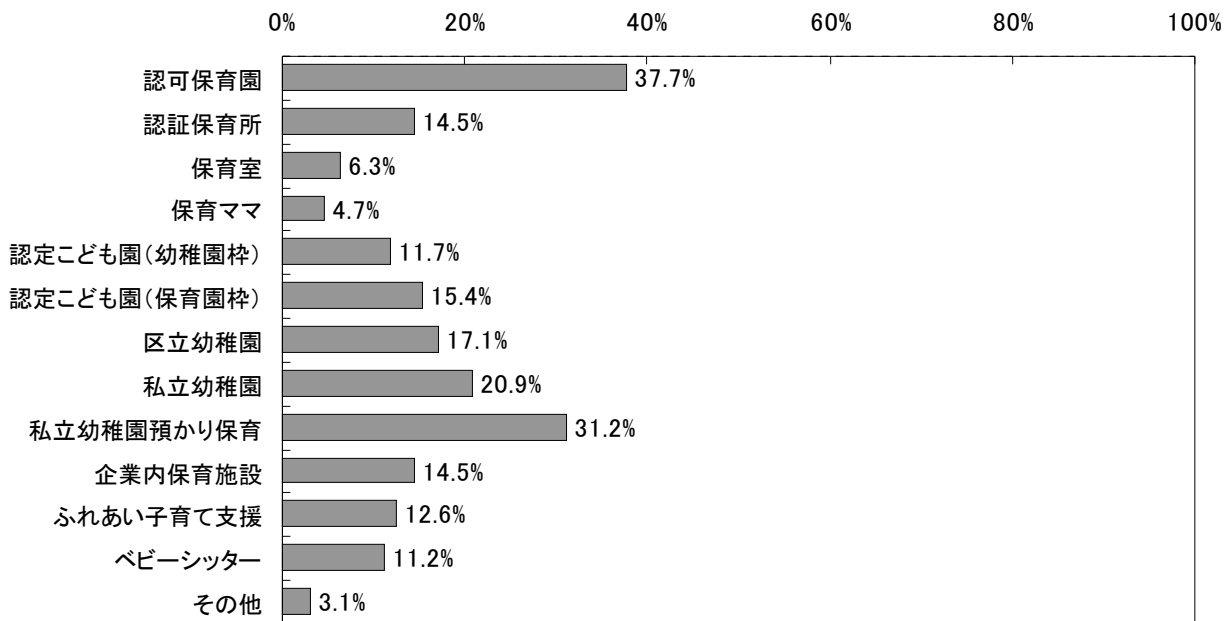
保育サービスを利用したい、あるいは、現在利用しているが足りていないと思う保育サービスが「ある」と回答した割合は83.1%であり、サービス別で希望が多かったのは、「認可保育園」（37.7%）、「私立幼稚園預かり保育」（31.2%）であった。

また、サービスを利用したいと考えている理由として多かったのは、「そのうち就労したいと考えている」（43.2%）、「子どもの教育などのため」（29.2%）などであった。

〔設問〕 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、（利用日数・回数や利用時間が）足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。

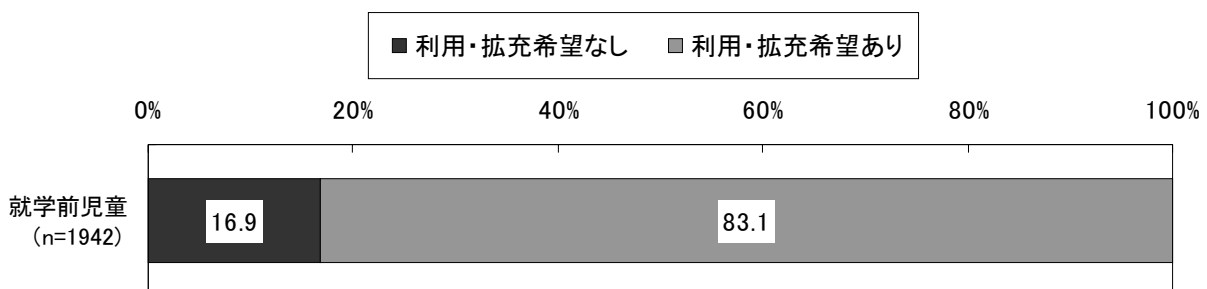
希望する保育サービス

就学前児童【基数：全体（複数回答）】



サービス利用希望の有無

【基数：全体】



サービス別の1週あたりの利用希望日数

(特に利用したいサービス4つまで)

番号	データ数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均日数
認可保育園	633	1.7	2.2	7.1	4.6	68.1	13.4	1.4	1.4	4.9
認証保育所	222	5.9	3.2	12.6	5.4	58.6	11.3	1.4	1.8	4.6
保育室	80	6.3	6.3	18.8	2.5	48.8	11.3	2.5	3.8	4.4
保育ママ	57	12.3	10.5	10.5	12.3	42.1	8.8	0.0	3.5	3.9
認定こども園(幼稚園枠)	144	10.4	15.3	19.4	4.9	43.1	0.7	0.7	5.6	3.7
認定こども園(保育園枠)	218	6.0	4.1	9.2	3.2	66.1	9.2	0.5	1.8	4.5
区立幼稚園	243	0.4	0.8	3.7	2.9	81.9	5.8	0.0	4.5	4.9
私立幼稚園	317	1.3	1.9	2.8	2.2	85.8	4.4	0.0	1.6	4.9
私立幼稚園預かり保育	506	8.7	11.5	18.4	6.5	48.2	4.2	0.0	2.6	3.9
企業内保育施設	193	5.2	2.6	11.4	4.1	63.2	8.8	2.1	2.6	4.7
ふれあい子育て支援	164	32.9	14.6	25.0	4.9	14.6	1.8	1.8	4.3	2.7
ベビーシッター	171	30.4	24.0	11.7	2.3	15.8	0.6	4.1	11.1	2.8
その他	19	21.1	21.1	5.3	0.0	21.1	0.0	5.3	26.3	3.2

サービス別の1日あたりの利用希望時間

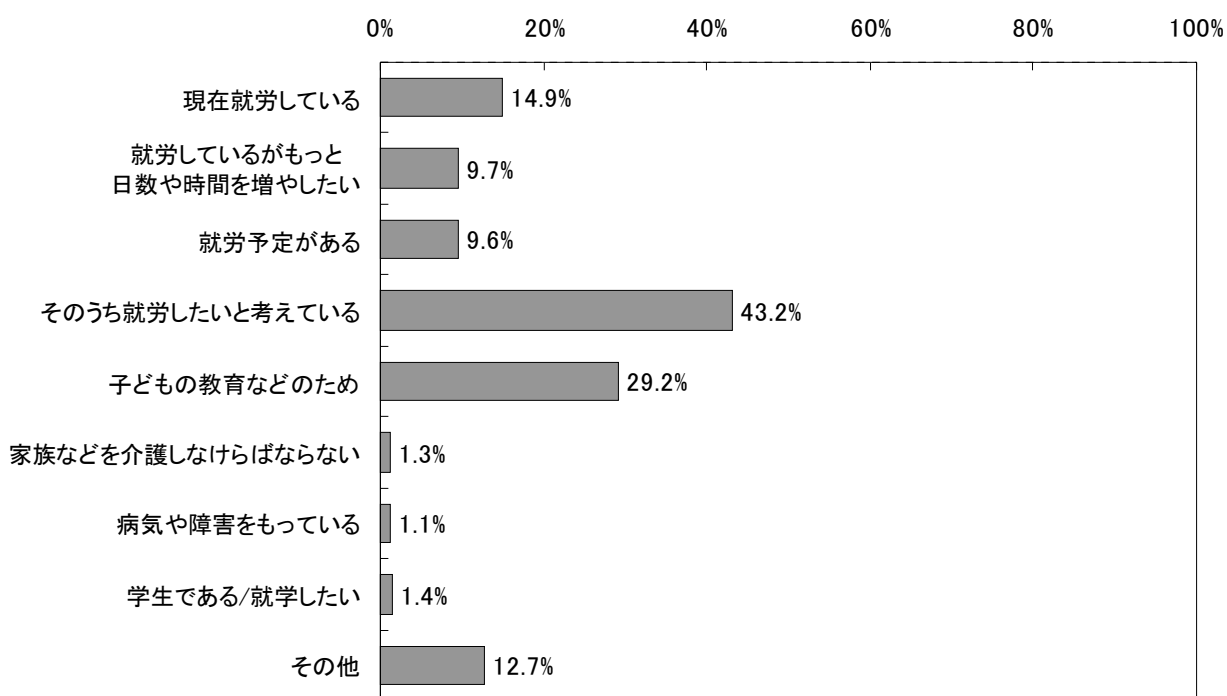
(特に利用したいサービス4つまで)

番号	データ数	2時間以下	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間以上	無回答	平均時間
認可保育園	633	0.3	1.1	1.7	3.5	3.0	5.1	17.5	18.5	22.1	14.8	7.1	4.1	1.1	9.2
認証保育所	222	0.5	1.4	1.8	6.8	5.4	4.1	18.5	16.7	18.5	13.1	7.7	3.6	2.3	8.9
保育室	80	0.0	2.5	5.0	10.0	1.3	5.0	10.0	21.3	20.0	10.0	7.5	3.8	3.8	8.7
保育ママ	57	5.3	5.3	7.0	12.3	1.8	7.0	14.0	10.5	14.0	10.5	3.5	5.3	3.5	7.8
認定こども園(幼稚園枠)	144	4.9	9.7	12.5	25.7	12.5	4.9	11.8	7.6	3.5	2.8	0.7	0.0	3.5	5.8
認定こども園(保育園枠)	218	0.9	1.4	3.2	2.8	4.1	5.0	16.1	18.3	20.2	16.1	6.4	3.7	1.8	9.1
区立幼稚園	243	1.2	0.8	3.7	25.1	31.7	9.9	7.8	5.8	4.9	2.1	1.6	0.8	4.5	6.5
私立幼稚園	317	0.6	1.6	9.5	37.2	26.2	6.6	6.0	2.8	2.5	1.6	0.9	0.3	4.1	5.9
私立幼稚園預かり保育	506	13.6	25.3	16.4	7.3	3.0	3.6	6.7	9.1	5.9	3.8	2.0	1.2	2.2	5.4
企業内保育施設	193	1.6	2.1	3.1	1.6	8.8	2.1	30.1	22.3	11.4	7.8	4.7	2.1	2.6	8.4
ふれあい子育て支援	164	17.1	22.0	12.8	14.0	4.9	3.7	7.3	3.7	3.7	3.0	1.2	0.6	6.1	4.9
ベビーシッター	171	14.6	16.4	15.8	20.5	4.1	1.2	4.1	4.1	2.9	2.3	2.3	2.3	9.4	5.2
その他	19	0.0	5.3	5.3	5.3	15.8	0.0	10.5	10.5	15.8	5.3	0.0	5.3	21.1	8.1

〔設問〕 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを2つだけ選んで○をつけてください。

サービスを利用したいと考えている理由 (2つだけ選んで回答)

就学前児童【基数：希望する保育サービスをひとつ以上あげた方 (n=1614：最大2つ回答)】



(3) 土・休日の保育について（就学前児童のみ）

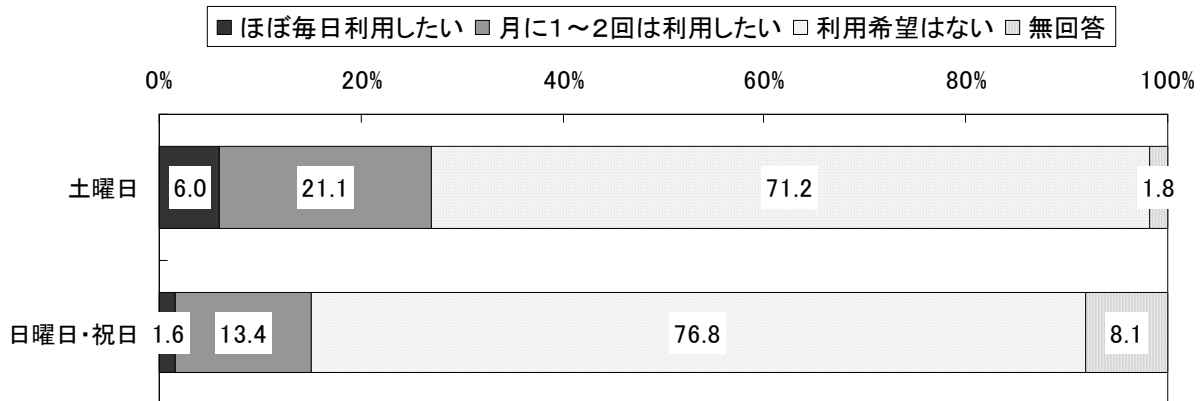
土曜日に保育サービスを「ほぼ毎日利用したい」と回答した人が 6.0%、「月に 1～2 回は利用したい」と回答した人が 21.1%であった。日曜日・祝日の保育サービスを「ほぼ毎日利用したい」と回答した人が 1.6%、「月に 1～2 回は利用したい」と回答した人が 13.4%であった。

利用したい時間帯は、土曜日、日曜日・祝日ともに「9 時～18 時」が一番多かった。
 （土曜日 10.3%、日曜日・祝日 13.7%）

〔設問〕 土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。

土曜日、日曜日・祝日の保育サービス利用希望の有無

就学前児童【基数：全体(n=1942)】



利用したい時間帯：土曜日

就学前児童【基数：土曜日の保育サービスを利用された方 (n=525)】

終了時間 開始時間	12 時 以前	13 時	14 時	15 時	16 時	17 時	18 時	19 時	20 時	21 時 以降
7 時以前	-	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	2.7	1.7	0.8	-
8 時	0.2	1.0	1.3	0.6	1.5	2.7	7.0	3.2	1.0	0.2
9 時	3.0	1.1	4.2	5.1	4.0	9.7	10.3	3.2	1.3	0.8
10 時	0.6	0.2	2.3	4.6	2.7	4.0	1.5	0.8	0.6	0.4
11 時	-	-	0.2	0.4	0.4	1.1	0.4	-	0.2	0.2
12 時	-	-	-	0.6	0.2	1.0	0.4	0.4	0.4	0.4
13 時以降	-	-	-	-	-	1.1	1.0	0.2	0.4	1.7

無回答 4.2%

利用したい時間帯：日曜日・祝日

就学前児童【基数：土曜日の保育サービスを利用された方（n=293）】

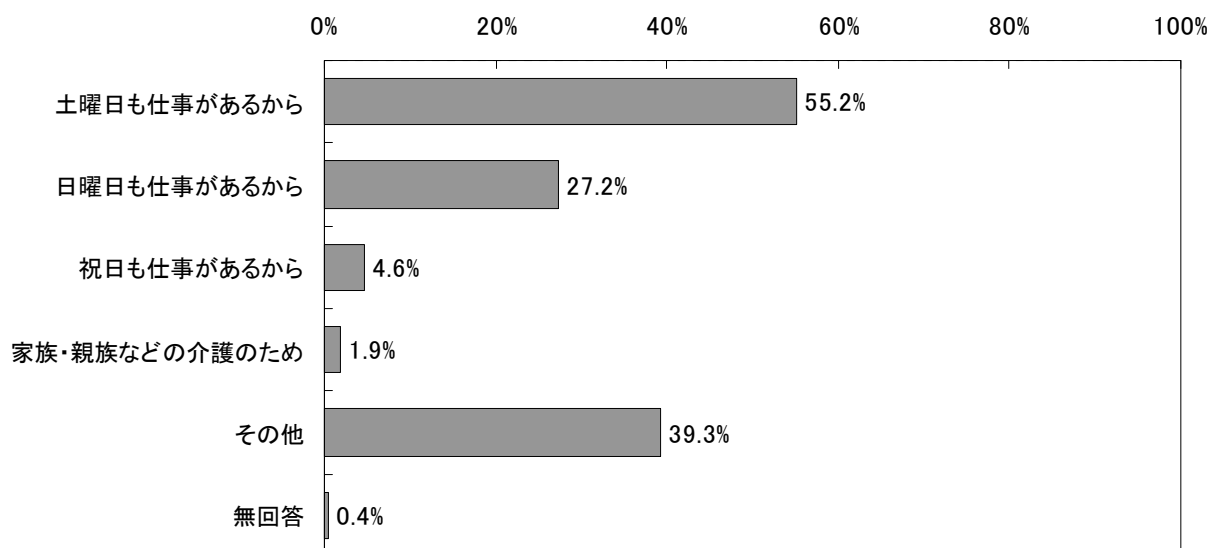
終了時間 開始時間	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時以降
7時以前	-	0.3	-	-	-	0.3	2.4	0.7	1.0	-
8時	-	0.7	0.7	0.3	2.0	2.7	5.1	3.1	1.7	0.7
9時	0.3	-	3.1	5.1	4.1	10.6	13.7	4.8	2.4	0.7
10時	0.7	-	0.7	3.8	3.8	5.1	1.4	1.4	1.0	0.7
11時	-	-	0.3	1.0	0.7	1.4	0.3	0.3	-	0.3
12時	-	-	-	-	0.3	1.0	-	-	1.0	-
13時以降	-	-	-	-	-	1.7	1.4	-	0.3	0.3

無回答 4.4%

〔設問〕 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを2つだけ選んで○をつけてください。

土・休日保育サービスを利用したいと考えている理由 （2つだけ選んで回答）

就学前児童【基数：土曜日、日曜日・祝日の保育サービスを希望された方（n=540）】



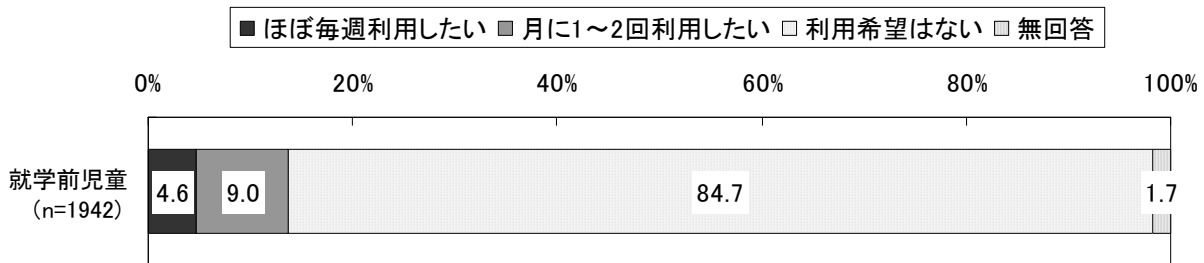
(4) 夜間の保育について（就学前児童のみ）

夜間帯の保育サービスを「ほぼ毎週利用したい」と回答した人が4.6%、「月に1～2回利用したい」と回答した人が9.0%であった。利用したい時間帯では「18時～20時」が14.0%で最も多く、利用したい理由を2つだけ選んで回答してもらったところ、「就労時間が夜間に及ぶから」が50.2%で最も多かった。

〔設問〕 夜間（保育サービス等の延長時間以降）に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。

夜間保育の利用希望の有無

【基数：全体】



夜間保育の利用希望の時間帯

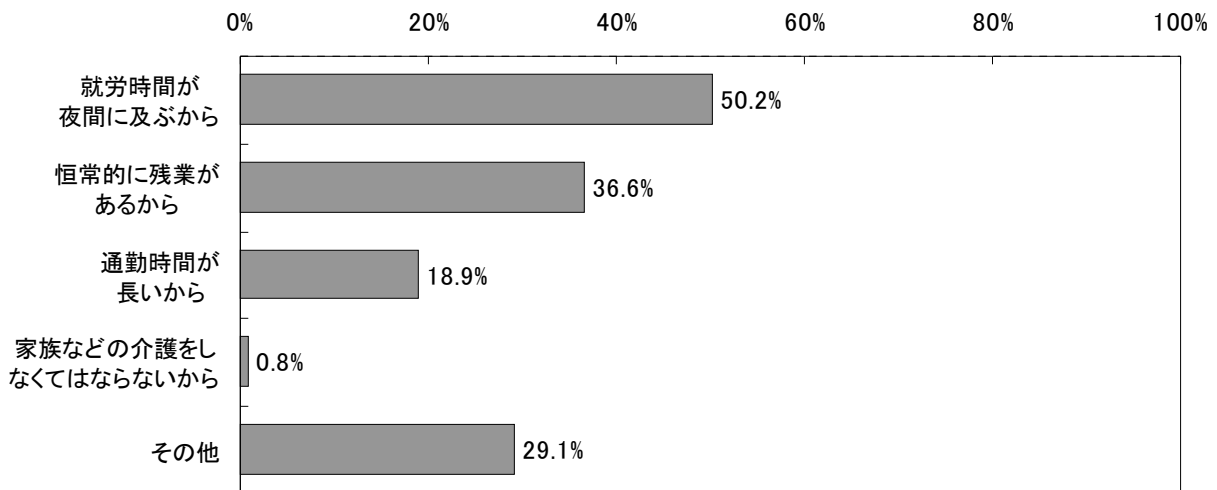
【基数：夜間の保育サービスを希望された方（n=265）】

終了時間 開始時間	18時以前	19時	20時	21時	22時	23時以降	無回答
16時以前	3.8	0.8	3.4	3.4	3.8	0.8	-
17時	0.8	2.3	4.2	3.4	3.0	0.8	0.4
18時	-	1.5	14.0	10.6	10.6	3.0	-
19時	-	-	4.9	7.5	4.2	2.3	0.4
20時以降	-	-	-	0.4	1.1	1.5	0.4
無回答	-	0.4	0.4	1.1	0.8	0.4	4.2

〔設問〕 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを2つだけ選んで○をつけてください。

夜間保育サービスを利用したいと考えている理由

【基数：夜間の保育サービスを希望された方（n=265）】



(5) 子どもが休んだときの対応

この1年間に、就学前児童が子どもの病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったことがあったと回答したのは58.9%であり、就学児童が病気やケガで学校を休まなければならなかったと回答したのは、52.7%であった。

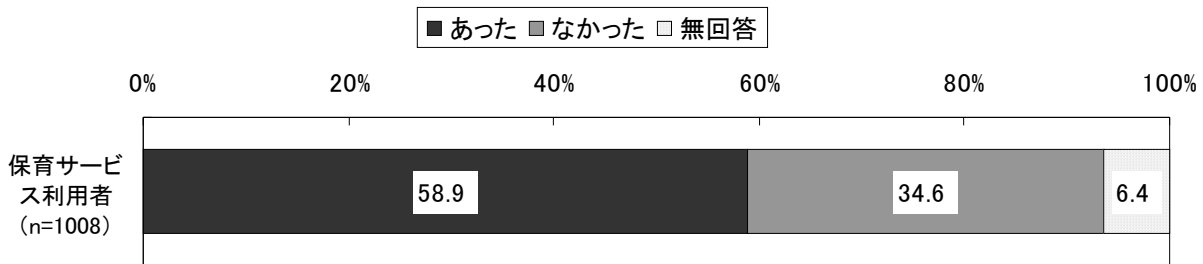
その対処方法としては、就学前児童では、「母親が休んだ」(54.6%)、「就労していない保護者がみた」(38.3%)、「父親が休んだ」(23.2%)の順に多く、就学児童では、「就労していない保護者がみた」(55.1%)、「母親が休んだ」(31.9%)、「父親が休んだ」(13.0%)の順に多かった。

また、「父親が休んだ」「母親が休んだ」「親族・知人に預けた」と回答した人のうち、就学前児童の72.5%、就学児童の40.5%が「できれば施設に預けたいと思った」と回答した。

〔設問〕 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことはありますか。

就学前児童：病気やケガで保育サービスを利用できなかったことの有無

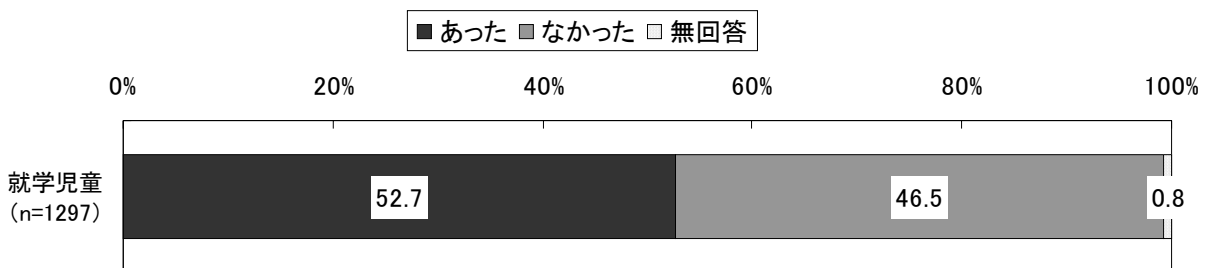
就学前児童【保育サービスを利用されている方 (n=1008)】



〔設問〕 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

就学児童：病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無

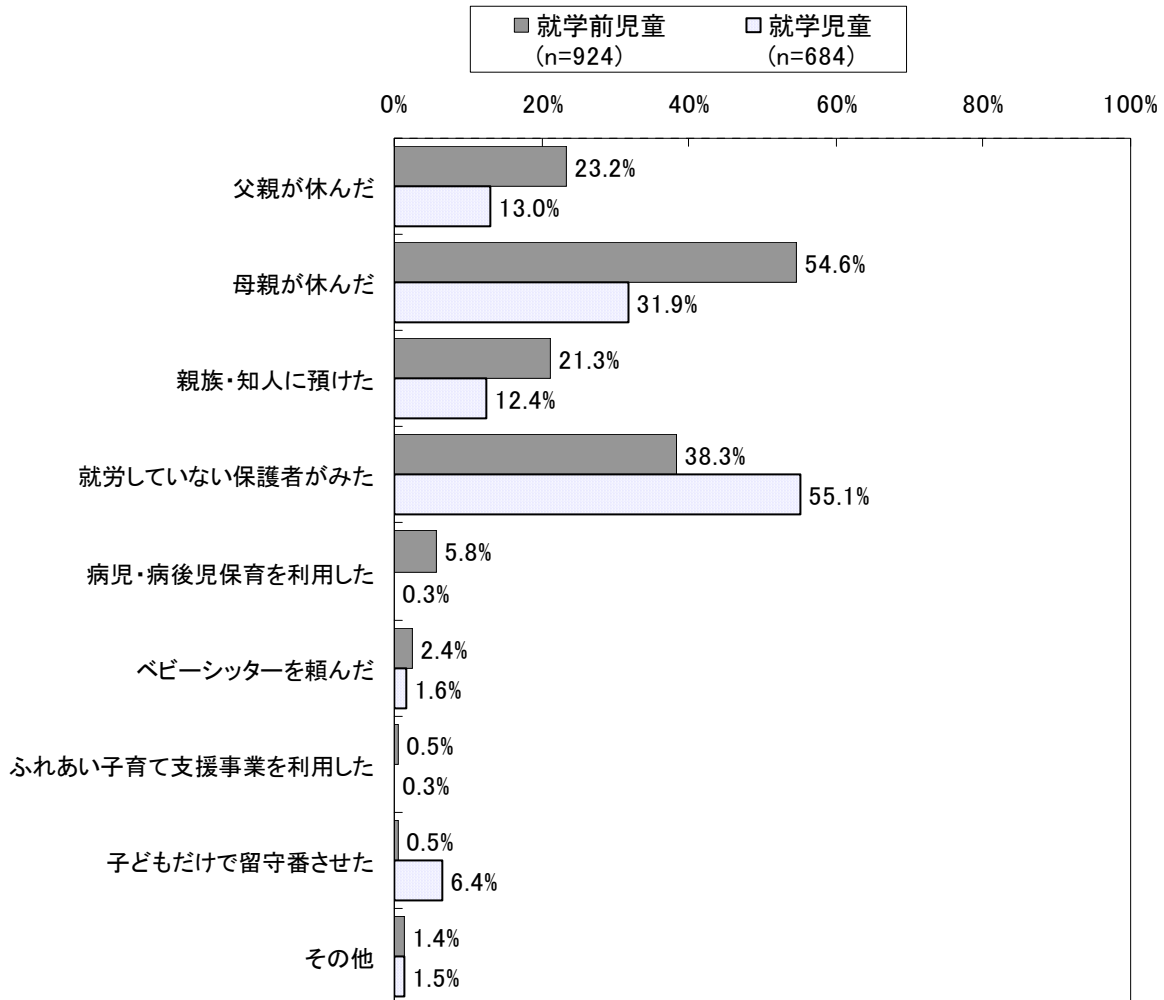
就学児童【基数：全体 (n=1297)】



お子さんが休んだときの対処方法

就学前児童【基数：この1年間にお子さんが病気やケガで保育サービスを休んだ方（n=924：複数回答）】

就学児童【基数：この1年間にお子さんが病気やケガで学校を休んだ方（n=684：複数回答）】



就学前児童：お子さんが休んだときの対処方法別の日数

休んだ日数 休んだ時の対処方法	件数	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31日以上	無回答	平均
父親が休んだ	145	85.5	9.7	2.1	0.0	0.7	0.0	2.1	3.6
母親が休んだ	341	49.3	27.3	7.6	5.6	4.7	2.1	3.5	9.1
親族・知人に預けた	133	55.6	24.1	8.3	5.3	3.0	1.5	2.3	8.1
就労していない保護者がみた	214	46.3	38.3	7.0	4.7	1.4	2.3	0.0	8.2
病児・病後児保育を利用した	36	72.2	19.4	0.0	2.8	2.8	0.0	2.8	5.4
ベビーシッターを頼んだ	15	60.0	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	8.6
ふれあい子育て支援事業を利用した	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	1.0
子どもだけで留守番させた	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
その他	9	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	5.8

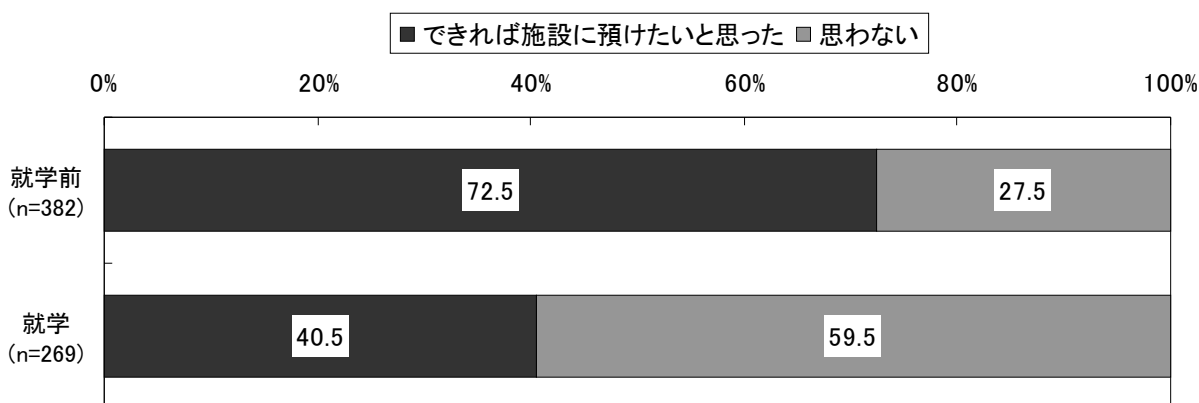
就学児童：お子さんが休んだときの対処方法別の日数

休んだ日数 休んだ時の対処方法	件数	1～5日	6～10日	11～15日	15日以上	無回答	平均
父親が休んだ	89	73.0	6.7	0.0	0.0	20.2	2.6
母親が休んだ	218	78.4	11.5	1.8	1.8	6.4	4.1
親族・知人に預けた	85	80.0	12.9	0.0	2.4	4.7	4.3
就労していない保護者がみた	377	70.8	16.7	1.9	3.4	7.2	5.1
病児・病後児保育を利用した	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
ベビーシッターを頼んだ	11	72.7	18.2	0.0	0.0	9.1	3.0
ふれあい子育て支援事業を利用した	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5
子どもだけで留守番させた	44	90.9	4.5	0.0	2.3	2.3	2.4
その他	10	70.0	10.0	0.0	0.0	20.0	3.4

〔設問〕 「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」、「3. 親族・知人に預けた」を選ばれた方に伺います。その際、できれば一時的に預けられる施設に預けたい、と思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

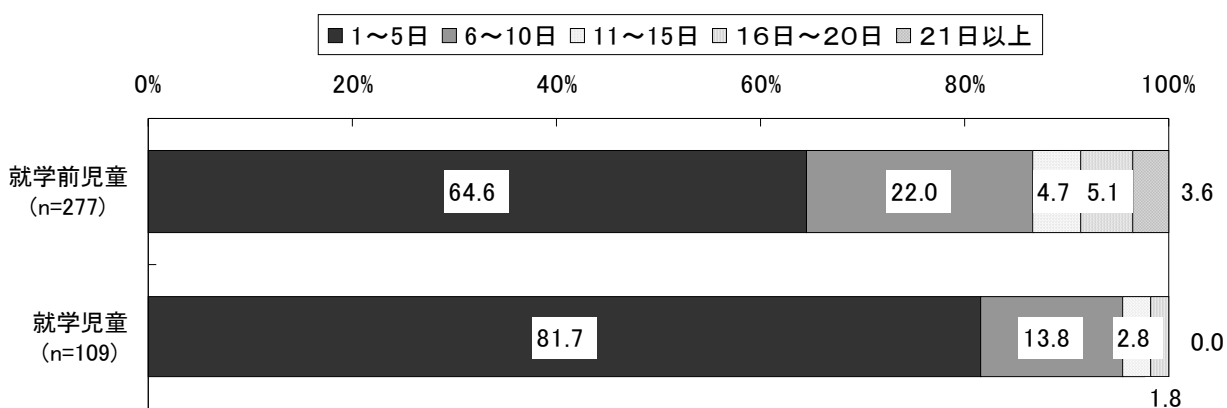
できれば施設に預けたいと思ったか

【基数：対処方法として、「父親が休んだ」「母親が休んだ」「親族・知人に預けた」を選んだ方】



できれば施設の預けたいと思った日数

【基数：できれば施設に預けたいと思った方】



【平均 就学前：7.4日、就学：3.8日】

(6) 子どもの一時預かりについて

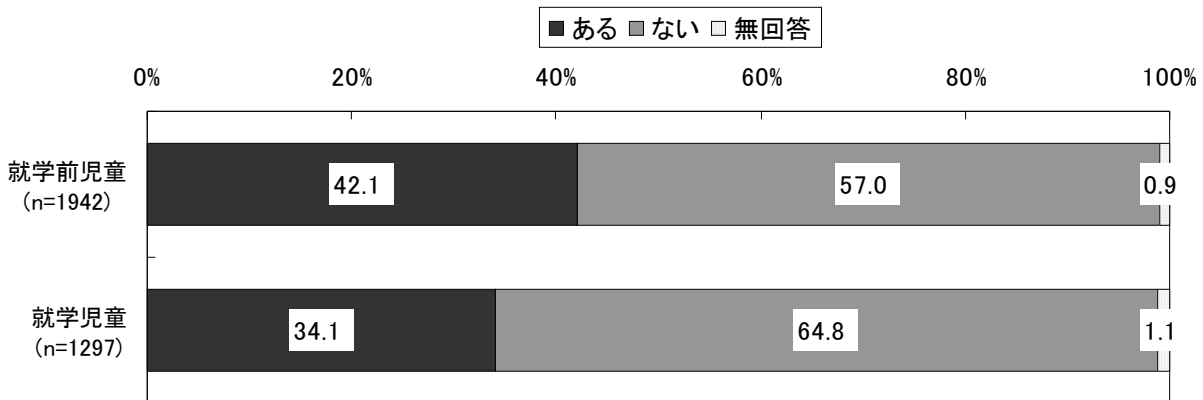
この1年間に子どもを一時的に預けたことがあったと回答したのは、就学前児童の42.1%、就学児童の34.1%であった。その理由として最も多かったのは、就学前、就学児童とも「私用、リフレッシュ目的」(就学前74.6%、就学児童55.0%)であった。

また、年間の預かり日数は、就学前、就学児童とも「1～5日」(同48.8%、52.9%)が最も多く、平均は就学前児童が11.6日、就学児童が13.9日であった。

〔設問〕 この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

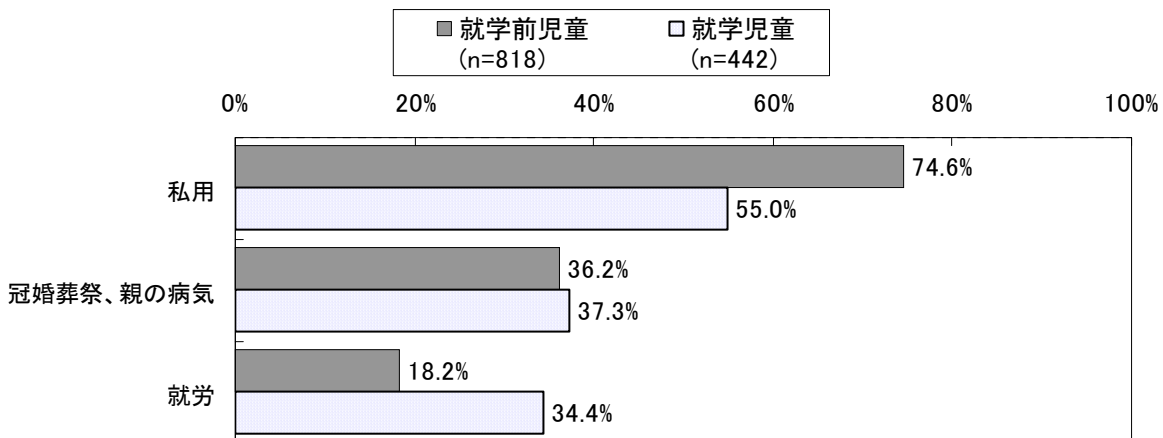
子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無

【基数：全体】



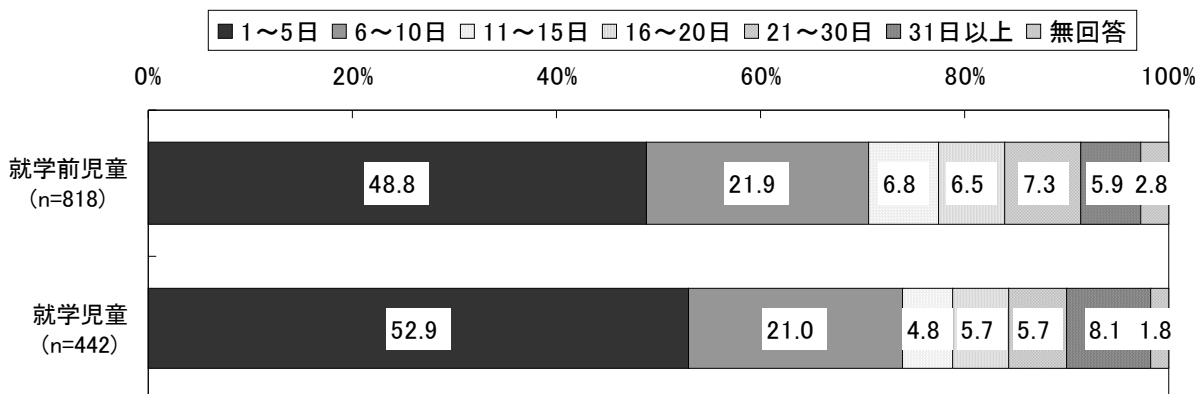
子どもを一時的に預けた理由

【基数：子どもを一時的に預けたことのある方】



この1年間に子どもを一時的に預けた日数

【基数：子どもを一時的に預けたことのある方】



【平均 就学前：11.6日、就学：13.9日】

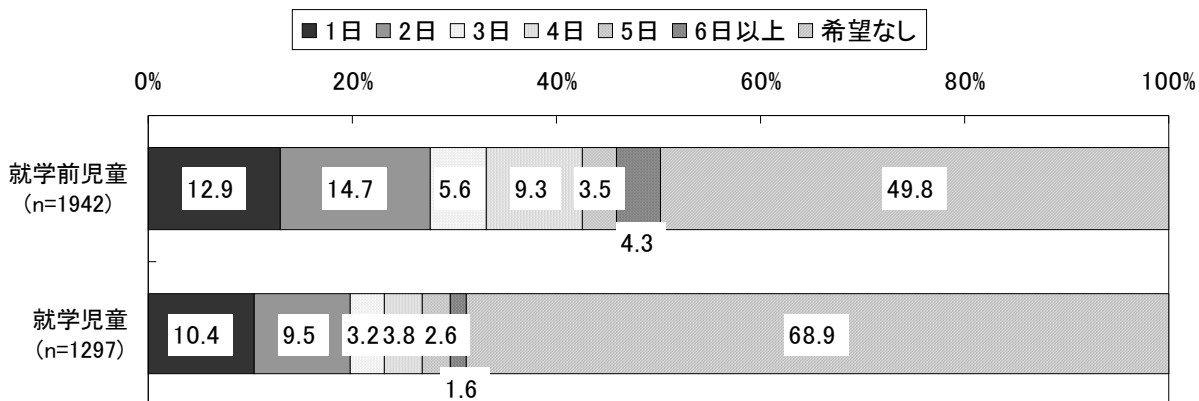
子どもの預かり理由別の年間日数

		データ数	期間						平均
			1~5日	6~10日	11~15日	16~20日	21~30日	31日以上	
児童 就学前	私用等	610	57.0	21.0	6.9	7.0	5.1	3.0	8.5
	冠婚葬祭等	296	80.1	10.8	2.7	3.0	2.4	1.0	5.3
	就労	149	49.0	16.8	9.4	6.7	3.4	14.8	16.7
就学児童	私用等	243	69.1	18.5	4.5	3.7	2.9	1.2	6.2
	冠婚葬祭等	165	80.0	13.9	1.8	1.2	1.2	1.8	4.9
	就労	152	49.3	14.5	5.9	5.9	9.2	15.1	22.2

〔設問〕 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用しているが利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

今後利用したい月間日数

【基数：全体】



【平均 就学前：3.1日、就学：2.7日】

(7) 夜間の一時預かりについて (就学児童のみ)

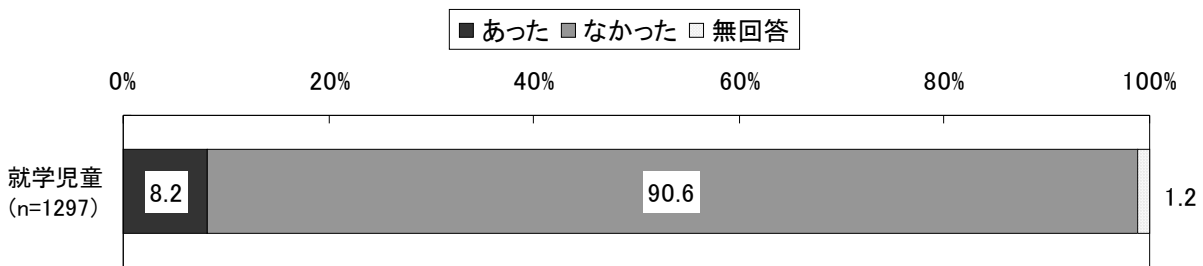
この1年間に子どもを夜間に一時的に預けたことがあったと回答したのは、就学児童の8.2%であった。その理由として最も多かったのは、「仕事(急な残業など)」(51.4%)であり、年間の預かり日数は、「1~5日」(57.0%)が最も多く、平均で6.6日であった。

また、夜間の一時預かりの希望がある人は13.5%であり、希望する月あたりの日数の平均は、2.6日であった。

〔設問〕 この1年間で、保護者の方のお仕事や急な用事のために、お子さんを家族以外の誰かに夜間一時的に預けたことはありましたか。

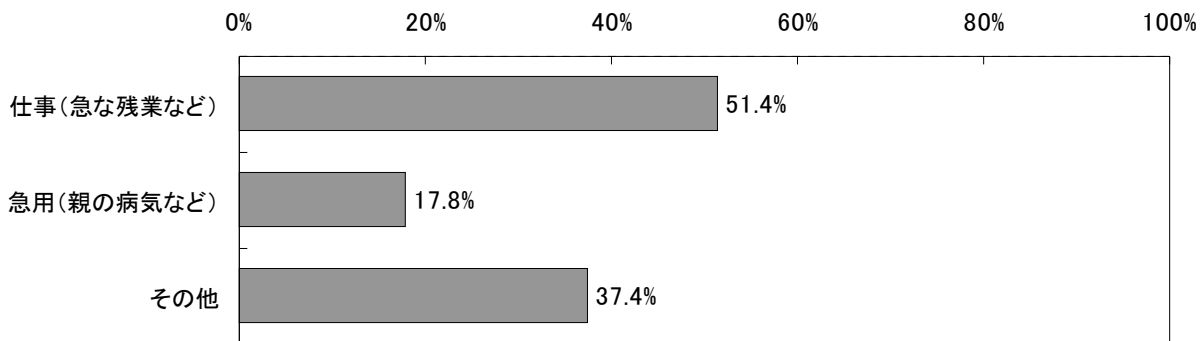
子どもを家族以外の誰かに夜間一時的に預けたことの有無

【基数：全体】

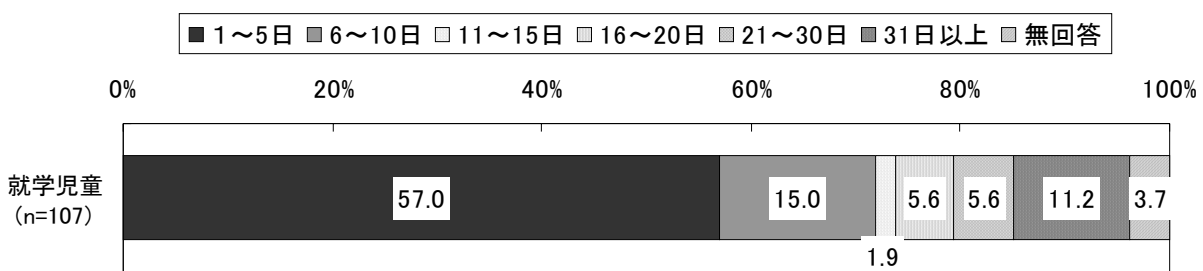


子どもを夜間に一時的に預けた理由

就学児童【基数：夜間に一時的に預けたことのある方：(n=107：複数回答)】



この1年間に子どもを夜間に一時的に預けた日数



【平均 6.6日】

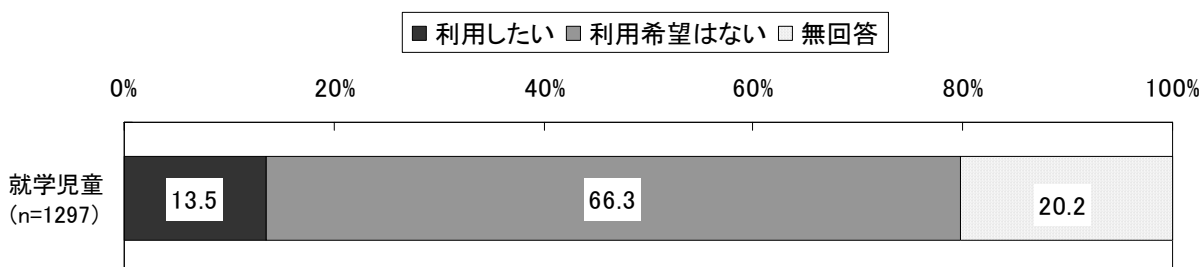
夜間の預かり理由別の年間日数

	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31日以上	平均
仕事	43.6	14.5	1.8	14.5	5.5	20.0	33.8
急用	94.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
その他	82.5	15.0	2.5	0.0	0.0	0.0	3.7

〔設問〕 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

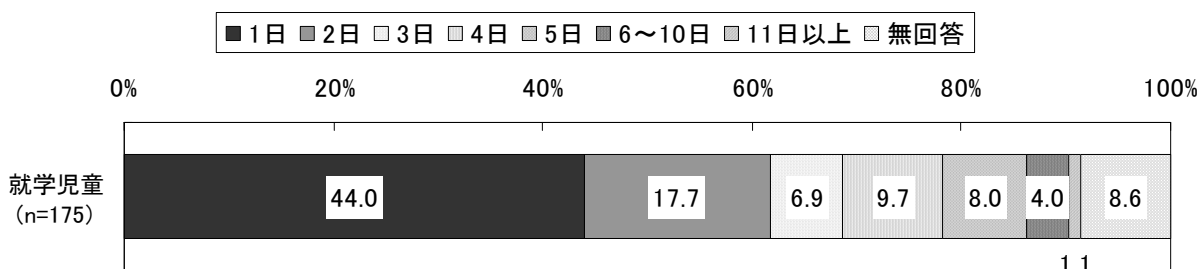
夜間の一時的預かり希望の有無

【基数：全体】



夜間の一時預かりを希望する月間日数

【基数：夜間の一時預かりを希望する方】



【平均 2.6日】

夜間の一時預かり希望の時間帯

終了時間 開始時間	18時以前	19時	20時	21時	22時	23時以降
16時以前	2.1	2.1	4.3	2.9	2.9	0.7
17時	0.7	1.4	6.4	5.7	7.1	1.4
18時	-	1.4	9.3	15.7	13.6	8.6
19時	-	-	-	3.6	3.6	2.9
20時以降	0.7	-	-	-	-	2.9

(8) 宿泊を伴う一時預かりについて

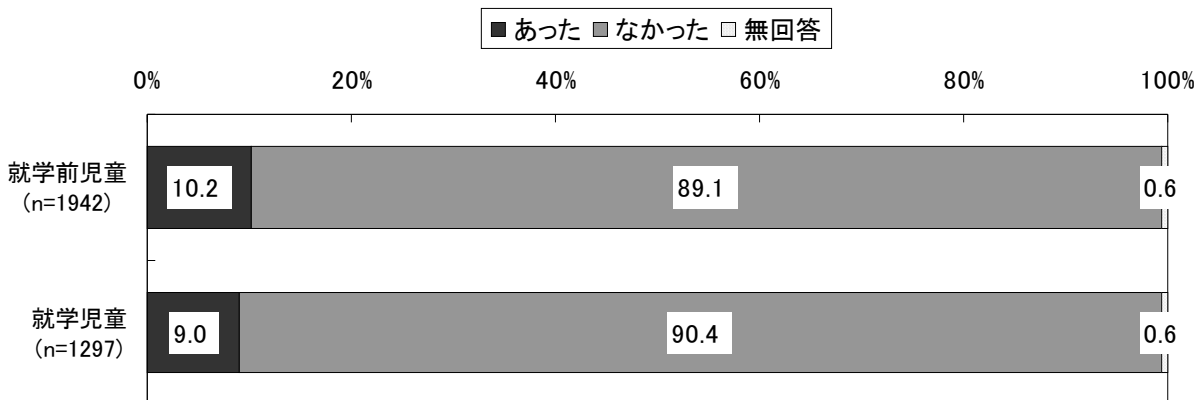
この1年間に子どもを泊まりがけで一時的に預けたことがあったと回答したのは、就学前児童の10.2%、就学児童の9.0%であった。その理由として最も多かったのは、就学前児童では「子どもの親の病気」(33.7%)、就学児童では「仕事」(42.4%)であった。また、年間の預かり日数は、就学前、就学児童とも「1～5日」(就学前57.8%、就学児童62.4%)が最も多く、平均は就学前児童9.1日、就学児童6.6日であった。

その対処方法として最も多かったのは、就学前、就学児童とも「親族・知人に預けた」(就学前84.4%、就学児童87.2%)であり、その場合の困難度は就学前、就学児童とも「非常に困難」「どちらかという困難」をあわせた値が「特に困難ではない」を上回った。(「非常に困難」+「どちらかという困難」の割合：同55.4%、63.7%)

〔設問〕 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

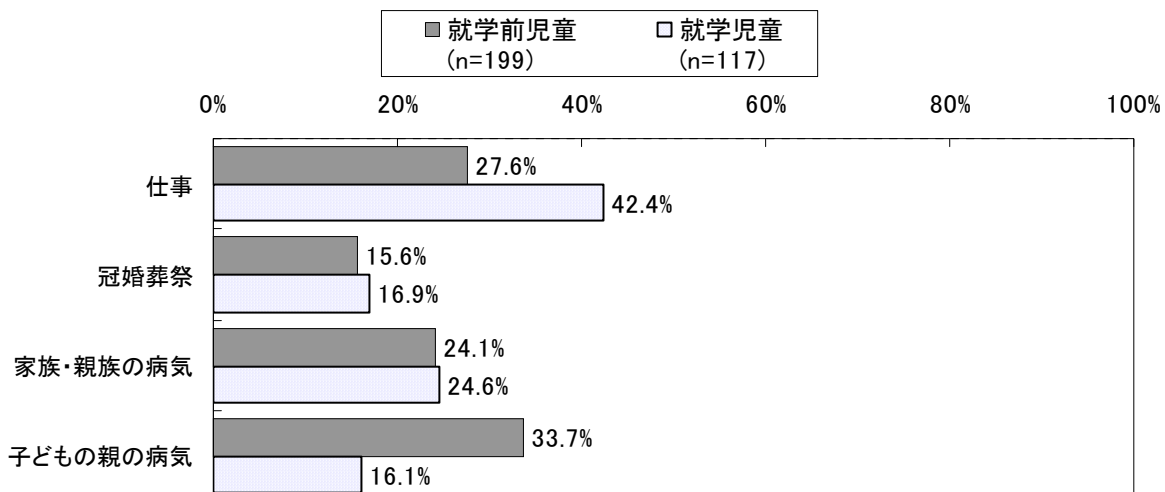
子どもの宿泊を伴う一時預かりの有無

【基数：全体】



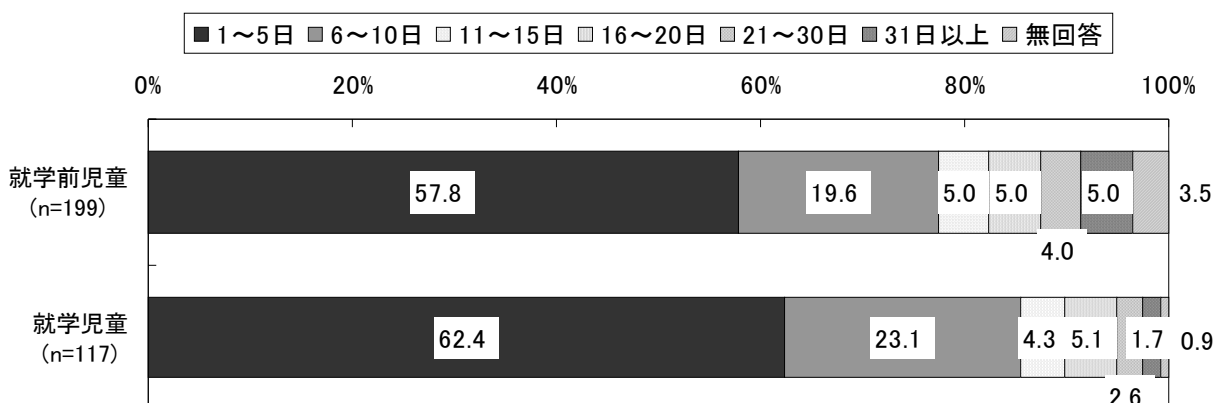
子どもを泊まりがけで預けた理由

【基数：この1年間に子どもを泊まりがけで預けたことのある方(複数回答)】



この1年間に子どもを泊まりがけで一時的に預けた日数

【基数：この1年間に子どもを泊まりがけで預けたことのある方】



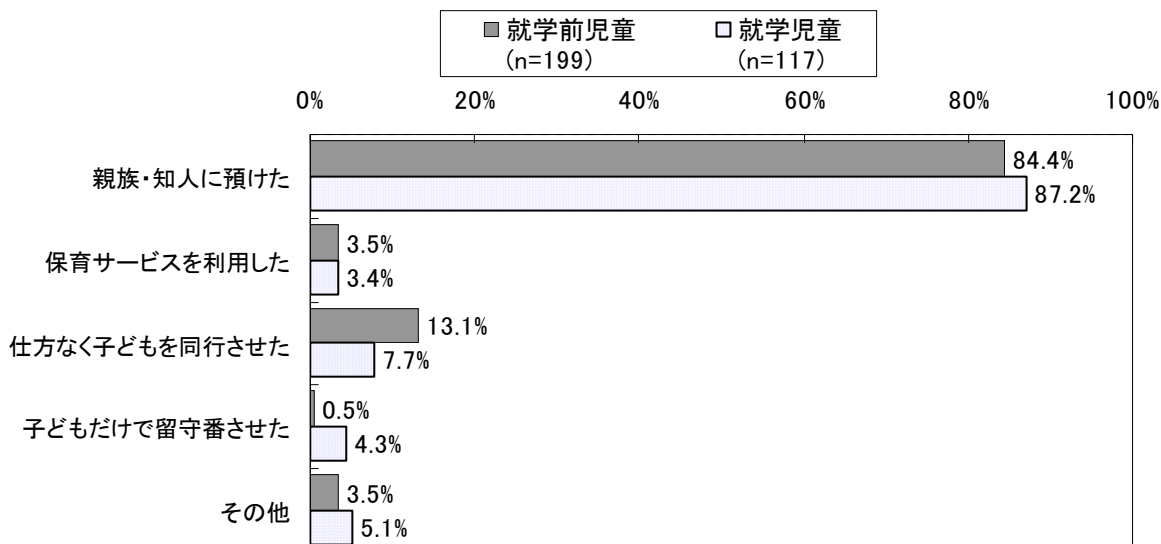
【平均 就学前：9.1日、就学：6.6日】

泊まりがけの預かり理由別年間日数

		1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31日以上	平均
就学前	仕事	65.5	9.1	5.5	3.6	5.5	10.9	11.6
	冠婚葬祭	93.5	6.5	-	-	-	-	2.6
	家族・親族の病気	64.6	16.7	8.3	8.3	2.1	-	6.0
	子どもの親の病気	59.7	25.4	4.5	3.0	3.0	4.5	7.8
就学	仕事	56.0	20.0	6.0	8.0	6.0	4.0	9.0
	冠婚葬祭	90.0	10.0	-	-	-	-	2.7
	家族・親族の病気	69.0	24.1	3.4	3.4	-	-	4.6
	子どもの親の病気	63.2	31.6	-	5.3	-	-	4.9

泊まりがけで預けたときの対処方法

【基数：この1年間に子どもを泊まりがけで預けたことのある方（複数回答）】



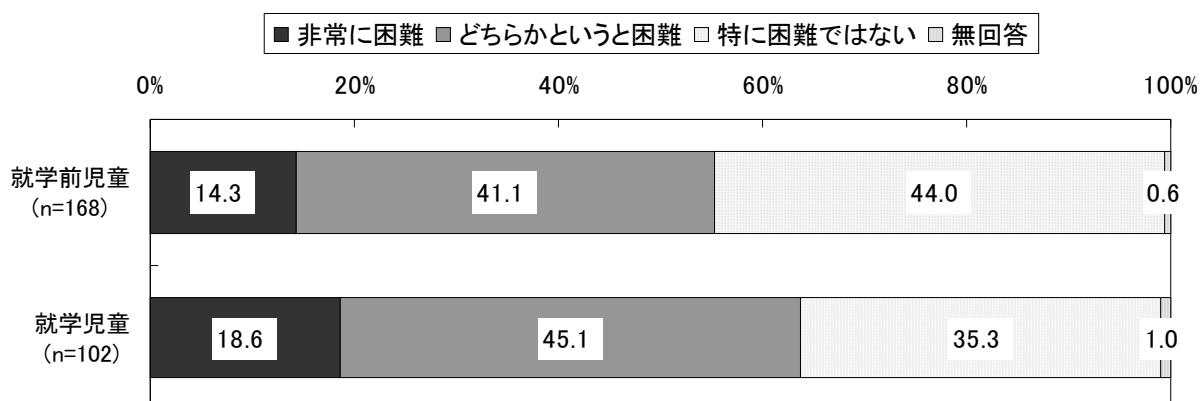
対処方法別の年間泊数

		1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31日以上	無回答	平均
就学前	親族・知人に預けた	57.1	19.0	7.7	5.4	3.0	4.8	3.0	8.8
	保育サービスを利用した	57.1	-	14.3	-	14.3	14.3	-	13.6
	仕方なく子どもを同行させた	80.8	3.8	-	-	-	7.7	7.7	5.8
	子どもだけで留守番させた	100.0	-	-	-	-	-	-	1.0
	その他	25.0	25.0	-	-	12.5	12.5	25.0	10.0
就学	親族・知人に預けた	63.7	20.6	4.9	3.9	2.0	2.0	2.9	6.4
	保育サービスを利用した	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	8.5
	仕方なく子どもを同行させた	55.6	33.3	-	-	-	-	11.1	4.3
	子どもだけで留守番させた	100.0	-	-	-	-	-	-	3.4
	その他	33.3	16.7	-	-	-	-	50.0	3.7

〔設問〕 「親族・知人に預けた」を選ばれた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

「親族・知人に預けた」時の困難度

【基数：この1年間に子どもを親族・知人に泊まりがけで預けたことのある方】



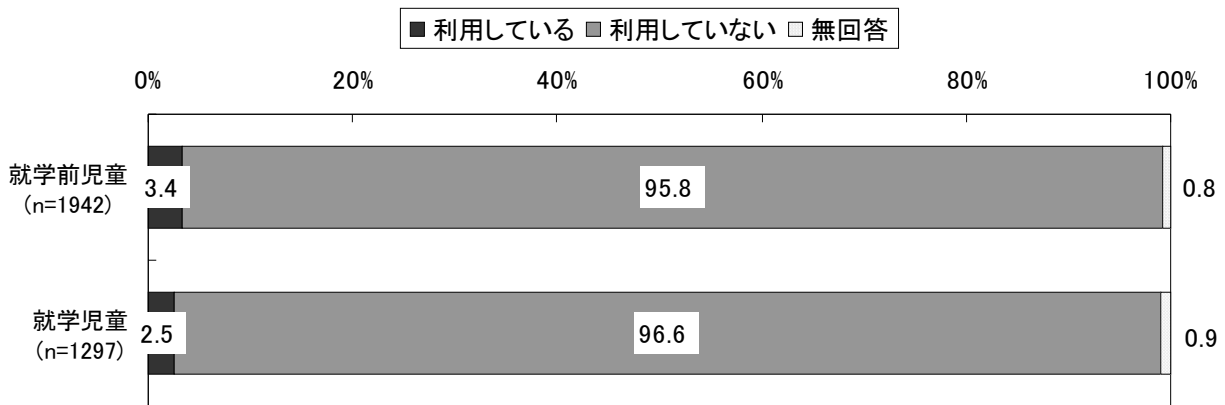
(9) ふれあい子育て支援事業について

ふれあい子育て支援事業を利用しているとは、就学前児童の 3.4%、就学児童の 2.5%であった。

〔設問〕 ふれあい子育て支援事業を利用していますか。

ふれあい子育て支援事業の利用の有無

【基数：全体】



利用の目的

【基数：この1年間にふれあい子育て支援事業を利用した方】

	主たる保育サービスとして	足りない時間とを補う目的	子どもの病気・ケガ等の緊急時	祖父母や友人等に預かってもらえないとき	冠婚葬祭や買い物等の外出の際	保育施設等の送り迎え	その他の目的
就学前児童(N=66)	15.2	19.7	7.6	25.8	18.2	18.2	18.2
就学児童(N=32)	28.1	25.0	6.3	25.0	9.4	3.1	21.9

利用頻度

月あたり日数

日数	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答	平均
就学前児童(n=66)	30.3	13.6	3.0	6.1	3.0	9.1	34.8	30.3
就学児童(n=32)	37.5	9.4	3.1	18.8	3.1	6.3	21.9	37.5

1回あたり時間数

時間数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間以上	無回答	平均
就学前児童(n=66)	7.6	33.3	18.2	10.6	3.0	1.5	25.8	2.7
就学児童(n=32)	9.4	9.4	15.6	25.0	-	6.2	34.4	3.3

利用日数・回数の増加希望の有無

増加希望の有無

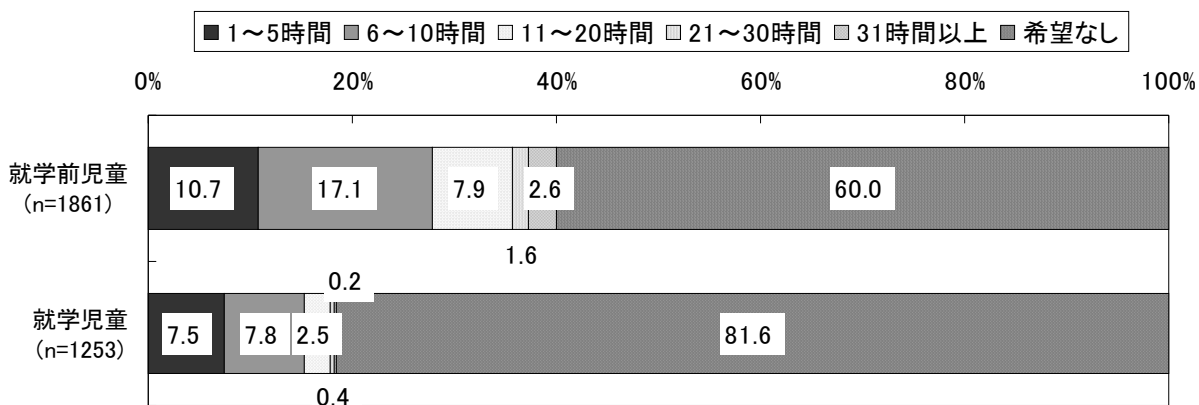
時間数	希望がある	希望はない
就学前児童(n=66)	28.8	71.2
就学児童(n=32)	18.8	81.3

月あたり希望時間数

時間数	1～5時間	6～10時間	11～20時間	21時間以上	平均
就学前児童(n=19)	26.3	42.1	26.3	5.3	10.2
就学児童(n=6)	-	16.7	66.7	16.7	25.2

今後利用したい月あたり時間数

【基数：この1年間にふれあい子育て支援事業を利用していない方】



【平均 就学前：13.3時間、就学：8.6時間】

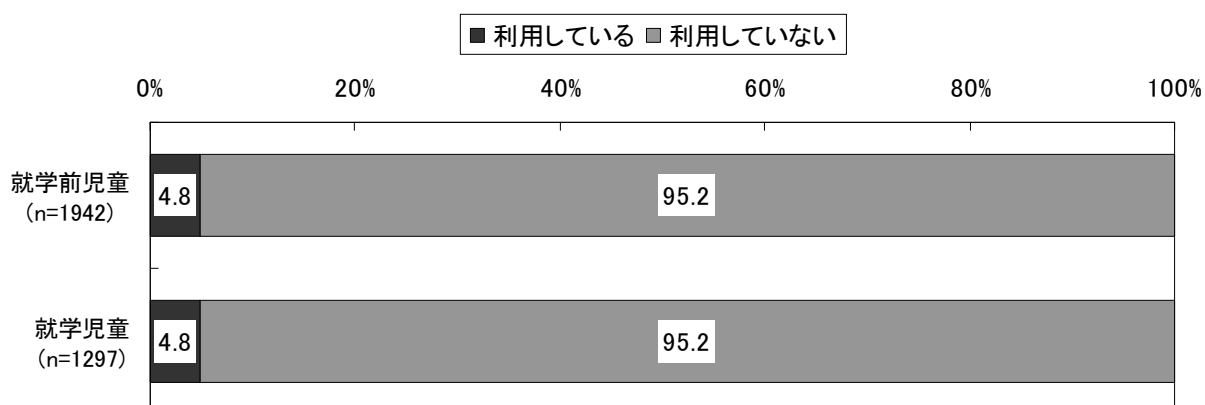
(10) ベビーシッターについて

ベビーシッターを利用していると回答したのは、就学前児童の 4.8%、就学児童の 4.8%であった。

〔設問〕 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

ベビーシッター利用の有無

【基数：全体】



利用の目的

【基数：この1年間にベビーシッターを利用した方】

	主たる保育サービスとして	足りない時間を補う目的で	子どもの病気・ケガ等の緊急時	祖父母や友人等に預かってもらえないとき	冠婚葬祭や買い物等の外出の際	その他の目的
就学前児童(N=93)	17.2	33.3	24.7	35.5	22.6	22.6
就学児童(N=62)			24.2	48.4	11.3	50.0

利用頻度

月あたり日数

日数	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答	平均
就学前児童(n=93)	45.2	8.6	7.5	4.3	7.5	17.2	9.7	3.7
就学児童(n=62)	33.9	8.1	6.5	14.5	-	27.4	9.7	5.4

1回あたり時間数

時間数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間以上	無回答	平均
就学前児童(n=93)	2.2	8.6	21.5	18.3	20.4	29.0	-	4.9
就学児童(n=62)	3.2	11.3	29.0	22.6	14.5	16.1	3.2	4.2

(11) 子育てひろばについて（就学前児童のみ）

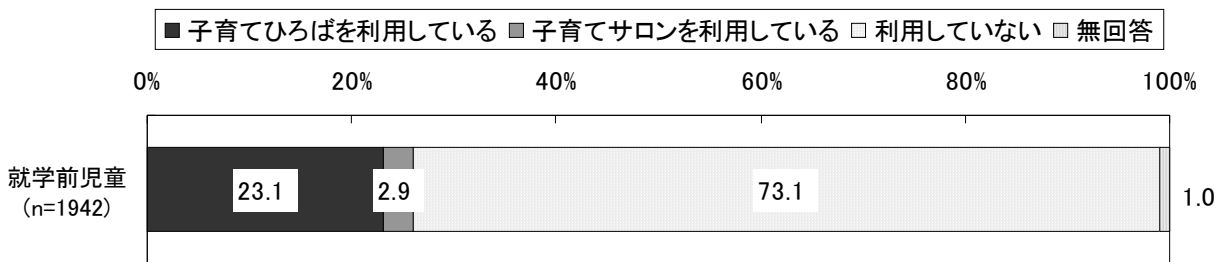
① 子育てひろば・子育てサロンの利用状況

子育てひろばを利用していると回答したのは就学前児童の 23.1%、子育てサロンを利用していると回答したのは 2.9%であった。子育てひろばの 1 週間あたりの平均利用回数は 1.4 回であり、子育てサロンの月あたりの平均利用回数は 2.1 回であった。

〔設問〕 現在、「おでかけひろば・子育てひろば」や、「子育てサロン」を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

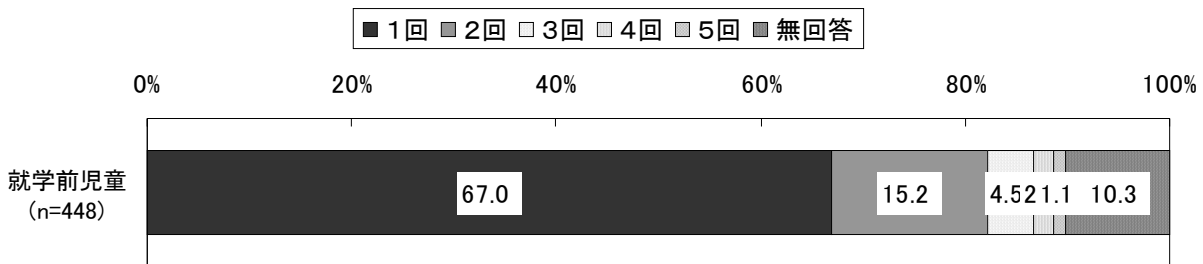
子育てひろば・子育てサロンの利用の有無

【基数：全体】



子育てひろば 1 週間あたりの利用回数

【基数：子育てひろばを利用している方】



【平均 1.4 回】

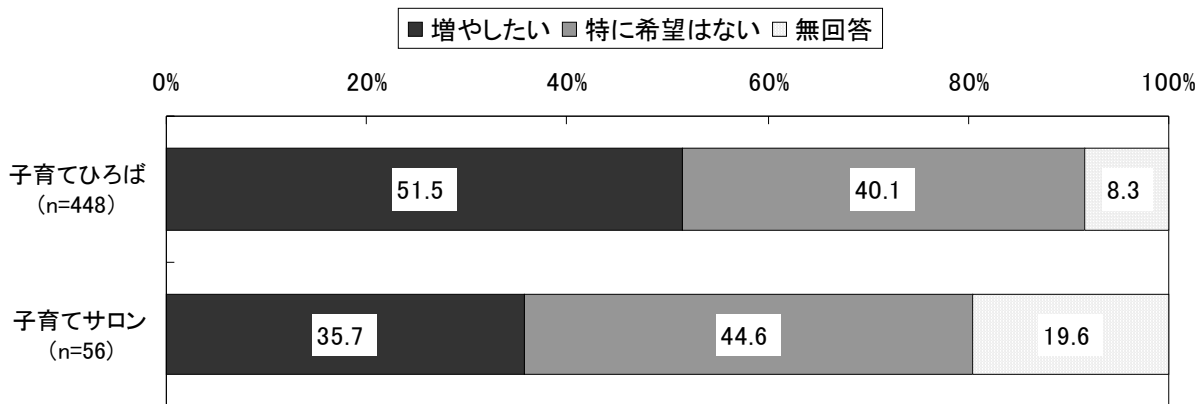
子育てサロン月あたりの利用回数

【基数：子育てサロンを利用している方】

日数	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答	平均
就学前児童(n=56)	51.8	17.9	5.4	16.1	1.8	5.4	2.1

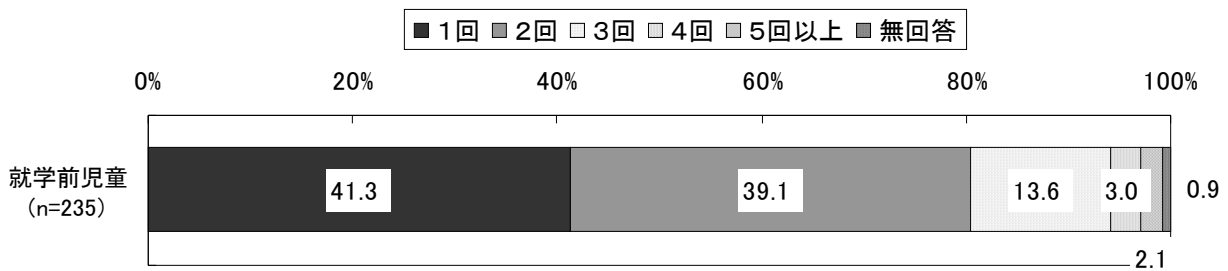
利用回数を増やしたいか

【基数：子育てひろば・子育てサロンを利用している方】



子育てひろばの週あたりの希望増回数

【基数：子育てひろばの利用をふやしたい方】



【平均 1.9回】

子育てサロンの月あたりの希望増回数

【基数：子育てサロンの利用をふやしたい方】

日数	1日	2日	3日	4日	5日以上	平均
就学前児童 (n=28)	42.9	32.1	-	10.7	14.3	2.6

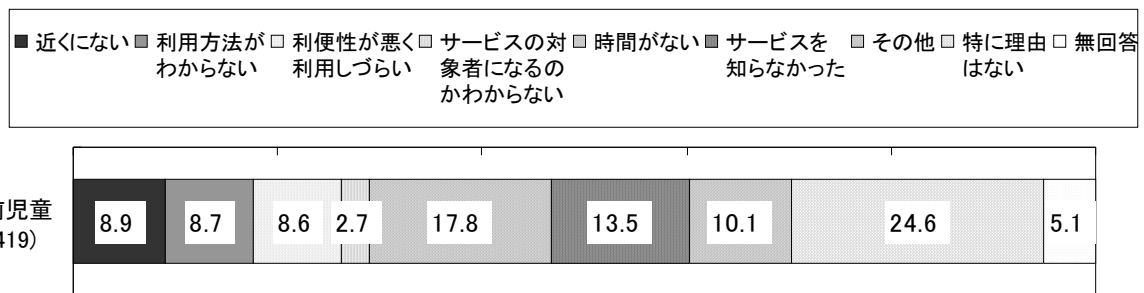
② 子育てひろば・子育てサロンを利用していない方の状況

子育てひろば・子育てサロンを利用していない理由は、「特に理由はない」(24.6%)、「時間がない」(17.8%)、「サービスを知らなかった」(13.5%)の順に多かった。また、63.0%が今後も特に利用しないと回答した。

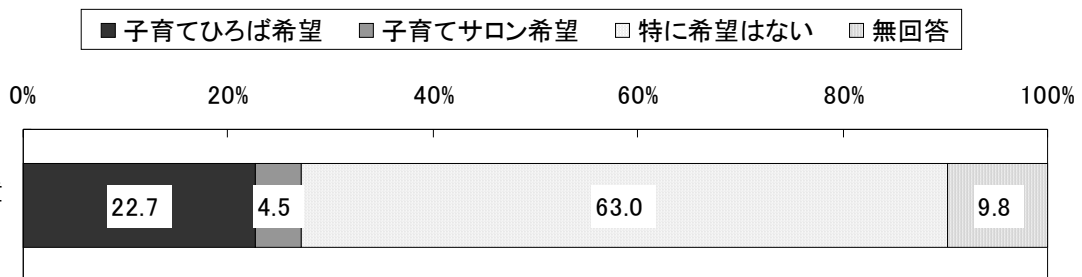
〔設問〕 現在利用していない理由はどのようなことですか。

子育てひろば・子育てサロンを利用していない理由

【基数：子育てひろば・子育てサロンを利用していない人】

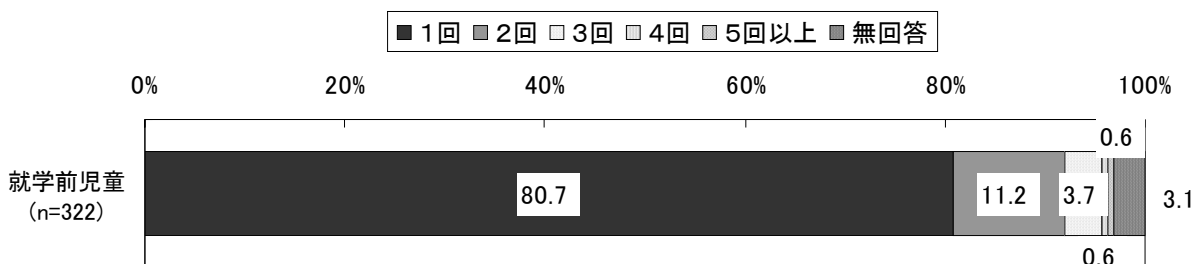


今後の利用希望の有無



子育てひろばの週あたりの希望回数

【基数：子育てひろばの利用希望者】



【平均 1.2回】

子育てサロンの月あたりの希望回数

【基数：子育てサロンの利用希望者】

日数	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答	平均
就学前児童(n=64)	60.9	25.0	6.3	6.3	-	1.6	1.6

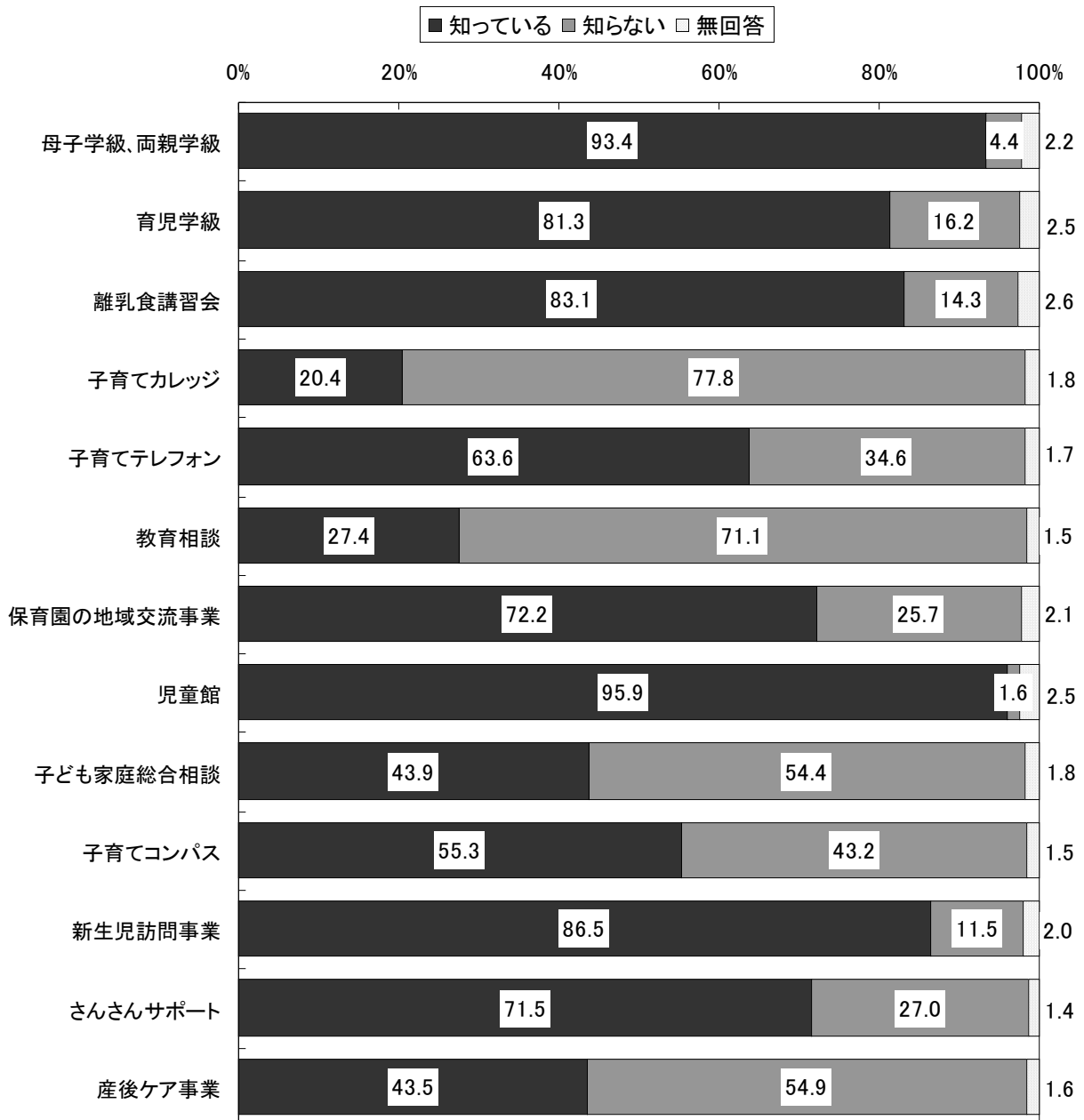
(12) 子育て支援サービスの認知度・利用度（就学前児童のみ）

子育て支援サービスの認知度は、「児童館」（95.9%）、「母子学級、両親学級」（93.4%）、「新生児訪問事業」（86.5%）の順に多かった。子育て支援サービスを利用している人は「児童館」（81.2%）「母子学級、両親学級」（68.6%）、「育児学級」（62.8%）の順に多く、今後利用したいと思っている人は、「児童館」（78.5%）、「子育てコンパス」（63.7%）、「認可保育園の地域交流事業」（57.4%）の順に多かった。

〔設問〕 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

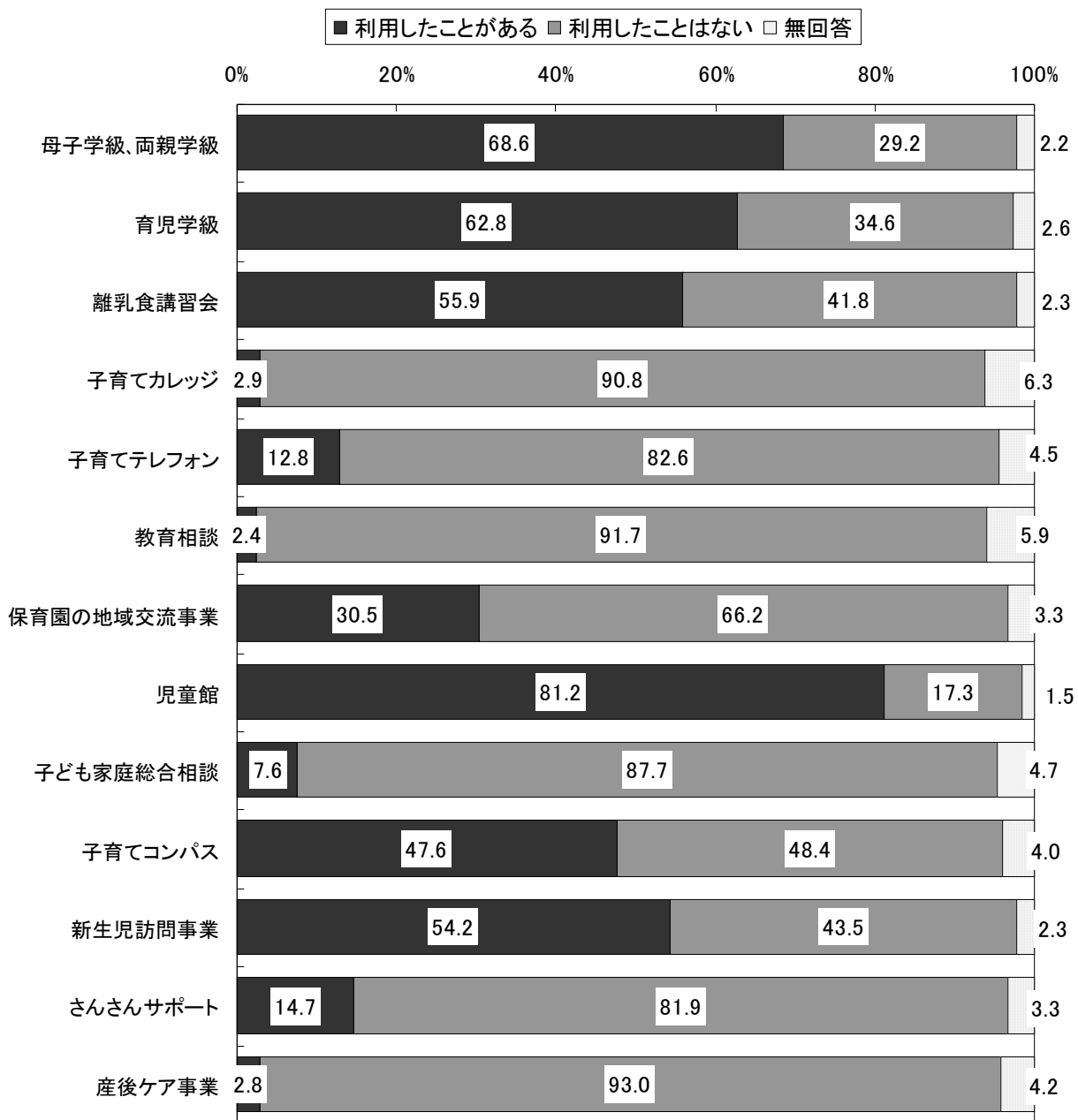
子育て支援サービスの認知度

【基数：全体（n=1942）】



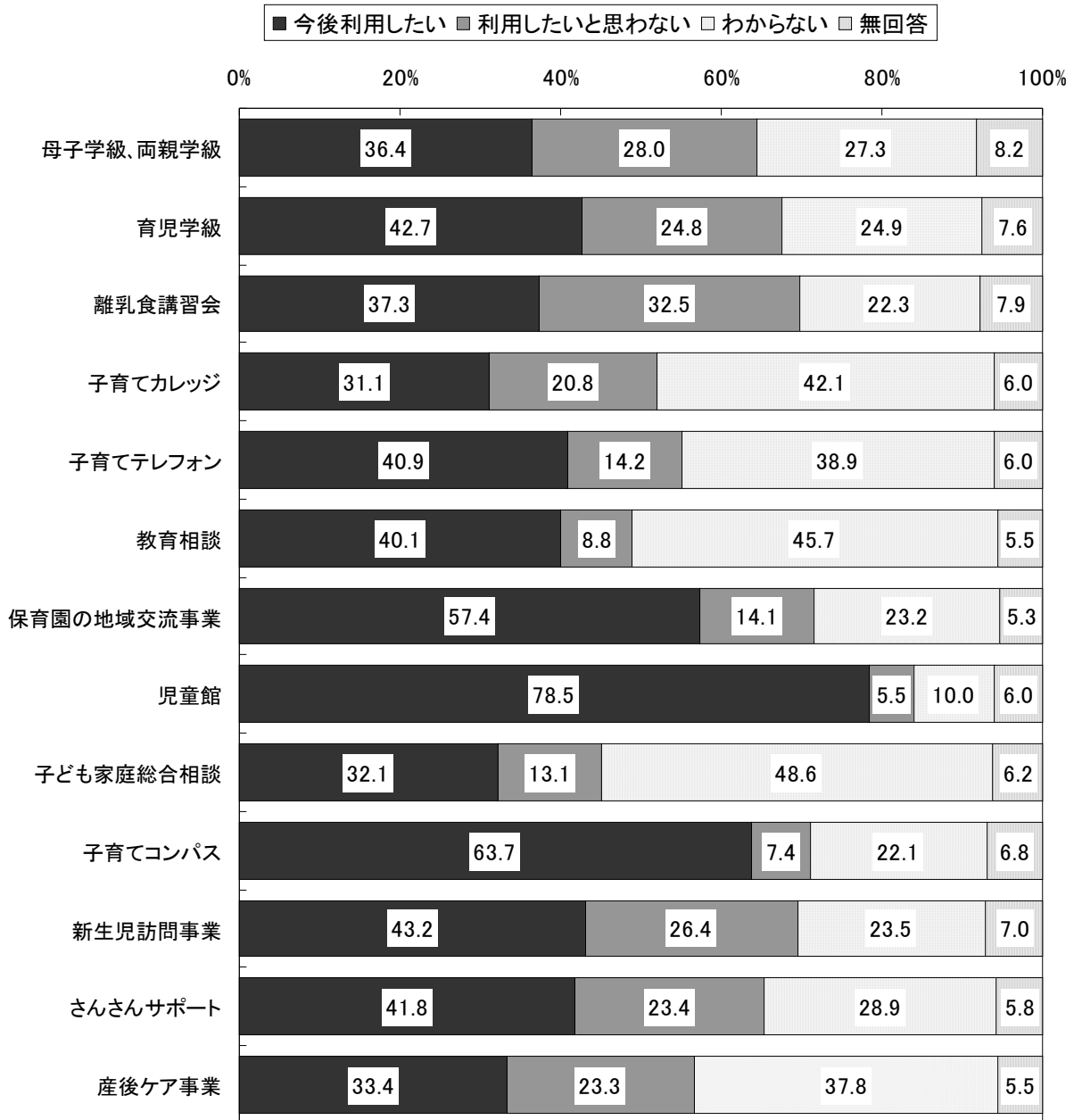
子育て支援サービスの利用度

【基数：全体 (n=1942)】



今後の利用希望

【基数：全体（n=1942）】



4 放課後の過ごし方について

(1) 新 BOP 内学童クラブ（以下学童クラブという）の利用状況（就学児童のみ）

学童クラブを利用しているのは、就学児童の 16.3%であった。利用している人のうち 50.5%が週 5 日利用しており、土曜日も利用していると回答したのは 23.6%であった。

利用している理由として最も多かったのは「現在就労している」(79.7%)であり、利用していない理由として最も多かったのは「現在就労していない」(60.5%)であった。

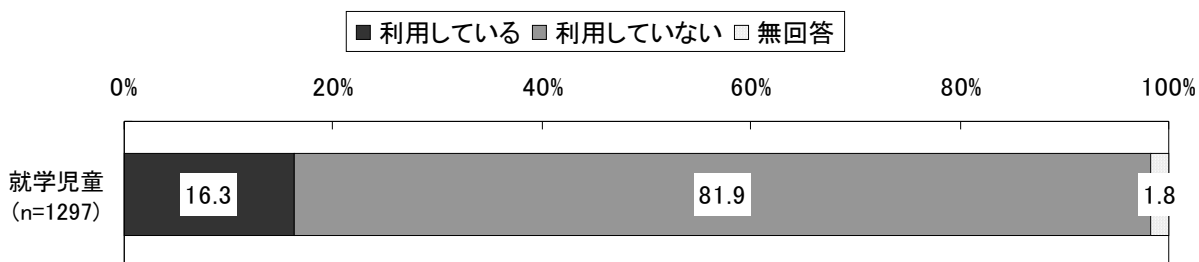
現在利用していない人のうち 15.5%が今後利用したいと回答しており、1 週間あたりの希望日数の平均は 3.2 日であった。そのうち 28.5%が土曜日の利用を希望しており、利用したい理由として最も多かったのは、「そのうち就労したいと考えている」の 50.3%であった。

〔設問〕 現在、学童クラブを利用していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

【学童クラブ…放課後、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校 1～3 年生の児童に対し、心身の健やかな発達を促します。世田谷区では、「BOP」と一体的に全区立小学校で「新 BOP 事業」として実施しています。】

学童クラブの利用の有無

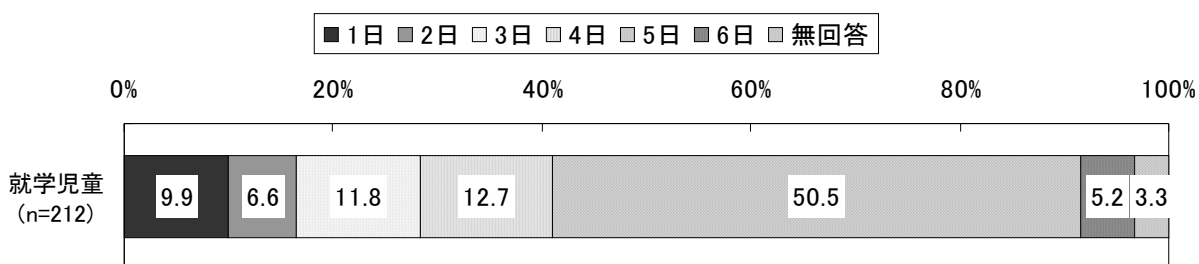
【基数：全体】



〔設問〕 利用している方にお伺いします。学童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる主な理由について、あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。

週あたりの利用日数

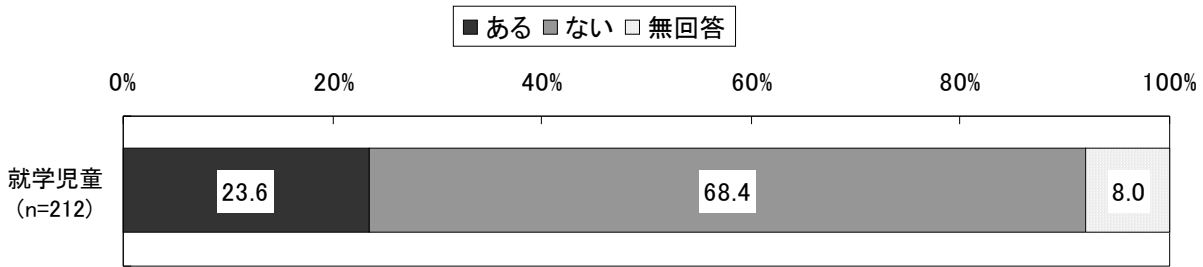
【基数：学童クラブ利用者】



【平均 4.3 日】

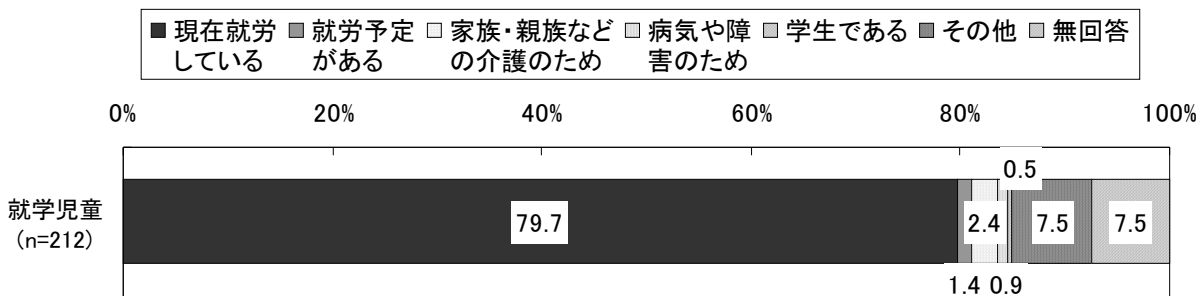
土曜日の利用の有無

【基数：学童クラブ利用者】



利用している理由

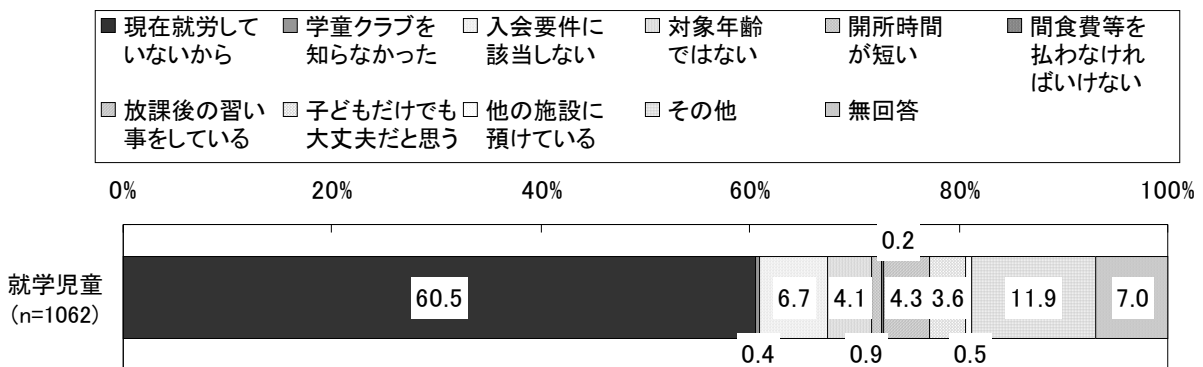
【基数：学童クラブ利用者】



〔設問〕 利用していない方にお伺いします。利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

利用していない理由

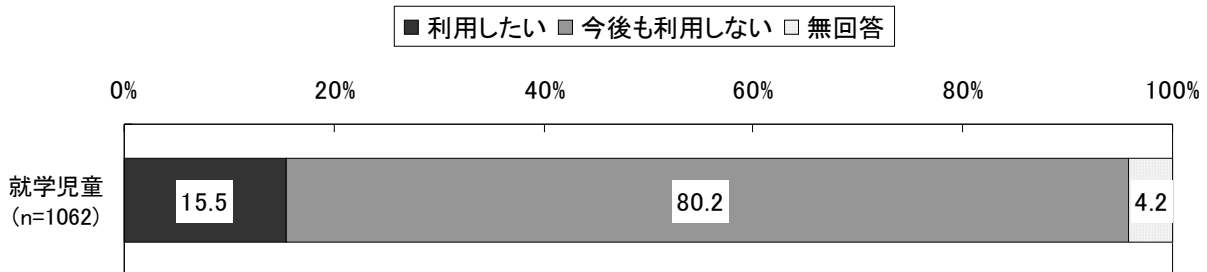
【基数：学童クラブを利用していない方】



〔設問〕 利用していない方にお伺いします今後、学童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

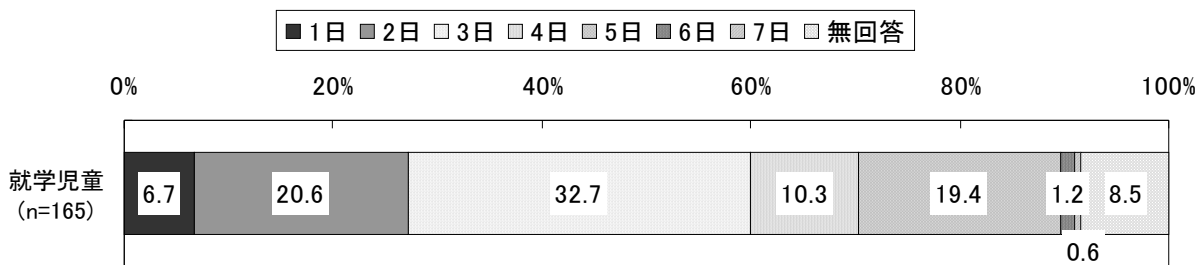
今後利用したいか

【基数：学童クラブを利用していない方】



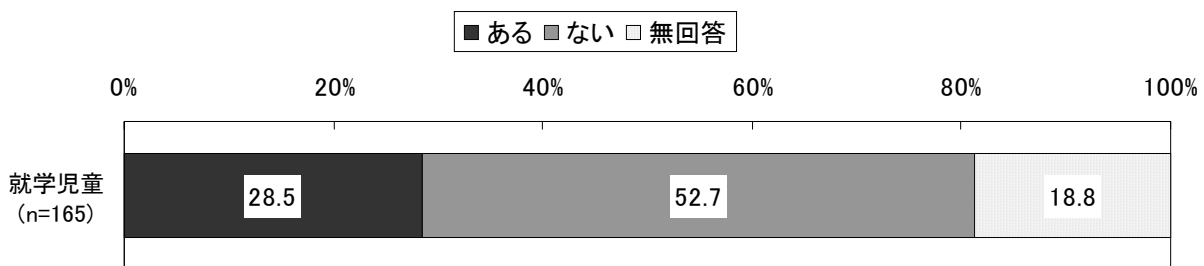
週あたりの希望日数

【基数：学童クラブ希望者】

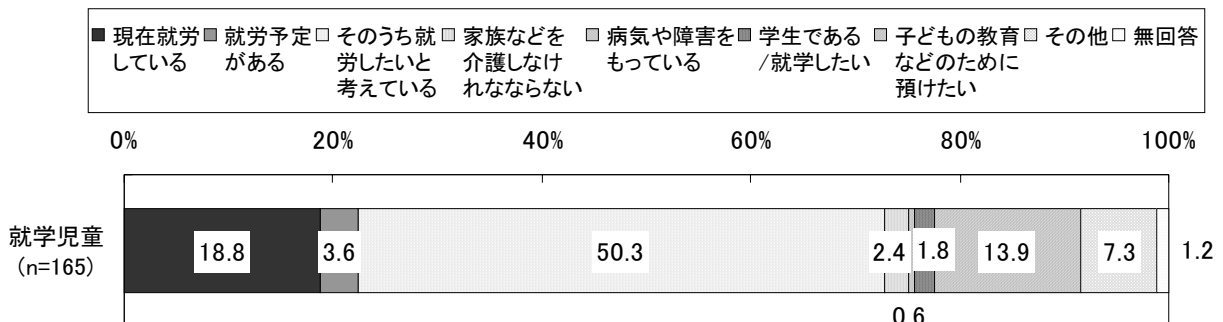


【平均 3.2日】

土曜日の利用希望



利用したい理由



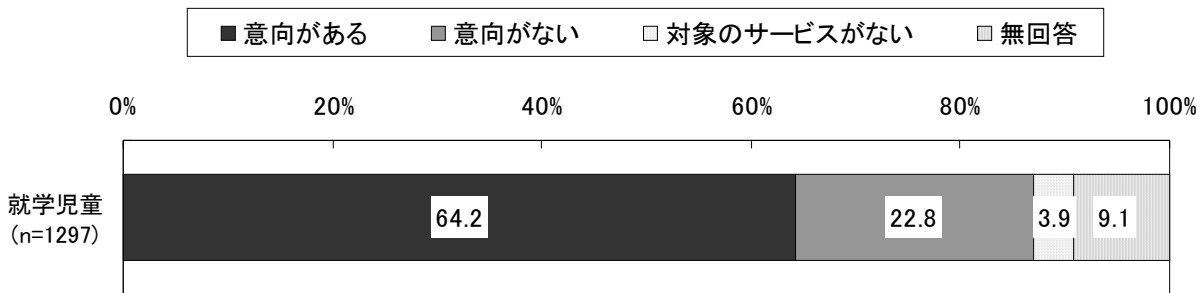
(2) BOP の利用意向 (就学児童のみ)

BOP の利用意向があると回答したのは 64.2%であった。週あたりの希望日数は「1 日」(29.1%)「2 日」(25.9%) の順に多く、平均は 2.4 日であった。

〔設問〕 新 BOP には、「学童クラブ」と「BOP」がありますが、「BOP」の利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。【BOP…当該小学校の1～6年生のすべての子どもを対象として、希望者が小学校の施設や校庭等を利用して、異なる年齢の子どもたちと共に遊びを通して創造性・自主性・社会性を養い、児童の健全育成をはかるものです。】

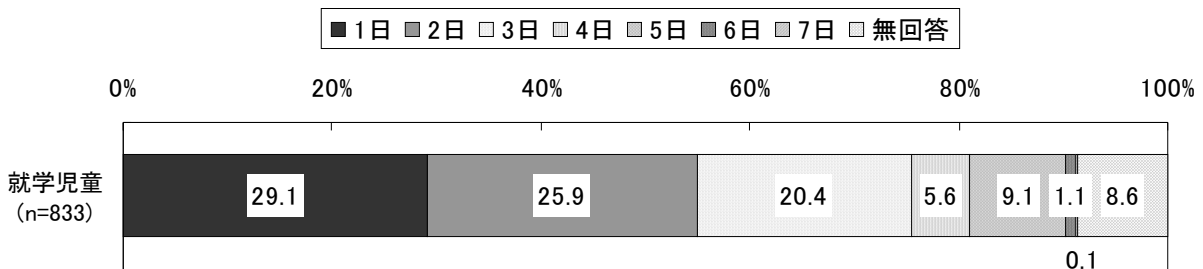
BOP の利用意向の有無

【基数：全体】



週あたりの希望回数

【基数：BOP利用希望者】



【平均 2.4 日】

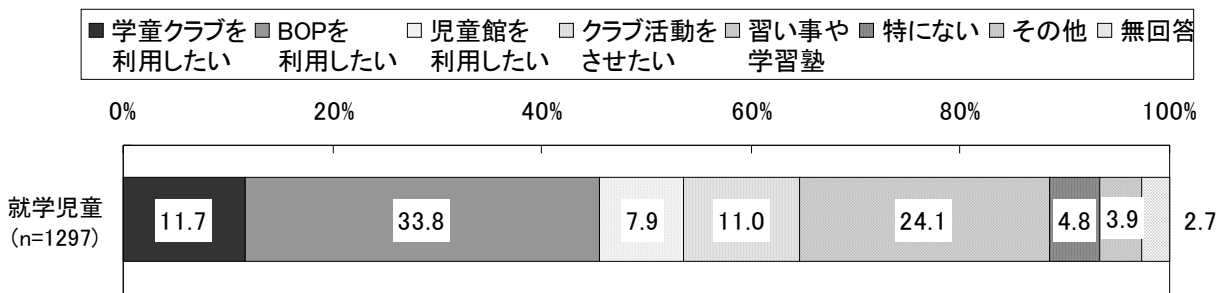
(3) 小学4年生以降の放課後の過ごし方 (就学児童のみ)

小学4年生以降の放課後の過ごし方で最も多かった利用希望は、「BOP を利用したい」(33.8%)であった。
 希望する理由をたずねたところ、「学童クラブ」「BOP」「児童館」の希望者いずれも、「安全な活動ができる場所だから」が最も多かった。(学童クラブ 66.4%、BOP77.4%、児童館 53.4%)

〔設問〕 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

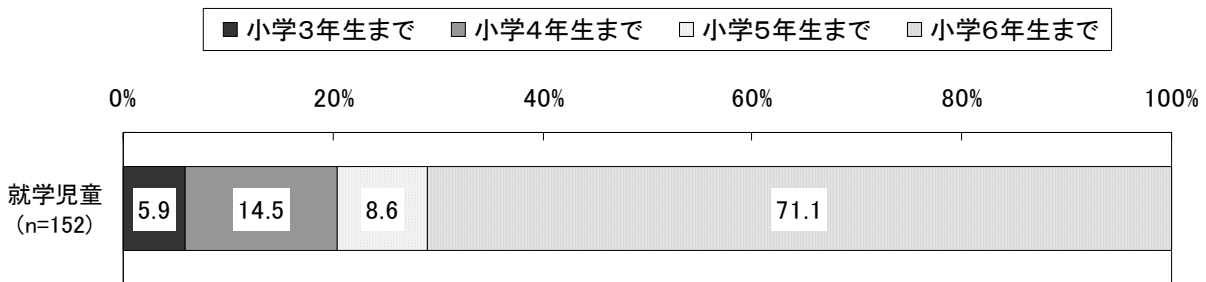
小学4年生以降の放課後の過ごし方

【基数：全体】



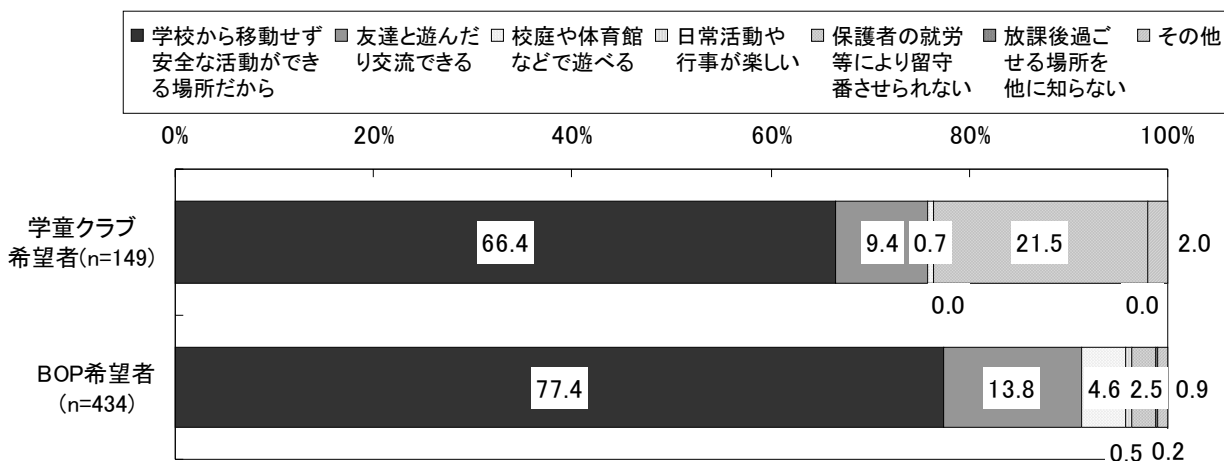
学童クラブを何年生まで利用したいか

【基数：学童クラブ利用希望者】



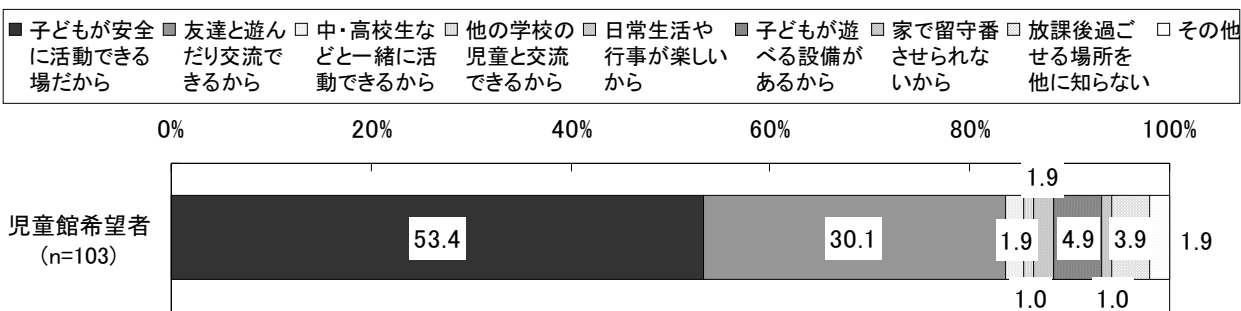
利用したい理由（学童クラブ・BOP）

【基数：小学4年生以降に学童クラブ・BOPの利用を希望する方】



利用したい理由(児童館)

【基数：小学4年生以降に児童館の利用を希望する方】

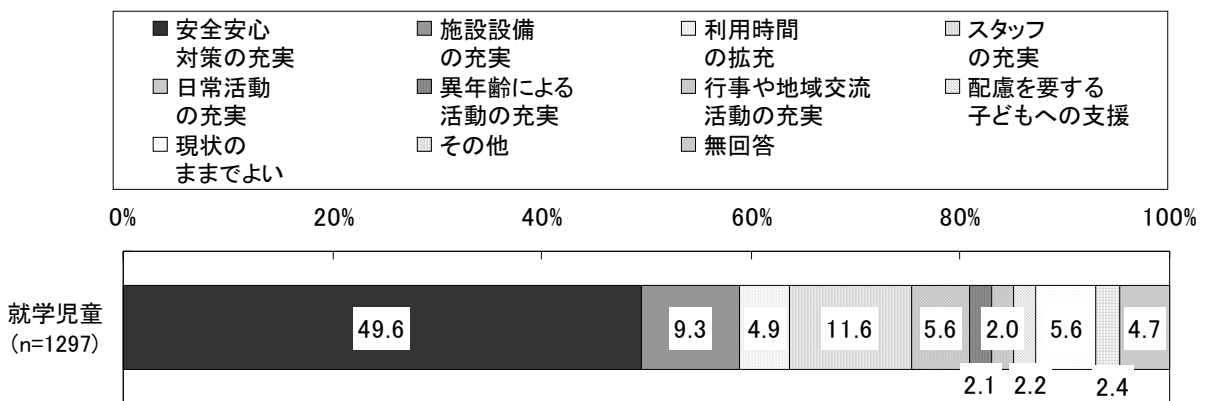


(4) 放課後過ごす場所として重要だと思う事柄（就学児童対象）

就学児童をもつ親のおよそ半分の人（49.6%）が、子どもが放課後過ごす場所として最も重要だと思うものは「安全安心対策の充実」であると回答している。

〔設問〕 子どもが放課後の過ごす場所として、世田谷区には、「新BOP」「児童館」「プレーパーク」などがあります。今後、充実すべきことは何だと思えますか。重要だと思うもの1つだけ○をつけてください。

【基数：全体】



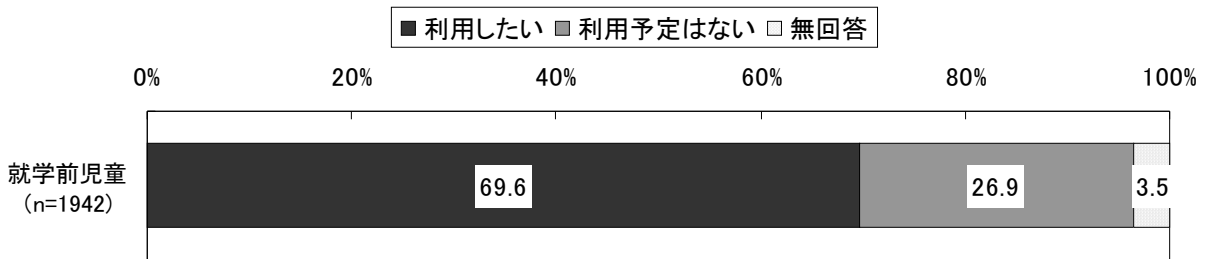
(5) 小学校に入学後の放課後の過ごし方 (就学前児童のみ)

就学前児童をもつ親の約7割が小学校入学後に学童クラブを利用したいと回答した。
 また、1週間あたりの利用希望日数は、「5日」と回答した人が45.0%で最も多かった。

〔設問〕 小学校入学以降の放課後の過ごし方について、学童クラブを利用したいと思いますか。

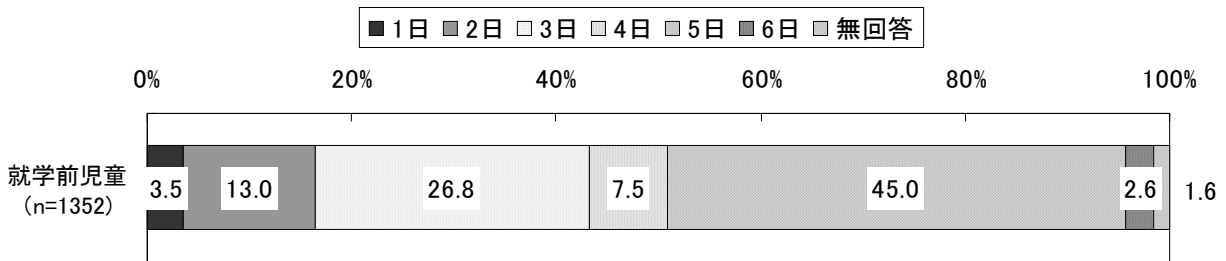
小学校入学以降に学童クラブを利用したいか

【基数：全体】



週あたり希望日数

就学前児童【基数：学童クラブ利用希望者】



【平均 3.9日】

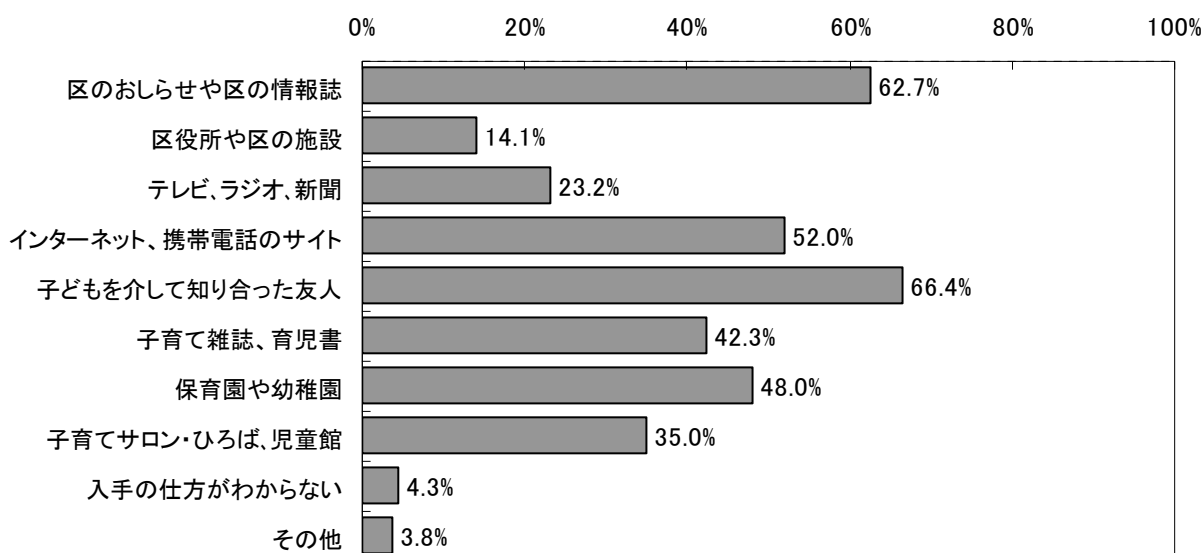
5 子育てについて

(1) 子育て情報の入手方法

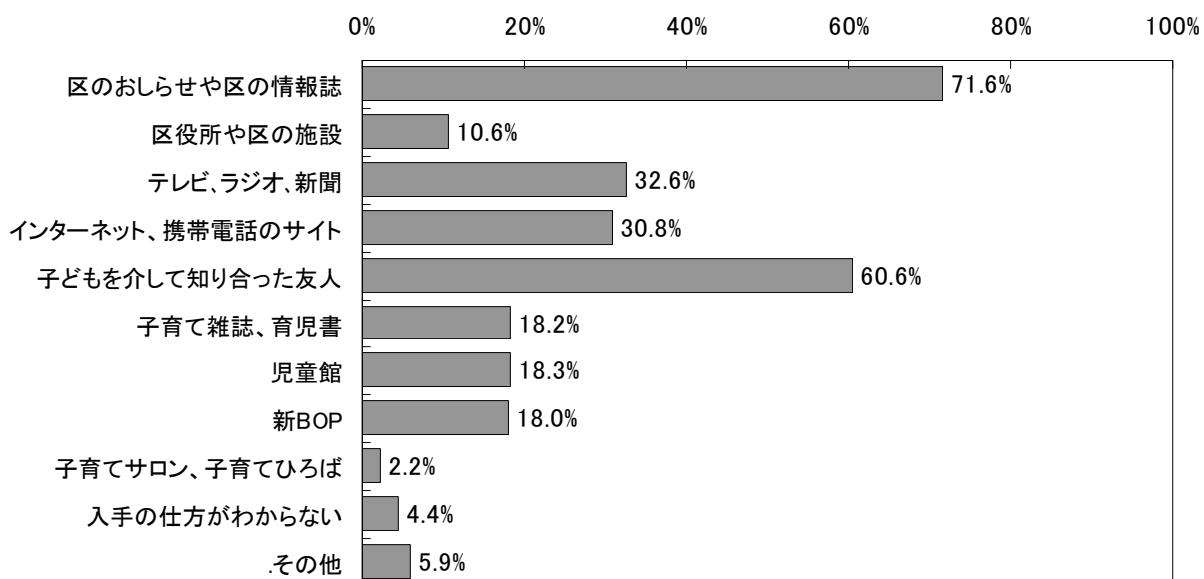
子育てに関する情報の入手先は、就学前児童では「子どもを介して知り合った友人」(66.4%)「区のおしらせや区の情報誌」(62.7%)「インターネット、携帯電話のサイト」(52.0%)の順に多く、就学児童では「区のおしらせや区の情報誌」(71.6%)「子どもを介して知り合った友人」(60.6%)「テレビ、ラジオ、新聞」(32.6%)の順に多かった。

〔設問〕 子育てに関する情報を、どのように入手されていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童【基数：全体 (n=1942：複数回答)】



就学児童【基数：全体 (n=1297：複数回答)】

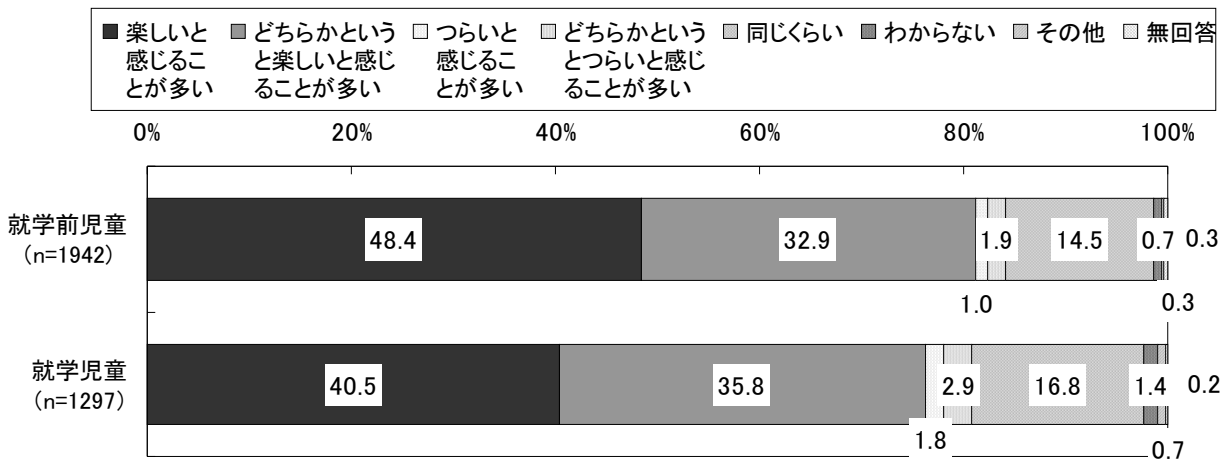


(2) 子育てについての感想

就学前児童は就学児童よりも子育てについて「楽しいと感じることが多い」と回答した人が多く（就学前 48.4%、就学児童 40.5%）、「どちらかという楽しいと感じることが多い」を合わせると、就学前児童の 81.3%、就学児童の 76.3%が、子育ては楽しいと感じることが多いと回答している。

〔設問〕 子育てについて、楽しいと感じることが多いと思いますか。辛いと感じることが多いと思いますか。

【基数：全体】

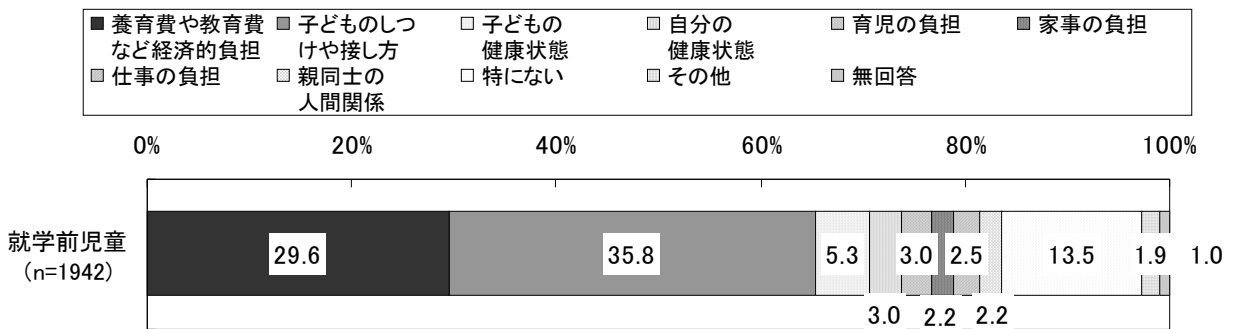


(3) 子育てについての心配ごとや悩みごと

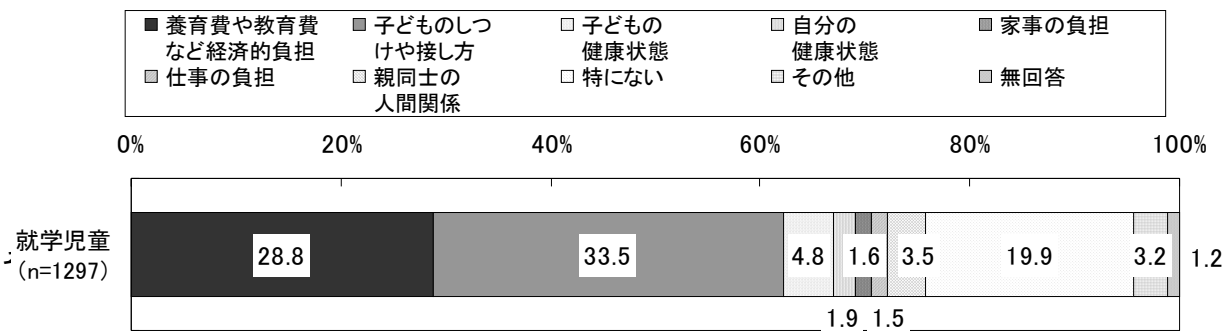
子育てについての心配ごとや悩みごとは、就学前児童、就学児童とも「子どものしつけや接し方」(就学前 35.8%、就学児童 33.5%)、「養育費や教育費など経済的負担」(同 29.6%、28.8%)の順に多かった。

〔設問〕 子育てについて、心配ごとや悩みごとはありますか。

就学前児童【基数：全体】



就学児童【基数：全体】

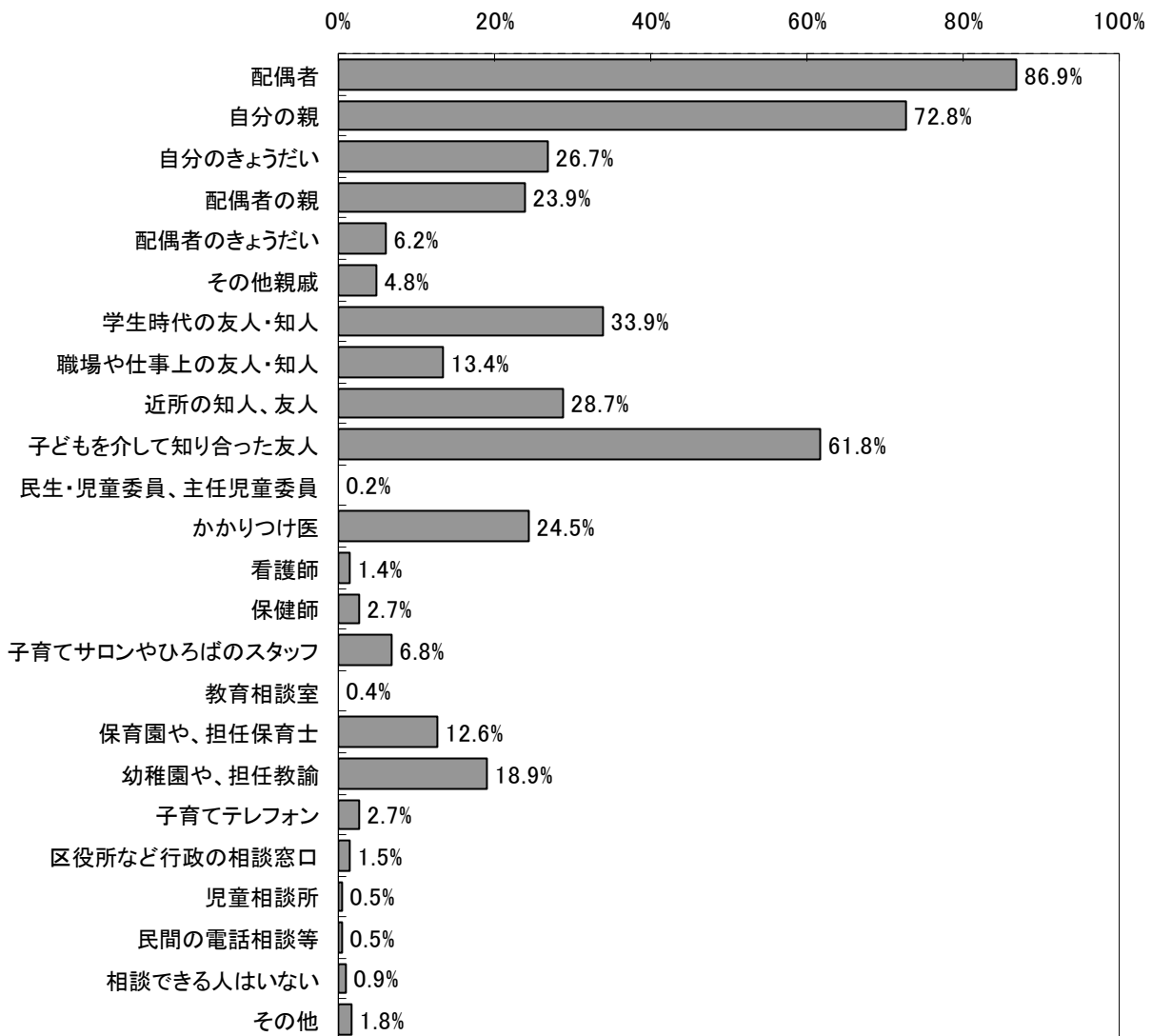


(4) 心配ごとや悩みごとの相談相手

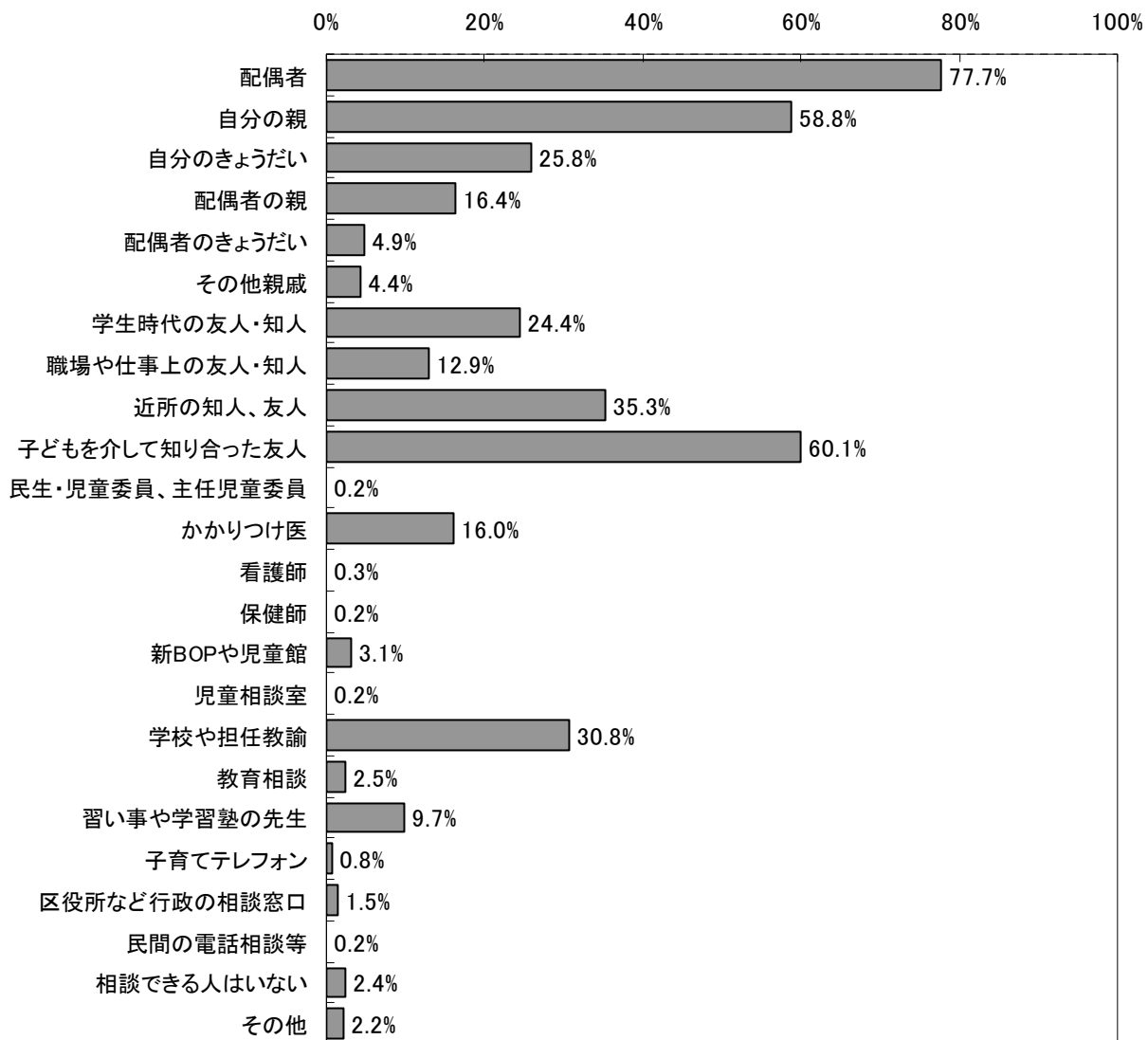
子育てについての心配ごとや悩みごとの相談相手は、就学前児童では「配偶者」(86.9%)、「自分の親」(72.8%)、「子どもを介して知り合った友人」(61.8%)の順に多く、就学児童では「配偶者」(77.7%)、「子どもを介して知り合った友人」(60.1%)、「自分の親」(58.8%)の順に多かった。

〔設問〕 子育てについて、心配ごとや悩みごとがある時、誰に相談しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童【基数：全体 (n=1942:複数回答)】



就学児童【基数：全体（n=1297:複数回答）】

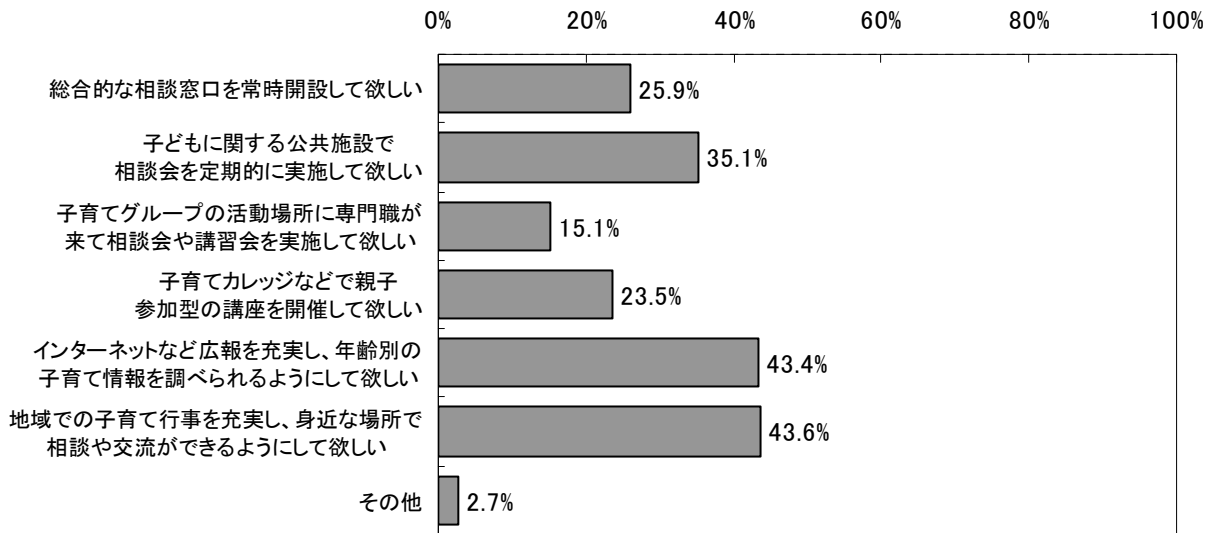


(5) 子育てについての相談や学習についての要望

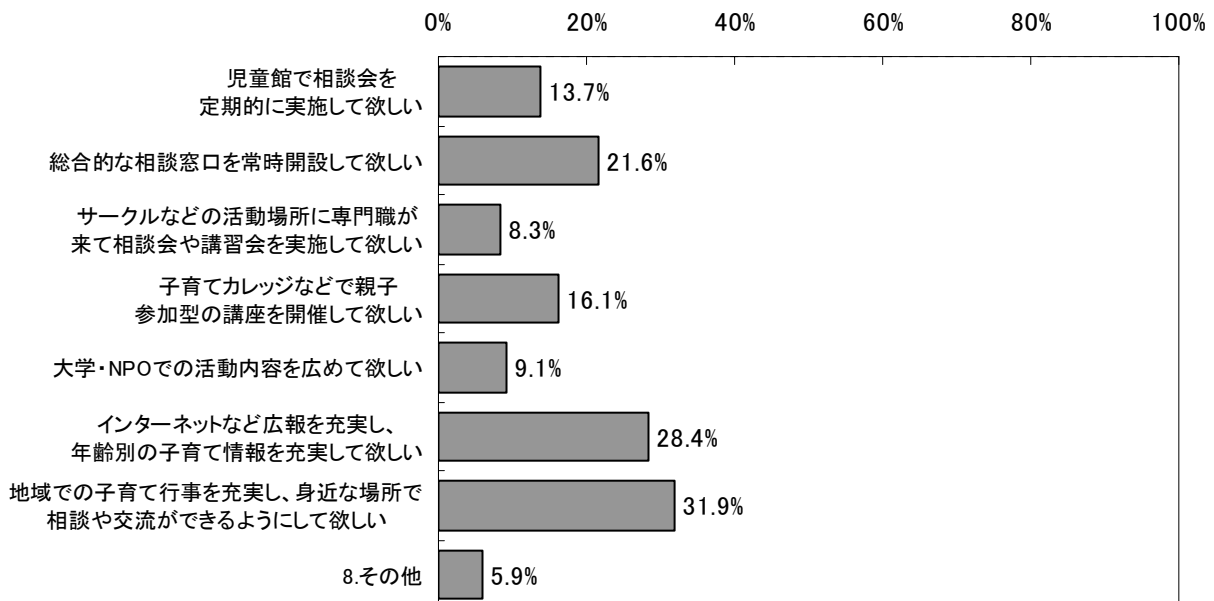
子育てについて相談したり、子育てノウハウを学んだりする場合どのような形で対応して欲しいかたずねたところ、就学前、就学児童ともに、「地域での子育て行事を充実し、身近な場所で相談や交流ができるようにして欲しい」（就学前 43.6%、就学児童 31.9%）「インターネットなど広報を充実し、年齢別の子育て情報を充実して欲しい」（同 43.4%、28.4%）の順に多かった。

〔設問〕 子育ての不安がある時や、疑問に思うことを相談したり、子育てのノウハウを学んだりする場合、どのような形で対応して欲しいですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

就学前児童【基数：全体（n=1942:複数回答）】



就学児童【基数：全体（n=1297:複数回答）】



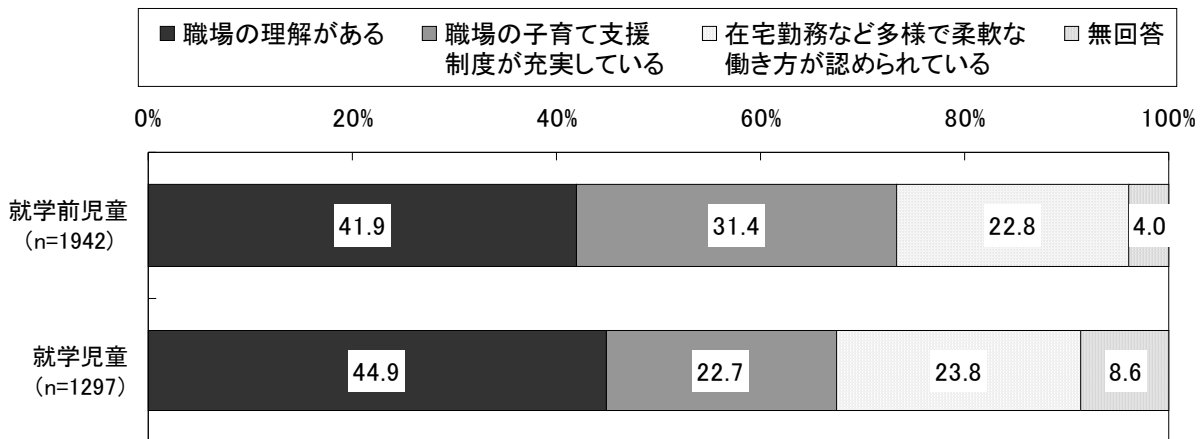
(6) 子育てしやすい社会について

子育てしやすい社会とはどのようなものかを「A群：職場」「B群：施策」「C群：家庭」別にたずねたところ、就学前、就学児童ともに、A群では「職場の理解がある」（就学前 41.9%、就学児童 44.9%）、B群では「国などの子育て世帯への手当金が充実している」（同 44.0%、45.1%）、C群では「家族が育児や家事に積極的に参加する」（同 50.7%、49.1%）が最も多かった。すべての項目の中で最も重要だと思うものは、就学前、就学児童ともに、「国などの子育て世帯への手当金が充実している」（同 22.3%、25.0%）「家族が育児や家事に積極的に参加する」（同 20.9%、19.1%）の順に多かった。

〔設問〕 子育てをしやすい社会とは、どのようなものだと思いますか。A群からC群のなかで、それぞれ重要だと思うものを各群から1つ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

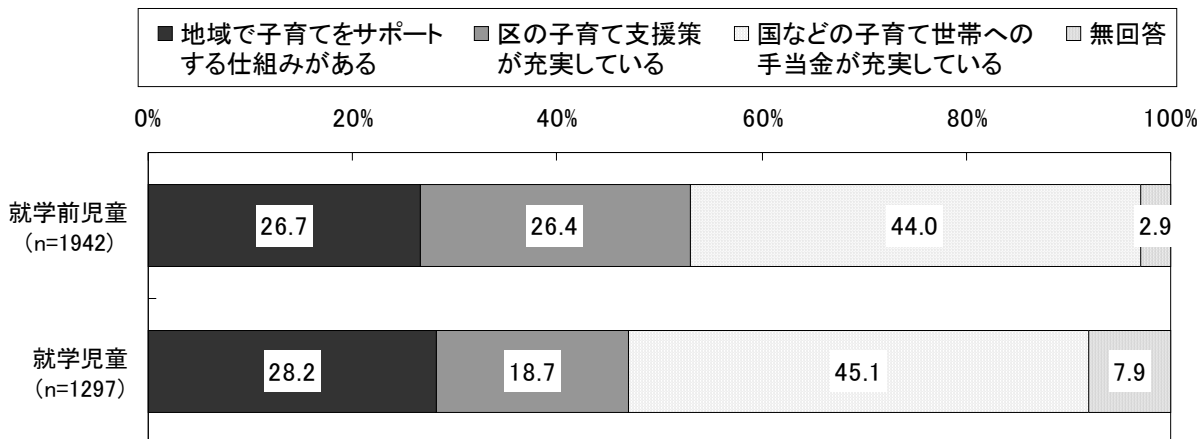
A群：職場

【基数：全体】



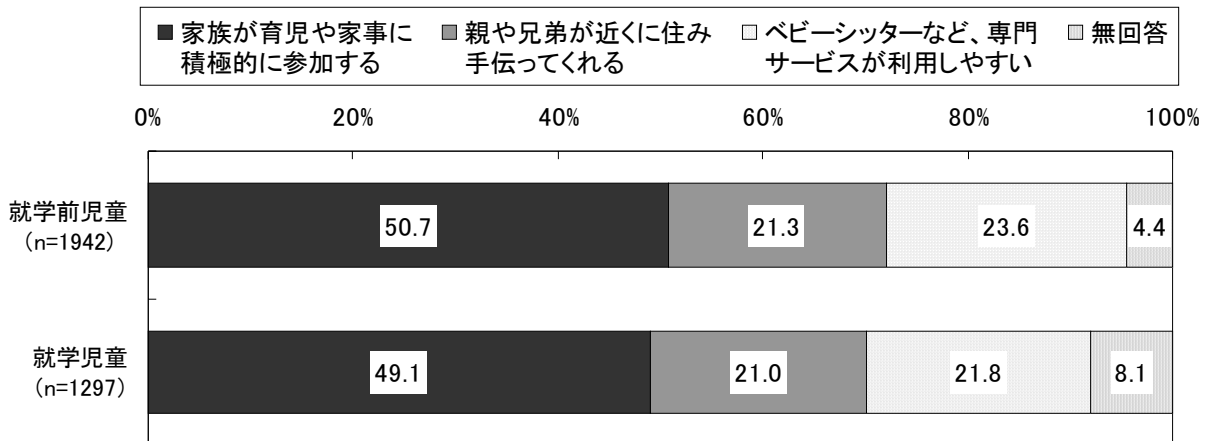
B群：施策

【基数：全体】



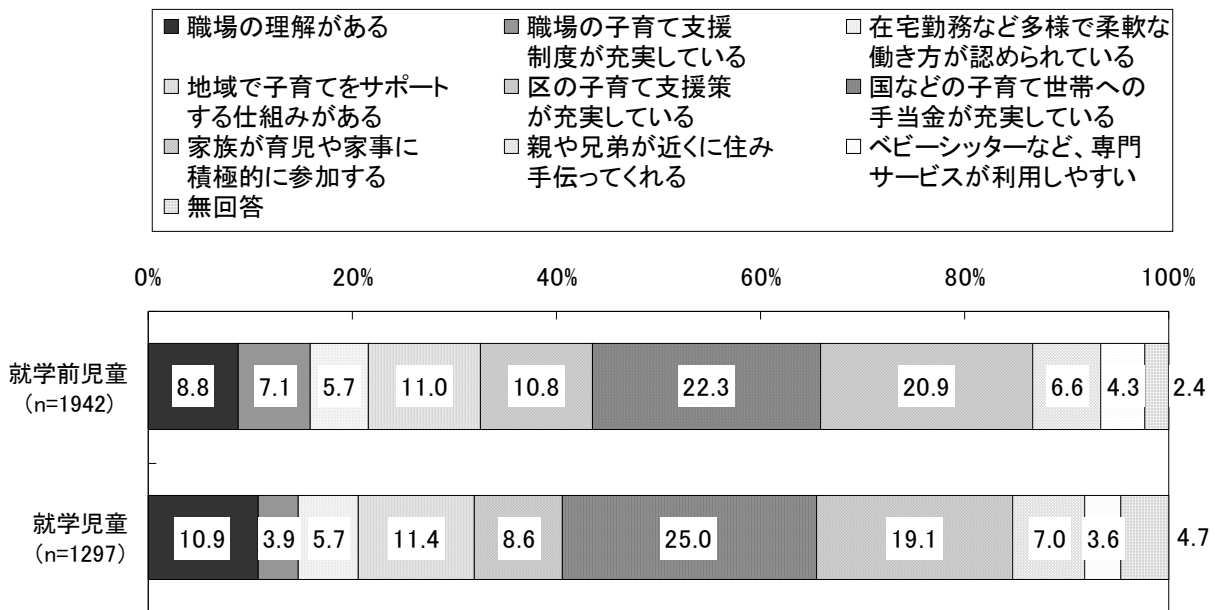
C群：家庭

【基数：全体】



すべての項目の中で最も重要だと思う取組み

【基数：全体】



6 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についての意識

（1）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の理想と現実について

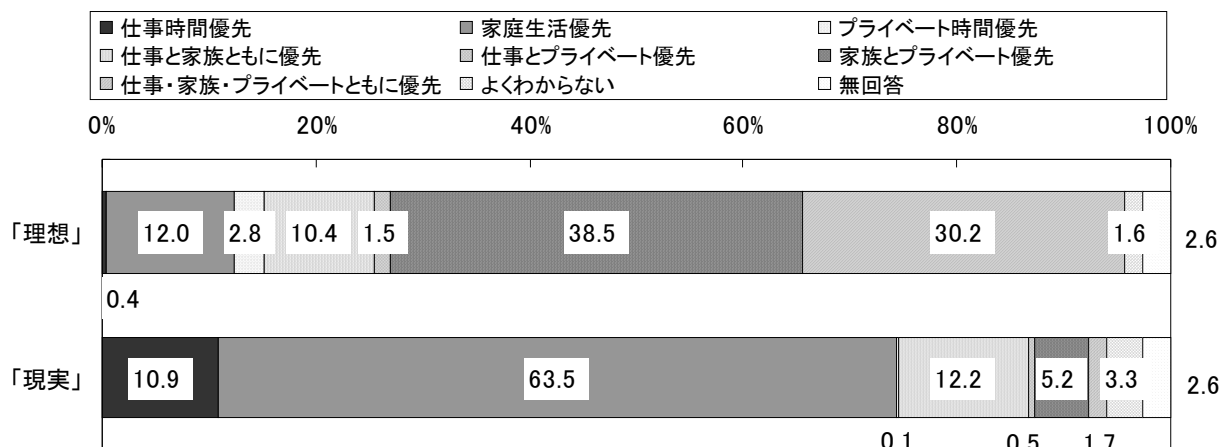
生活の中で「仕事時間」「家庭生活」「プライベートの時間」のどれを優先するかを「理想」と「現実」それぞれについてたずねたところ、就学前、就学児童とも「理想」では、「家庭とプライベート優先」（就学前 38.5%、就学児童 37.4%）「仕事・家庭・プライベートともに優先」（同 30.2%、26.6%）の順に多かったが、「現実」では、「家庭生活優先」（同 63.5%、52.0%）が最も多かった。

〔設問〕 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家庭生活（家族と過ごす時間、家事、育児、介護など）」、「プライベートの生活時間（趣味、娯楽、スポーツ、社会参加活動、ボランティア活動、学習、研究など）」の優先度についてお伺いします。「希望」と「現実」それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

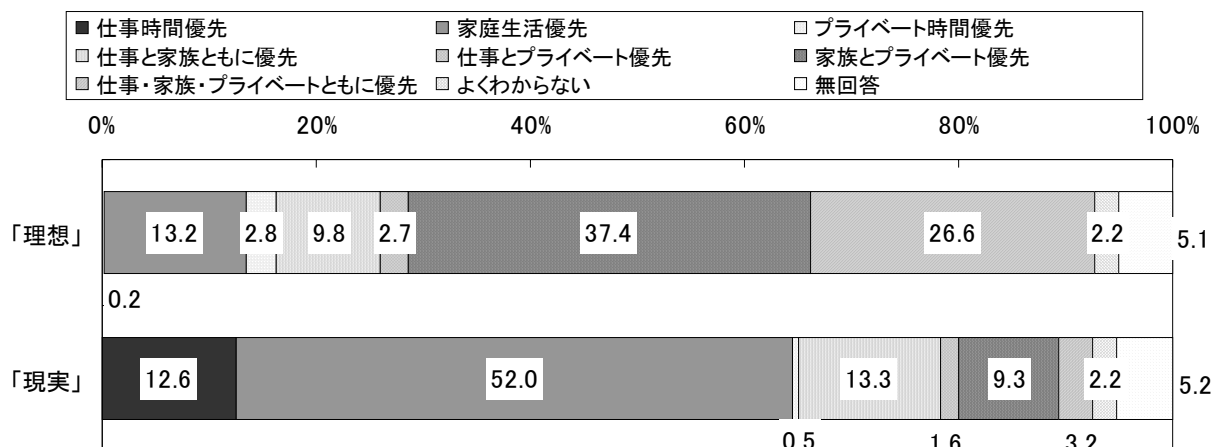
生活の中の優先度：「理想」と「現実」

理想と現実

就学前児童【基数：全体（n=1942）】



就学児童【基数：全体（n=1297）】



理想と現実の関係

就学前児童【基数：全体 (n=1942)】

理想 \ 現実	仕事優先	家庭優先	プライベート優先	仕事と家庭	仕事とプライベート	家庭とプライベート	すべて優先	よくわからない	無回答
仕事優先	-	0.3	-	0.1	-	0.1	-	-	-
家庭優先	2.6	6.7	-	1.0	0.2	0.6	0.2	0.8	-
プライベート優先	0.1	2.2	0.1	0.3	-	0.2	-	-	-
仕事と家庭	2.4	6.1	-	1.5	0.1	0.1	0.1	0.2	-
仕事とプライベート	0.7	0.5	-	0.1	0.2	-	-	0.1	-
家庭とプライベート	1.6	29.9	-	3.1	0.1	2.9	0.3	0.6	-
すべて優先	3.5	17.3	0.1	6.1	0.1	1.3	1.2	0.7	0.1
よくわからない	0.1	0.5	-	0.1	-	0.1	-	0.9	-
無回答	-	0.1	-	-	-	-	-	-	2.5

就学児童【基数：全体 (n=1297)】

理想 \ 現実	仕事優先	家庭優先	プライベート優先	仕事と家庭	仕事とプライベート	家庭とプライベート	すべて優先	よくわからない	無回答
仕事優先	0.1	-	-	-	-	-	0.2	-	-
家庭優先	2.5	7.3	0.1	1.7	0.4	0.8	-	0.2	0.2
プライベート優先	0.2	1.6	-	0.6	-	0.2	0.1	0.1	-
仕事と家庭	3.2	3.9	0.1	2.3	0.1	0.1	0.1	0.2	-
仕事とプライベート	0.6	1.2	-	0.2	0.5	0.2	-	0.1	0.1
家庭とプライベート	2.5	25.1	0.2	2.6	0.2	5.5	0.8	0.5	-
すべて優先	3.4	11.6	0.1	5.9	0.5	2.5	2.1	0.7	-
よくわからない	0.1	1.3	-	0.1	-	0.2	0.1	0.5	-
無回答	-	0.1	-	-	-	0.1	-	-	4.9

(2) 仕事と生活の調和が実現された社会に近づくために必要な取組み

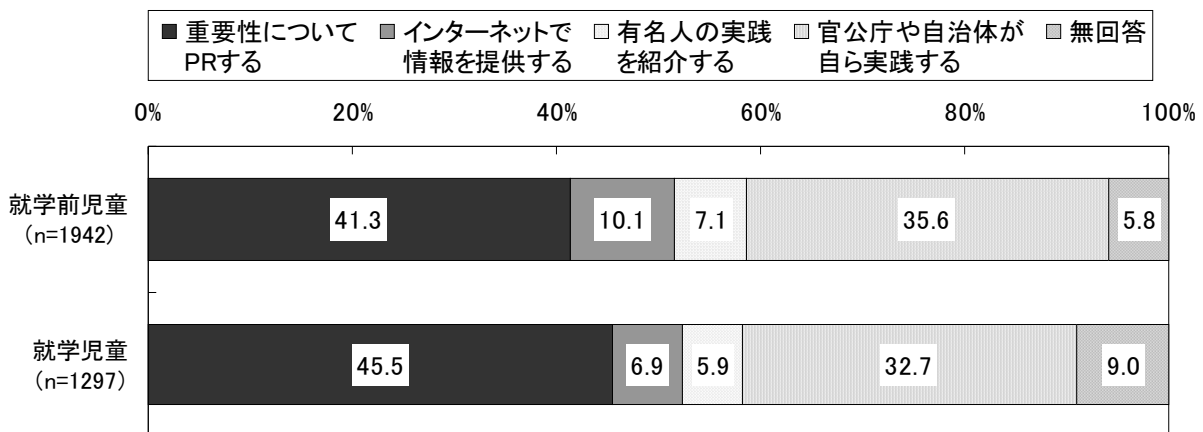
「仕事と生活の調和が実現された社会」に近づくために必要な取組みは、就学前、就学児童ともに、啓発の取組みでは「重要性についてPRする」、企業の取組みでは「企業の情報を公開させる」、施策の取組みでは「子育て支援策を拡充する」と回答した人が最も多かった。

また、すべての項目の中で最も必要な取組みだと思うものは就学前、就学児童ともに「子育て支援策を拡充する」が就学前児童 42.5%、就学児童 33.4%で最も多かった。

〔設問〕 「仕事と生活の調和が実現された社会」に近づくためには、区が、どのような取組みを進めることが必要だと思いますか。以下のそれぞれの取組みの中で、あなたの考えに近いものを、「啓発」「企業」「施策」それぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

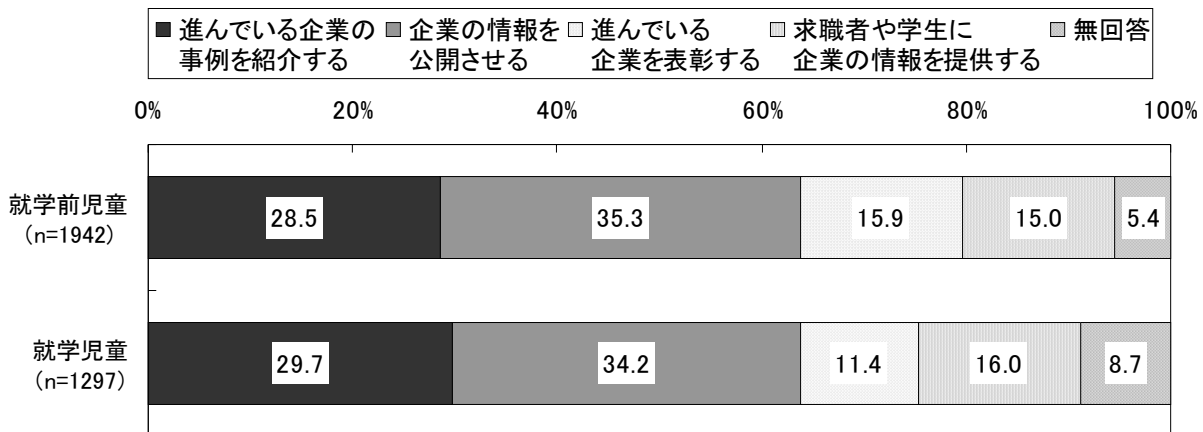
「啓発」について

【基数：全体】



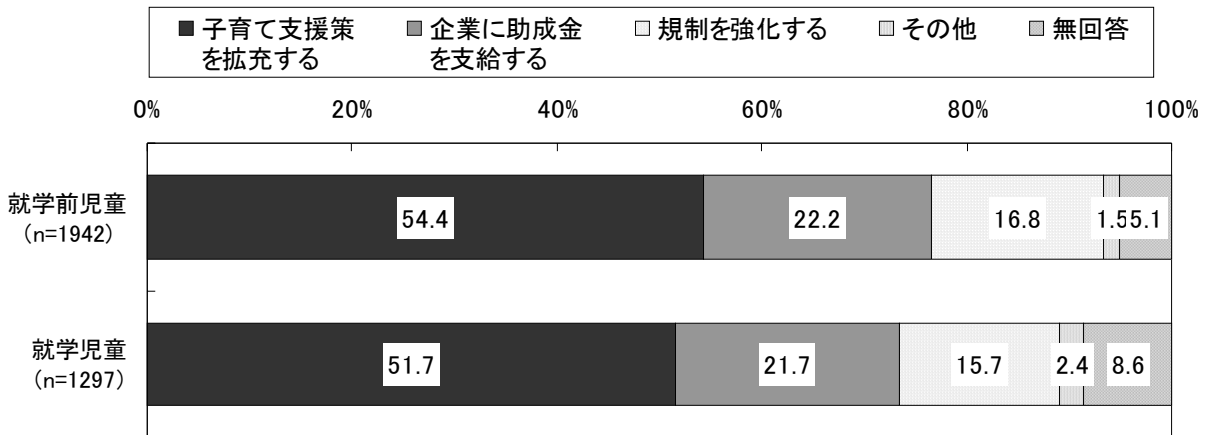
「企業」について

【基数：全体】



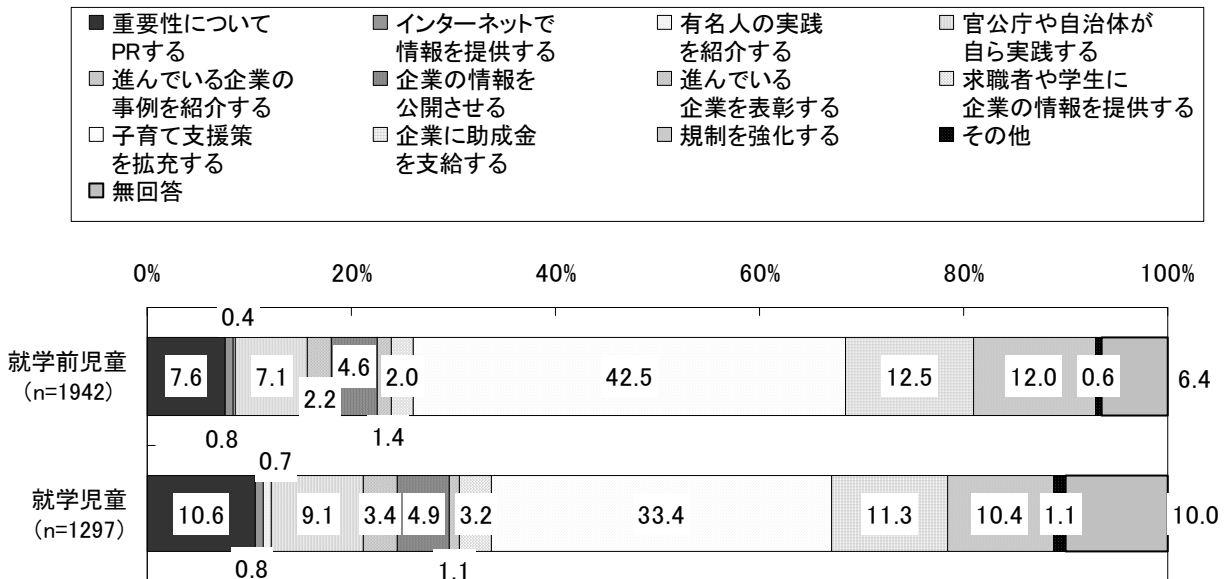
「施策」について

【基数：全体】



最も必要な取組み

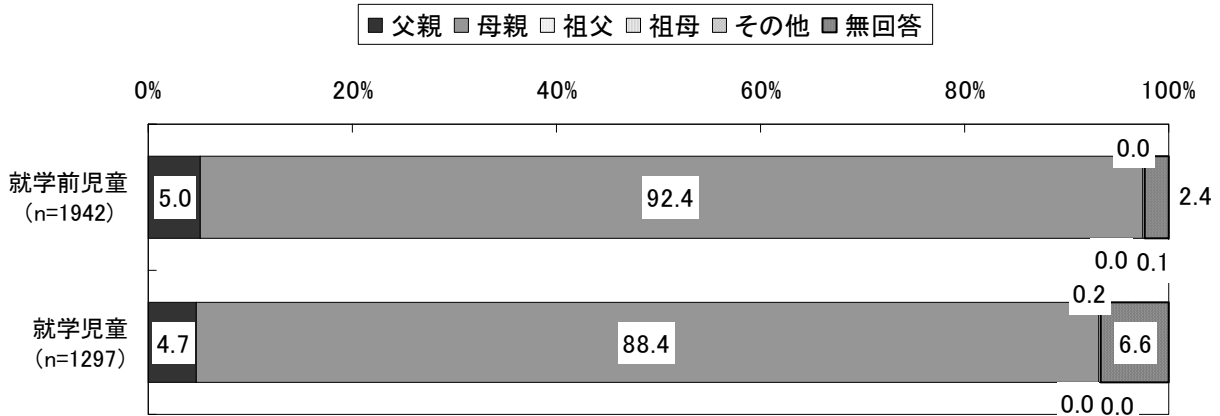
【基数：全体】



7 アンケート回答者の属性

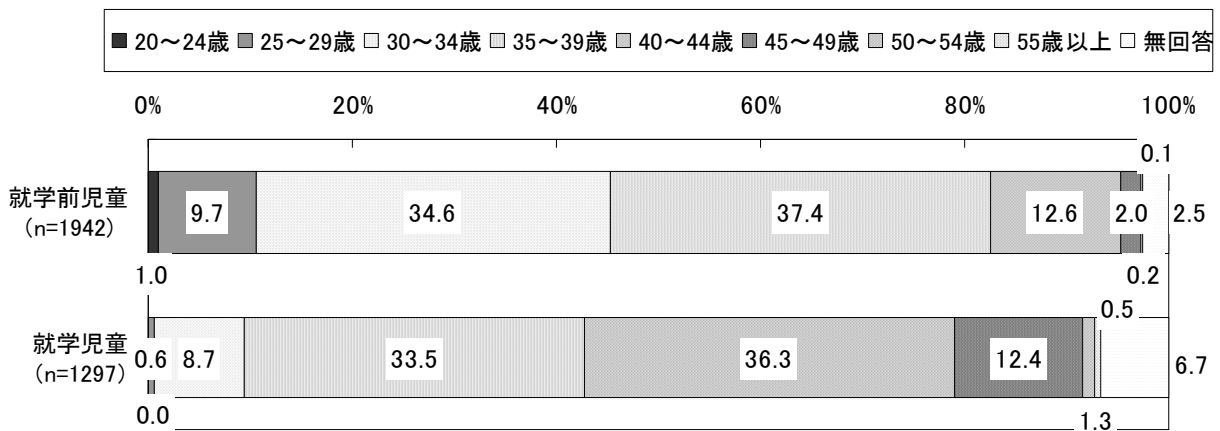
(1) アンケート回答者

【基数：全体】



(2) 回答者の年代

【基数：全体】



Ⅲ 質問と回答（調査票）

1. 就学前児童アンケート

※ 記入欄内のパーセンテージは回収票1942票から非該当・無回答を除いた有効回答数を分母として算出しています。

「世田谷区子ども計画」ニーズ調査

ご協力をお願い

この調査は、次世代育成支援対策推進法に基づく地域行動計画の策定のため、全国の自治体で共通項目による調査を行うとともに、世田谷区における地域行動計画である「世田谷区子ども計画」の見直しのための独自項目を加え、今後の区の子育て支援策等の検討に資することを目的としております。

お答えいただく方は、無作為に区内在住の0歳から9歳までのお子さんを選ばせていただきました。お子さんの保護者の方がお答えくださいますよう、お願い致します。お答えいただいた内容につきましては、この調査目的以外には一切公表されません。また、調査結果はすべて統計的に処理され、個人を特定するものではありません。

なお、世田谷区では、「世田谷区子ども計画」の見直しに向け、同時期に様々な調査を行っております。もしも、他の調査やアンケート等が重複してお手元に届いた場合は、大変お手数をおかけ致しますが、併せてご協力くださいますよう、お願い致します。

お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

平成20年10月

世田谷区 子ども部 子ども家庭支援課

■ ご記入にあたってのお願い

1. 調査票は、あて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号に○をつけるか、数字をご記入ください。
3. ご記入は、黒のボールペンや鉛筆でお願いします。
4. 該当する質問には、すべてお答えください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
6. この調査票は、ご記入のうえ 10月31日までに、同封の封筒に入れてご返送くださるようお願いいたします（差出人名は無記名で結構です）。

■ お問合せ先

世田谷区子ども部子ども家庭支援課

世田谷区世田谷 4-21-27 電話：03-5432-2066

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

<input type="text"/>	平均	人	(無回答 14)	末子の年齢	<input type="text"/>	平均	歳	(無回答 4)
	1.4				1.7			

問3 あなたがお住まいの地域の番号に1つだけ○をつけてください。

地域	町名(参考)
1. 世田谷 25.8%	世田谷、若林、上馬、三軒茶屋、太子堂、野沢、下馬、三宿、池尻1丁目～3丁目、4丁目1～32番、駒沢1丁目～2丁目、弦巻、桜、桜丘、経堂、宮坂
2. 北沢 12.7%	北沢、代沢、大原、羽根木、代田、松原、梅丘、豪徳寺、赤堤、桜上水、池尻4丁目33～39番
3. 玉川 24.3%	上用賀、用賀、桜新町、新町、駒沢3～5丁目、駒沢公園、深沢、等々力、中町、玉川台、瀬田、玉川、上野毛、野毛、玉堤、尾山台、玉川田園調布、奥沢、東玉川
4. 砧 23.7%	船橋、千歳台、祖師谷、砧、成城、喜多見、大蔵、砧公園、岡本、鎌田、宇奈根
5. 烏山 12.4%	北烏山、南烏山、給田、上祖師谷、粕谷、八幡山、上北沢

問4 あて名のお子さんの父、母、祖父、祖母の同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（無回答 23）

1. 父母同居 95.7%	2. 父同居(ひとり親家庭) 0.1%	3. 母同居(ひとり親家庭) 3.1%	4. 祖父同居 5.5%
5. 祖母同居 8.0%	6. 祖父近居 20.8%	7. 祖母近居 25.3%	8. その他 3.8%

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親 0.6%	2. 主に母親 98.5%	3. 主に祖父母 0.5%	4. その他 0.5%
--------------	---------------	---------------	-------------

問6 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（無回答 41）

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる 15.8%	(→ 問6-1)
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる 53.8%	(→ 問6-1)
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる 3.1%	(→ 問6-2)
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる 18.1%	(→ 問6-2)
5. いずれもない 22.8%	無回答 2.1%

問6-1は、問6で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問6-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（非該当 658）

1. 祖父母は、孫を預かることについて、特に負担ではない 55.1%
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である 24.4%
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である 22.2%
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 26.5%
5. その他 4.9%

問6-2は、問6で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問6-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(非該当 1557)

- 1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない 21.3%
- 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である 6.2%
- 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である 23.9%
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 30.9%
- 5. 自分も預かることがあるので、互いに助け合えることは望ましい 52.2%
- 6. その他 4.7%

2. 封筒のあて名のお子さんの、ご両親（父母）の就労状況についてお伺いします。

問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親 【母子家庭の場合は記載不要】 (非該当 51)

- 1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない） 96.9%
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔平均 57.2〕時間、帰宅時間〔平均 21時30分〕時 】
- 2. 就労している（フルタイムだが現在は育休・介護休業中） 0.1%
- 3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） 0.8%
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔平均 5.1〕日 ・ 1日当たり〔平均 7.9〕時間 】
→ フルタイムへの転職希望がありますか。(非該当 1927)
【 ① 希望がある 40.0% ② 希望があるが予定はない 20.0% ③ 希望はない 20.0% 無回答 20.0% 】
- 4. 以前は就労していたが、現在は就労していない 1.0%
- 5. これまでに就労したことがない 0.1% 無回答 1.1%

就労種類 あてはまる番号に○を1つつけてください。(非該当 107 無回答 120)

1. フルタイムの被雇用者 77.3	2. 自営業・家族従事者 10.7%	3. 会社経営 5.4%	無回答 6.5%
--------------------	--------------------	--------------	----------

(2) 母親 【父子家庭の場合は記載不要】 (非該当 2)

- 1. 就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない） 15.8%
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔平均 41.3〕時間、帰宅時間〔平均 18時30分〕時 】
- 2. 就労している（フルタイムだが現在は産休・育休・介護休業中） 5.8%
- 3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） 10.2%
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔平均 3.4〕日 ・ 1日当たり〔平均 5.3〕時間 】
→ フルタイムへの転職希望がありますか。(非該当 1745 無回答 46)
【 ① 希望がある 16.2% ② 希望があるが予定はない 32.5% ③ 希望はない 27.9% 無回答 23.4% 】
- 4. 以前は就労していたが、現在は就労していない 63.0%
- 5. これまでに就労したことがない 2.9% 無回答 2.3%

就労種類 あてはまる番号に○を1つつけてください。(非該当 1523 無回答 14)

1. フルタイムの被雇用者 82.8	2. 自営業・家族従事者 12.4%	3. 会社経営 1.4%	無回答 3.3%
--------------------	--------------------	--------------	----------

問8は、問7の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。

問8 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(非該当 663)

1. 有(すぐにも若しくは1年以内に希望がある) 15.3%	(→ 問8-1、2へ)
2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい) 67.2%	(→ 問8-1,2及び問8-3へ)
3. 無 17.0% 無回答 0.5%	(→ 問9へ)

問8-1及び問8-2は、問8で「1.有(すぐにも若しくは1年以内に希望がある)」、「2.有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。(非該当 887)

問8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。)

1. フルタイムによる就労 17.3%	無回答 8.7%
2. パートタイム、アルバイト等による就労 74.0%	(週当たり〔平均 3.5〕日・一日当たり〔平均 5.1〕時間)

問8-2 就労希望があっても、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 子どもが小さい間は、働かずにいたい 62.3%
2. 保育サービス(*)が利用できない 9.9%
3. 働きながら子育てできる適当な仕事がない 18.3%
4. 自分の知識、能力にあう仕事がない 0.6%
5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない 2.2%
6. その他() 5.3% 無回答 1.5%

(*)この調査において「保育サービス」とは、【認可保育所(区立保育園、私立保育園)、認証保育所、保育室、保育ママ、認定こども園、区立幼稚園、私立幼稚園、私立幼稚園の預かり保育、ふれあい子育て支援事業、事業所内保育施設、ベビーシッターで、定期的に受けているサービス】としています。以下の設問も同様の定義です。サービスの説明については、問11-1を参照してください。

問8-3は、問8で「2.有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問8-3 あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

<input type="text"/> 歳になったとき 平均 6.7歳

すべての母親の方にお伺いします。

問9 封筒のあて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（非該当 2）

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. 離職した 52.5% | (→ 問9-1へ) |
| 2. 継続的に働いていた（転職も含む） 22.7% | |
| 3. 出産1年前にすでに働いていなかった 22.8% | 無回答 2.0% |

問9-1は、問9で「1. 離職した」を選ばれた方にお伺いします。

問9-1 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。（非該当 924）

- | |
|---|
| 1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた 9.4% |
| 2. 職場において、育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた 16.5% |
| 3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた 21.2% |
| 4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない 3.9% |
| 5. いずれにしても仕事を辞めていた 42.4% |
| 6. その他（ ） 6.3% 無回答 0.2% |

3. 育児休業制度の利用についてお伺いします。

問10 封筒のあて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 母親が利用した | 19.1% |
| 2. 父親が利用した | 0.6% |
| 3. 母親と父親の両方が利用した | 0.5% |
| 4. 利用しなかった | 78.6% |
| 無回答 | 1.1% |

(→ 問10-1へ)

問10-1及び問10-2は、母親又は父親が育児休業を取得されていた方についてお伺いします。

問10-1 育児休業が明け、仕事に復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入下さい。(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問10で「3.」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。)

子どもは ヶ月だった 平均 11.5カ月

問10-2 育児休業から復帰なさった時に、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(非該当 1549)

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 育児休業期間を調整せずにできた | 23.4% |
| 2. 育児休業期間を調整したのでできた | 23.2% |
| 3. できなかった | 23.2% |
| 4. 保育サービスを希望しなかった | 7.6% |
| 無回答 | 22.6% |

(→ 問10-3へ)

(→ 問10-4へ)

問10-3 「2. 育児休業期間を調整したのでできた」を選ばれた方にお伺いします。育児休業から復帰なさった時に希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。あてはまる答えの番号に○をつけ、「2.」及び「3.」を選ばれた方は、枠内に数字でご記入ください。(非該当 1851)

1. 変わらない 12.1% 2. 長くした 53.8% 平均 6.4ヶ月 3. 短くした 33.0% 平均 5.5ヶ月 無回答 1.1%

問10-4 「3. できなかった」を選ばれた方にお伺いします。どのように対応されましたか。(非該当 1851)

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 希望とは違う認可保育所(保育園)を利用した | 16.5% |
| 2. 事業所内の保育サービスを利用した | 11.0% |
| 3. 他の保育サービスを利用した | 38.5% |
| 4. 家族等にみてもらうことで対応した | 13.2% |
| 5. 仕事を辞めた | 18.7% |
| 無回答 | 2.2% |

4. あて名のお子さんの保育サービスの利用についてお伺いします。

問11 封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービス（P3の（*）参照）の定期的な利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的に保育サービスを利用しているかどうか。

1. 利用している 53.0%	(→ 問11-1へ)
2. 利用していない 45.4% 無回答 1.6%	(→ 問11-4へ)

問11-1～11-3は、問11で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

問11-1 封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。（非該当 913）

【日中の定期的保育】 無回答 0.7%	
<p>1. 認可保育所（区立、私立保育園） 18.5%</p> <p>0歳から就学前の児童を、保護者の就労等の事情で保育できない場合、子どもの健全な心身の発達を図るため、比較的大規模な集団で、養護（保護者とともに、保育士等が行う子どもへの援助やかかわり）及び教育を行う児童福祉法に基づく保育施設。</p>	<p>7. 区立幼稚園 4.4%</p> <p>4歳から就学前の児童を、保護者の就労等の有無や形態にかかわらず、教育基本法や学校教育法に基づき、幼児教育を行う学校の1つ。</p>
<p>2. 認証保育所 13.2%</p> <p>0歳から就学前の児童を、保護者の就労等の有無や形態にかかわらず、自由に預けられる（月160時間以上の利用が必要）、東京都が認証した認可外保育施設。</p>	<p>8. 私立幼稚園（通常の就園時間） 48.3%</p> <p>概ね3歳から就学前の児童を、独自の園風や教育理念のもと、保護者の就労等の有無や形態にかかわらず、教育基本法や学校教育法に基づき、幼児教育を行う私立学校の1つ。</p>
<p>3. 保育室 5.8%</p> <p>0歳から3歳未満の児童を、保護者の就労等の事情で保育できない場合、一定の施設基準を満たした小規模な環境の小集団で、乳幼児の養護を行う認可外保育施設。</p>	<p>9. 私立幼稚園の預かり保育 12.5%</p> <p>概ね3歳から就学前の児童を、保護者の就労等の有無や形態にかかわらず、教育基本法や学校教育法に基づき、幼児教育を行う私立学校の1つの、通常の就園時間を延長して保育を行うサービス。</p>
<p>4. 保育ママ 0.5%</p> <p>0歳から3歳未満の児童を、保護者の就労等の事情で保育できない場合、保育ママの自宅で、家庭的な環境の中で乳児の養護を行う。</p>	<p>10. 企業内保育施設 1.2%</p> <p>企業が、従業員用に運営する保育施設。</p>
<p>5. 認定こども園【幼稚園枠・短時間利用】 1.9%</p> <p>保護者の就労等の有無や形態にかかわらず、幼児教育と保育を一体的に提供するとともに、地域で子育て中の家庭を支援する機能を持つ施設の幼稚園枠。必要に応じて延長保育を行う。</p>	<p>11. ふれあい子育て支援事業 3.8%</p> <p>社会福祉協議会による、子育ての援助を受けたい保護者と、子育ての援助を行いたい住民との支えあいにより、乳幼児から小学校3年生までを預かるしくみ。</p>
<p>6. 認定こども園【保育園枠・長時間利用】 1.9%</p> <p>保護者の就労等の有無や形態にかかわらず、幼児教育と保育を一体的に提供するとともに、地域で子育て中の家庭を支援する機能を持つ施設の保育園枠。</p>	<p>12. ベビーシッター 6.2%</p> <p>13. その他 7.3%</p> <p>()</p>

問11-2及び問11-3は、問11-1で「1.」～「10.」及び「13」を選ばれた方にお伺いします。

問11-2 現在の保育サービスの利用状況についてお伺いします。
1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用していらっしゃいますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

1週あたり	平均 4.7	日	1日あたり	平均 6.6	時間	平均 9時0分	時～	平均 15時32分	時
-------	-----------	---	-------	-----------	----	------------	----	--------------	---

問11-3 利用されている理由についてお伺いします。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。（非該当 942）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 現在就労している	38.2%
2. 就労予定がある／求職中である	2.3%
3. 家族・親族などを介護しなければならない	0.8%
4. 病気や障害を持っている	1.2%
5. 学生である	0.4%
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため	50.7%
7. その他（	） 4.5% 無回答 2.0%

問11-4は、問11で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問11-4 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。（非該当 1060）

1. （子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）必要がない	50.5%
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	7.4%
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	0.3%
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない	11.1%
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない	4.6%
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない	1.2%
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない	4.0%
8. 子どもがまだ小さいため。（__歳くらいになったら預けようと考えている）	10.1%
9. 保育サービスを知らなかった	1.9%
10. その他（	） 5.4% 無回答 3.4%

サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。

問12 封筒のあて名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、（利用日数・回数や利用時間が）足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。次の中からあてはまる答えの番号を選んで、すべてに○をつけてください。

※サービスの説明については、P6の問11-1を参照してください。

【日中の定期的保育】

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 認可保育所（区立、私立保育園） 37.7% | 7. 区立幼稚園 15.4% |
| 2. 認証保育所 14.5% | 8. 私立幼稚園（通常の就園時間） 20.9% |
| 3. 保育室 6.3% | 9. 私立幼稚園の預かり保育 31.2% |
| 4. 保育ママ 4.7% | 10. 企業内保育施設 14.5% |
| 5. 認定こども園【幼稚園枠・短時間利用】 11.7% | 11. ふれあい子育て支援事業 12.6% |
| 6. 認定こども園【保育園枠・長時間利用】 15.4% | 12. ベビーシッター 11.2% |
| | 13. その他 3.1% |

問12で、選択されたサービスのうち、それぞれお答えください。（特に利用したいサービス4つまで）

問12-1 今後の利用希望についてお伺いします。

1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

選択したサービス番号

1週あたり 平均 日 1日あたり 平均 時間 (平均 時 ~ 平均 時)

選択したサービス番号

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時 ~ 時)

選択したサービス番号

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時 ~ 時)

選択したサービス番号

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時 ~ 時)

問12-2 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを2つだけ選んで○をつけてください。（非該当 328）

- お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
1. 現在就労している 14.9%
 2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい 9.7%
 3. 就労予定がある／求職中である 9.6%
 4. そのうち就労したいと考えている 43.2%
 5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい 29.2%
 6. 家族・親族などを介護しなければならない 1.3%
 7. 病気や障害を持っている 1.1%
 8. 学生である／就学したい 1.4%
 9. その他 () 12.7%

すべての方に、封筒のあて名のお子さんの土・休日の保育について、希望をお伺いします。

問13 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。
※保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外保施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

1. ほぼ毎週利用したい 6.0%	} → 21.7%	利用したい時間帯をお答えください。 (<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで)
2. 月に1～2回は利用したい		
3. 利用希望はない 71.2%	無回答 1.8%	

【日曜日・祝日】

1. ほぼ毎週利用したい 1.6%	} → 13.4%	利用したい時間帯をお答えください。 (<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで)
2. 月に1～2回は利用したい		
3. 利用希望はない 76.8%	無回答 8.1%	

問13-1 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを2つだけ選んで○をつけてください。（非該当 1402）

1. 土曜日も仕事があるから 55.2%
2. 日曜日も仕事があるから 27.2%
3. 祝日も仕事があるから 4.6%
4. 家族・親族などの介護をしなければならないから 1.9%
5. その他 (<input type="text"/>) 39.3% 無回答 0.4%

すべての方に、封筒のあて名のお子さんの夜間の保育について、希望をお伺いします。

問14 封筒のあて名のお子さんについて、夜間（保育サービス等の延長時間以降）に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。
※保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外保施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

1. ほぼ毎週利用したい 4.6%	} → 9.0%	利用したい時間帯をお答えください。 (<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで)
2. 月に1～2回は利用したい		
3. 利用希望はない 84.7%	無回答 1.7%	

問14-1 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを2つだけ選んで○をつけてください。（非該当 1677）

1. 就労時間の終了時間が夜間に及ぶから 50.2%
2. 恒常的に残業があるから 36.6%
3. 職場が遠く、通勤時間が長いから 18.9%
4. 家族・親族などの介護をしなければならないから 0.8%
5. その他 (<input type="text"/>) 29.1%

5. あて名のお子さんが病気やケガの時の保育についてお伺いします。

問15 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービス（問11-2の定義参照）が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。
 (非該当 934)

1. あった 58.9%	(→ 問15-1,2へ)
2. なかった 34.6% 無回答 6.4%	(→ 問16へ)

この1年間の、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問15-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（半日程度についても、1日としてカウントしてください）（非該当 1318）

{ ↓ 問15-2	1. 父親が休んだ 23.2%	平均	3.6	日
	2. 母親が休んだ 54.6%	平均	9.1	日
	3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた 21.3%	平均	8.1	日
	4. 就労していない保護者がみた 38.3%	平均	8.2	日
	5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む) 5.8%	平均	5.4	日
	6. ベビーシッターを頼んだ 2.4%	平均	8.6	日
	7. ふれあい子育て支援事業を利用した 0.5%	平均	1.0	日
	8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 0.5%	平均	3.3	日
	9. その他 () 1.4%	平均	5.0	日

問15-2 問15-1で、「1.父親が休んだ」、「2.母親が休んだ」、「3.親族・知人に預けた」を選ばれた方に伺います。その際、できれば一時的に預けられる施設に預けたい、と思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

平均 7.4 日は、できれば施設に預けたいと思った

6. すべての方に、あて名のお子さんの一時預かりについてお伺いします。

問16 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある	→ 年間	平均	11.6	日
42.1%				
		(理由別)		
		① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	74.6%	平均 8.5 日
		② 冠婚葬祭、子どもの親の病気	36.2%	平均 5.3 日
		③ 就労	18.2%	平均 16.7 日
2. ない	57.0%	無回答	0.9%	

問17 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用しているが利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に	平均	3.1	日くらい
----	----	-----	------

7. すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについてお伺いします。

問18 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった	→ 年間	平均	9.1	日	(預け先が見つからなかった場合を含む)	(→ 問18-1,2へ)
10.2%						
		(理由別)				
		① 仕事	27.6%	平均	11.6	日
		② 冠婚葬祭	15.6%	平均	2.6	日
		③ 家族・親族の病気	24.1%	平均	6.0	日
		④ 子どもの親の病気	33.7%	平均	7.8	日
2. なかった	89.1%	無回答	0.6%			

問18-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	84.4%	平均	8.8	泊
2. 保育サービス(ショートステイ事業を実施している児童養護施設、ベビーシッター、その他保育施設等)を利用した	3.5%	平均	13.6	泊
3. 仕方なく子どもも同行させた	13.1%	平均	5.8	泊
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0.5%	平均	1.0	泊
5. その他()	3.5%	平均	10.0	泊

問18-2 問18で、「1. 親族・知人に預けた」を選ばれた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。(非該当 1774 無回答 1)

1. 非常に困難	14.3%	2. どちらかというと困難	41.1%	3. 特に困難ではない	44.0%	無回答	0.6%
----------	-------	---------------	-------	-------------	-------	-----	------

8. すべての方に、ふれあい子育て支援事業の利用についてお伺いします。

【ふれあい子育て支援事業】社会福祉協議会による、子育ての援助を受けたい保護者と、子育ての援助を行いたい住民との支えあいにより、乳幼児から小学校3年生までを預かるしくみ。

問19 ふれあい子育て支援事業を利用していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 利用している 3.4% | (→ 問19-1,2,3へ) |
| 2. 利用していない 95.8% 無回答 0.8% | (→ 問19-4へ) |

問19-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。(非該当 1876)

- | |
|--|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している 15.2% |
| 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等) 19.7% |
| 3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している 7.6% |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している 25.8% |
| 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している 18.2% |
| 6. 保育施設等の送り迎えに利用している 18.2% |
| 7. その他の目的で利用している 18.2% |

問19-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 2.7	日くらい	1回あたり	平均 2.7	時間程度
----	-----------	------	-------	-----------	------

問19-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 10.2	時間くらい
----	------------	-------

問19-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 13.3	時間くらい
----	------------	-------

9. ベビーシッターを利用していらっしゃる方にお伺いします。

問20 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

- | |
|---|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している 0.8% |
| 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等) 1.6% |
| 3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している 1.2% |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している 1.7% |
| 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している 1.1% |
| 6. その他の目的で利用している 1.1% |

問20-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 3.7	日くらい	1回あたり	平均 4.9	時間程度
----	-----------	------	-------	-----------	------

10. すべての方にお伺いします。

【おでかけひろば・子育てひろば】親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、子ども・子育て総合センター、子育てステーション、児童館の中にあります
 【子育てサロン】社会福祉協議会の支援を受け、区民が中心になって活動している、親子が気軽に集まってお茶などができるサロン。区内各所にあります。

問21 封筒のあて名のお子さんと一緒に、現在、「おでかけひろば・子育てひろば」や、「子育てサロン」を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（無回答 19）

- 1. おでかけひろば・子育てひろば 23.1%
1週あたり [平均 1.4] 回
- 2. 子育てサロン 2.9%
1月あたり [平均 2.1] 回
- 3. 利用していない 73.1% 無回答 1.0% (→ 問22へ)

問21-1 問21で、「1.おでかけひろば・子育てひろば」「2.子育てサロン」を選んだ方にお伺いします。今後、利用日数を増やしたいと思いませんか。希望回数を枠内に数字でご記入ください。（非該当 1438）

- 1. おでかけひろば・子育てひろば 46.6%
1週あたり [平均 1.9] 回
- 2. 子育てサロン 5.6%
1月あたり [平均 2.6] 回
- 3. 特に希望はない 41.3% 無回答 6.5%

問21で「3. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問22 現在利用していない理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。（非該当 523）

- 1. 利用したいサービスが近くにない 8.9%
- 2. サービスの利用方法（手続き等）がわからない 8.6%
- 3. サービスの利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい 8.6%
- 4. 自分がサービスの対象者になるのかわからない
- 5. 時間がない 17.8%
- 6. サービスを知らなかった 13.5%
- 7. その他 10.1%
- 8. 特に理由はない 24.6% 無回答 5.1%

問22-1 今は利用していないが、今後、利用したいと思いませんか。利用する場合の希望回数を枠内に数字でご記入ください。

- 1. おでかけひろば・子育てひろば 22.7%
1週あたり [平均 1.2] 回
- 2. 子育てサロン 4.5%
1月あたり [平均 1.6] 回
- 3. 特に希望はない 63.0% 無回答 9.8%

子育て支援サービスの認知度・利用率についてお伺いします。

問23

下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親学級、両親学級 妊娠中の健康管理や出産に必要な知識を学べます。	無回答 2.2% はい 93.4% いいえ 4.4%	無回答 2.2% はい 68.6% いいえ 29.2%	無回答 8.2% はい 36.4% いいえ 28.0% わからない 27.3%
②育児学級 乳児健康診査を受診した赤ちゃん と母親等を対象に、育児の話しや 離乳食のすすめ方などのお話を しています。	無回答 2.5% はい 81.3% いいえ 16.2%	無回答 2.6% はい 62.8% いいえ 34.6%	無回答 7.6% はい 42.7% いいえ 24.8% わからない 24.9%
③離乳食講習会 生後7～8か月の子どもを持つ母 親等を対象に、離乳食中期以降の すすめ方について栄養士の話と調 理実演・試食を実施しています。	無回答 2.6% はい 83.1% いいえ 14.3%	無回答 2.3% はい 55.9% いいえ 41.8%	無回答 7.9% はい 37.3% いいえ 32.5% わからない 22.3%
④「子育てカレッジ」 子育てについての調査研究や講 座・イベントを行っています。	無回答 1.8% はい 20.4% いいえ 77.8%	無回答 6.3% はい 2.9% いいえ 90.8%	無回答 6.0% はい 31.1% いいえ 20.8% わからない 42.1%
⑤「子育てテレフォン」 夜間や休日に子育てや育児に関 する相談や案内を行っています。	無回答 1.7% はい 63.6% いいえ 34.6%	無回答 4.5% はい 12.8% いいえ 82.6%	無回答 6.0% はい 40.9% いいえ 14.2% わからない 38.9%
⑥教育相談 幼児、小・中学生と保護者へのカ ウンセリングや助言を行っています。	無回答 1.5% はい 27.4% いいえ 71.1%	無回答 5.9% はい 2.4% いいえ 91.7%	無回答 5.5% はい 40.1% いいえ 8.8% わからない 45.7%
⑦認可保育所の地域交流事業 区立、私立保育園の施設・園庭を 地域の親子に開放し、在園児や保 育士と一緒に遊びます。	無回答 2.1% はい 72.2% いいえ 25.7%	無回答 3.3% はい 30.5% いいえ 66.2%	無回答 5.3% はい 57.4% いいえ 14.1% わからない 23.2%
⑧児童館 赤ちゃんから中高生、親子で自由 に利用できる地域の遊び場です。	無回答 2.5% はい 95.9% いいえ 1.6%	無回答 1.5% はい 81.2% いいえ 17.3%	無回答 6.0% はい 78.5% いいえ 5.5% わからない 10.0%
⑨子ども家庭総合相談 総合支所で、子育て等の悩みに関 する総合相談を行っています。	無回答 1.8% はい 43.9% いいえ 54.4%	無回答 4.7% はい 7.6% いいえ 87.7%	無回答 6.2% はい 32.1% いいえ 13.1% わからない 48.6%
⑩子育て支援情報誌「子育てコン パス」 妊娠時から小学生入学までの子育 て関連情報をまとめた、総合案内カ イドブックです。	無回答 1.5% はい 55.3% いいえ 43.2%	無回答 4.0% はい 47.6% いいえ 48.4%	無回答 6.8% はい 63.7% いいえ 7.4% わからない 22.1%
⑪新生児訪問指導 原則生後40日以内に、助産師や保 健師が訪問し、母子保健の相談、 助言を行います。	無回答 2.0% はい 86.5% いいえ 11.5%	無回答 2.3% はい 54.2% いいえ 43.5%	無回答 7.0% はい 43.2% いいえ 26.4% わからない 23.5%
⑫さんさんサポート 出産予定1ヶ月前から生後6ヶ月 の子育て家庭へ3回まで無料でヘル パーを派遣します。	無回答 1.4% はい 71.5% いいえ 27.0%	無回答 3.3% はい 14.7% いいえ 81.9%	無回答 5.8% はい 41.8% いいえ 23.4% わからない 28.9%
⑬産後ケア事業 産後3ヶ月までの育児不安のある 母子を対象に母体ケア、乳児ケ ア、育児相談・指導、産後体操な どを行います。ショートステイ (宿泊)、デイケア(日帰り)で 利用できます。	無回答 1.6% はい 44.5% いいえ 54.9%	無回答 4.2% はい 2.8% いいえ 93.0%	無回答 5.5% はい 33.4% いいえ 23.3% わからない 37.8%

1.1. すべての方に、子育て全般についてお伺いします。

問24 子育てに関する情報を、どのように入手されていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 区のおしらせ（区広報誌）や区の情報誌 62.7%	6. 子育て雑誌、育児書 42.3%
2. 区役所や区の施設 14.1%	7. 保育園や幼稚園 48.0%
3. テレビ、ラジオ、新聞 23.2%	8. 子育てサロン、子育てひろば、児童館 35.0%
4. インターネット、携帯電話のサイト 52.0%	9. 情報の入手の仕方がわからない 4.3%
5. 子どもを介して知り合った友人 66.4%	10. その他（ ） 3.8%

問25 子育てについて、楽しいと感じることが多いと思いますか。辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多し 48.4%	5. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい 14.5%
2. どちらかという、楽しいと感じることの方が多し 32.9%	6. わからない 0.7%
3. 辛いと感じることの方が多し 1.0%	7. その他 0.3% 無回答 0.3%
4. どちらかという、辛いと感じることの方が多し 1.9%	（ ）

問26 子育てについて、心配ごとや悩みごとはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 養育費や教育費など経済的な負担 29.6%	6. 家事の負担 2.2%
2. 子どものしつけや接し方 35.8%	7. 仕事の負担 2.5%
3. 子どもの健康状態 5.3%	8. 親同士の人間関係 2.2%
4. 自分の健康状態 3.0%	9. 特になし 13.5%
5. 育児の負担 3.0%	10. その他（ 1.9% ） 無回答 1.0%

問27 子育てについて、心配ごとや悩みごとがある時、誰に相談しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者 86.9%	9. 近所の知人、友人 28.7%	17. 保育園や、担任保育士 12.6%
2. 自分の親 72.8%	10. 子どもを介して知り合った友人 61.8%	18. 幼稚園や、担任教諭 18.9%
3. 自分のきょうだい 26.7%	11. 民生・児童委員、主任児童委員 0.2%	19. 子育てテレフォン 2.7%
4. 配偶者の親 23.9%	12. かかりつけ医 24.5%	20. 区役所など行政の相談窓口 1.5%
5. 配偶者のきょうだい 6.2%	13. 看護師 1.4%	21. 児童相談所 0.5%
6. その他親戚 4.8%	14. 保健師 2.7%	22. 民間の電話相談等 0.5%
7. 学生時代の友人・知人 33.9%	15. 子育てサロンやひろばのスタッフ 6.8%	23. 相談できる人はいない 0.9%
8. 職場や仕事上の友人・知人 13.6%	16. 教育相談室 0.4%	24. その他（ ） 1.8%

問28 子育ての不安がある時や、疑問に思うことを相談したり、子育てのノウハウを学んだりする場合、どのような形で対応して欲しいですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 総合支所（生活支援課や健康づくり課）などで、専門職（保健師等）による総合的な相談窓口を常時開設して欲しい 25.9%
2. 近くの子どもに関する公共施設（区立保育園、私立保育園、児童館）で、相談会を定期的実施して欲しい 35.1%
3. 子育てグループやサークルの活動場所に、専門職（保健師等）が来て、相談会や講習会を実施して欲しい 15.1%
4. 子育てカレッジなどで、子どもと一緒に参加する、親子参加型の子育て支援講座を開催して欲しい 23.5%
5. インターネットなど広報を充実し、年齢に応じた子育て情報を調べられるようにして欲しい 43.4%
6. 地域での子育て行事を充実し、身近な場所で相談や交流ができるようにして欲しい 43.6%
7. その他（ ） 2.7%

問29 子育てをしやすい社会とは、どのようなものだと思いますか。A群からC群のなかで、それぞれ重要だと思うものを各群から1つ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

		問 30
A群	1. 職場の理解がある（子育てに協力的な雰囲気がある） 41.9%	8.8%
	2. 職場の子育て支援制度（育児休業、短時間勤務等）が充実している 31.4%	7.1%
	3. 在宅勤務など多様で柔軟な働き方が認められている 22.8% 無回答 4.0%	5.7%
B群	4. 地域で子育てをサポートする雰囲気と仕組みがある 26.7%	11.0%
	5. 区の子育て支援策が充実している 26.4% 無回答 8.6%	10.8%
	6. 国などから子育て世帯への手当金（支援金、医療費等助成）が充実している 44.0%	22.3%
C群	7. 家族が、育児や家事に積極的に参加する 50.7%	20.9%
	8. 親やきょうだいが近くに住み、育児等を手伝ってくれる 21.3%	6.6%
	9. ベビーシッターや家事代行など、専門サービスが利用しやすい 23.6% 無回答 4.4%	4.3%
		無回答 2.4%

問30 問29で○をつけられた3つのなかで、もっとも重要だと思うものはどれですか。1番から9番までで、あてはまる番号をひとつだけ記入してください。

最も必要な取り組みは 番

12. あて名のお子さんが、小学校に入学した以降のことをお伺いします。

問31 あて名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、学童クラブを利用したいと思いますか。
 【学童クラブ・・・放課後、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1～3年生の児童に対し、心身の健やかな発達を促します。世田谷区では「BOP」と一体的に全区立小学校で「新BOP事業」として実施しています。】（無回答 68）

1. 利用したい 69.6%	→ 週	<input type="text" value="平均 3.9"/>	日くらい
2. 利用予定はない 26.9%	無回答 3.5%		

13. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします。

【仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）】

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態をいいます。ワーク・ライフ・バランスは、「仕事の充実」と「仕事以外の生活の充実」の好循環をもたらし、多様性に富んだ活力ある社会を創出するために重要です。

問32 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家庭生活（家族と過ごす時間、家事、育児、介護など）」、「プライベートの生活時間（趣味、娯楽、スポーツ、社会参加活動、ボランティア活動、学習、研究など）」の優先度についてお伺いします。「希望」と「現実」それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

理想	1. 「仕事時間」を優先 0.4%	5. 「仕事時間」と「プライベートの生活時間」をともに優先 1.5%
	2. 「家庭生活」を優先 12.0%	6. 「家庭生活」と「プライベートの生活時間」をともに優先 38.5%
	3. 「プライベートの生活時間」を優先 2.8%	7. 「仕事時間」「家庭生活」「プライベートの生活時間」をともに優先 30.2%
	4. 「仕事時間」と「家庭生活」をともに優先 10.4%	8. よくわからない 1.6% 無回答 2.6%

現実	1. 「仕事時間」を優先 10.9%	5. 「仕事時間」と「プライベートの生活時間」をともに優先 0.5%
	2. 「家庭生活」を優先 63.5%	6. 「家庭生活」と「プライベートの生活時間」をともに優先 5.2%
	3. 「プライベートの生活時間」を優先 0.1%	7. 「仕事時間」「家庭生活」「プライベートの生活時間」をともに優先 1.7%
	4. 「仕事時間」と「家庭生活」をともに優先 12.2%	8. よくわからない 3.3% 無回答 2.6%

問33 「仕事と生活の調和が実現された社会」に近づくためには、区が、どのような取組みを進めることが必要だと思いますか。以下のそれぞれの取組みの中で、あなたの考えに近いものを、「啓発」「企業」「施策」それぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

啓発	1. 「ワーク・ライフ・バランス」の重要性についてPRする 41.3%	7.6%
	2. インターネットで「ワーク・ライフ・バランス」について情報を提供する 10.1%	0.8%
	3. 有名人の「ワーク・ライフ・バランス」の実践を紹介する 7.1%	0.4%
	4. 官庁や地方自治体が「ワーク・ライフ・バランス」を自ら実践する 35.6%	7.1%
無回答 5.8%		
企業	5. 「ワーク・ライフ・バランス」が進んでいる企業の事例を紹介する 28.5%	2.2%
	6. 「ワーク・ライフ・バランス」についての企業の情報を公開させる 35.3%	4.6%
	7. 「ワーク・ライフ・バランス」が進んでいる企業を表彰する 15.9%	1.4%
	8. 求職者や学生に「ワーク・ライフ・バランス」が進んでいる企業の情報を提供する 15.0%	2.0%
無回答 5.4%		
施策	9. 保育サービスの充実など、子育て支援策を拡充する 54.4%	42.5%
	10. 「ワーク・ライフ・バランス」を進める企業に助成金を支給する 22.2%	12.5%
	11. 「ワーク・ライフ・バランス」のための規制を強化する 16.8%	12.0%
	12. その他 1.5%	0.6%
無回答 5.1%		無回答 6.4%

問34 問33で○をつけられた3つのなかで、もっとも必要な取組みだと思えるものはどれですか。1番から12番までで、あてはまる番号をひとつだけ記入してください。（無回答 125）

最も必要な取組みは 番

14. この調査票の回答者の方についてお伺いします。

問35 この調査票を、ご記入いただいた方は、封筒のあて名のお子さんからみて、どなたですか。

1. 父親	5.0%	2. 母親	92.4%	3. 祖父	0.0%	4. 祖母	0.0%	5. その他 ()	0.1%
								無回答	2.4%

問36 この調査票を、ご記入いただいた方の年代について、あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

1. 20歳未満	0.0%	2. 20-24歳	1.0%	3. 25-29歳	9.7%	4. 30-34歳	34.6%	5. 35-39歳	37.4%	
6. 40-44歳	12.6%	7. 45-49歳	2.0%	8. 50-54歳	0.2%	9. 55-59歳	0.1%	10. 60歳以上	0.0%	
									無回答	2.5%

質問は以上です。お忙しいところ、ご回答いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒で、10月31日（金）までにご返送ください。

2. 就学児童アンケート

※ 記入欄内のパーセンテージは回収票1942票から非該当・無回答を除いた有効回答数を分母として算出しています。

「世田谷区子ども計画」ニーズ調査

ご協力をお願い

この調査は、次世代育成支援対策推進法に基づく地域行動計画の策定のため、全国の自治体で共通項目による調査を行うとともに、世田谷区における地域行動計画である「世田谷区子ども計画」の見直しのための独自項目を加え、今後の区の子育て支援策等の検討に資することを目的としております。

お答えいただく方は、無作為に区内在住の0歳から9歳までのお子さんを選ばせていただきました。お子さんの保護者の方がお答えくださいますよう、お願い致します。お答えいただいた内容につきましては、この調査目的以外には一切公表されません。また、調査結果はすべて統計的に処理され、個人を特定するものではありません。

なお、世田谷区では、「世田谷区子ども計画」の見直しに向け、同時期に様々な調査を行っております。もしも、他の調査やアンケート等が重複してお手元に届いた場合は、大変お手数をおかけ致しますが、併せてご協力くださいますよう、お願い致します。

お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

平成20年10月

世田谷区 子ども部 子ども家庭支援課

■ ご記入にあたってのお願い

1. 調査票は、あて名のお子さんの**保護者の方**がご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号に○をつけるか、数字をご記入ください。
3. ご記入は、黒のボールペンや鉛筆でお願いします。
4. 該当する質問には、**すべて**お答えください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
6. この調査票は、ご記入のうへ **10月31日までに**、同封の封筒に入れてご返送くださるようお願いいたします（差出人名は無記名で結構です）。

■ お問合せ先

世田谷区子ども部子ども家庭支援課

世田谷区世田谷 4-21-27 電話：03-5432-2066

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月月をお伺いします。

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

<input type="text"/>	平均	人	(無回答 9)	末子の年齢	<input type="text"/>	平均	歳	(無回答 34)
	1.9				6.0			

問3 あなたがお住まいの地域の番号に1つだけ○をつけてください。

地域	町名(参考)
1. 世田谷 26.5%	世田谷、若林、上馬、三軒茶屋、太子堂、野沢、下馬、三宿、池尻1丁目～3丁目、4丁目1～32番、駒沢1丁目～2丁目、弦巻、桜、桜丘、経堂、宮坂
2. 北沢 13.1%	北沢、代沢、大原、羽根木、代田、松原、梅丘、豪徳寺、赤堤、桜上水、池尻4丁目33～39番
3. 玉川 25.1%	上用賀、用賀、桜新町、新町、駒沢3～5丁目、駒沢公園、深沢、等々力、中町、玉川台、瀬田、玉川、上野毛、野毛、玉堤、尾山台、玉川田園調布、奥沢、東玉川
4. 砧 22.4%	船橋、千歳台、祖師谷、砧、成城、喜多見、大蔵、砧公園、岡本、鎌田、宇奈根
5. 烏山 13.0%	北烏山、南烏山、給田、上祖師谷、粕谷、八幡山、上北沢

問4 あて名のお子さんの父、母、祖父、祖母の同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（無回答 28）

1. 父母同居 91.3%	2. 父同居(ひとり親家庭) 0.8%	3. 母同居(ひとり親家庭) 7.9%	4. 祖父同居 7.5%
5. 祖母同居 12.0%	6. 祖父近居 18.0%	7. 祖母近居 21.7%	8. その他 2.9%

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親 0.8%	2. 主に母親 97.3%	3. 主に祖父母 1.4%	4. その他 0.5%
--------------	---------------	---------------	-------------

問6 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる 17.7%	(→問6-1へ)
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる 45.8%	(→問6-1へ)
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる 10.5%	(→問6-2へ)
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる 39.1%	(→問6-2へ)
5. いずれもない 15.1%	

問6-1は、問6で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問6-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（非該当 519）

1. 祖父母は、孫を預かることについて、特に負担ではない 57.7%
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である 21.6%
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である 21.1%
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 26.3%
5. その他 6.2%

問6-2は、問6で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問6-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(非該当 711)

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない 25.6%
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である 3.2%
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である 17.4%
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 25.5%
5. 自分も預かることがあるので、互いに助け合えることは望ましい 69.7%
6. その他 2.6%

2. 封筒のあて名のお子さんのご両親（父母）の就労状況についてお伺いします。

問7 現在の就労状況をお伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親 【母子家庭の場合は記載不要】 (非該当 28)

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない） 90.7%
→ 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔平均 57.1〕時間、帰宅時間〔平均 21時30分〕時 】
2. 就労している（フルタイムだが現在は育休・介護休業中） 0.1%
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） 0.8%
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔平均 5.0〕日 ・ 1日当たり〔平均 9.1〕時間 】
→ フルタイムへの転職希望がありますか。
【 ① 希望がある 30.0% ② 希望があるが予定はない 20.0% ③ 希望はない 40.0% 無回答 】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない 0.9%
5. これまでに就労したことがない 0.0% 無回答 7.5%

就労種類 あてはまる番号に○を1つつけてください。(非該当 145)

1. フルタイムの被雇用者77.0% 2. 自営業・家族従事者 9.9% 3. 会社経営 7.7% 無回答 5.4%

(2) 母親 【父子家庭の場合は記載不要】 (非該当 10)

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない） 18.9%
→ 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔平均 40.9〕時間、帰宅時間〔平均 18時50分〕時 】
2. 就労している（フルタイムだが現在は育休・介護休業中） 0.6%
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） 22.4%
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔平均 3.6〕日 ・ 1日当たり〔平均 5.0〕時間 】
→ フルタイムへの転職希望がありますか。
【 ① 希望がある 11.8% ② 希望があるが予定はない 26.7% ③ 希望はない 39.6% 無回答 】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない 47.7%
5. これまでに就労したことがない 6.8%

就労種類 あてはまる番号に○を1つつけてください。(非該当 1046)

1. フルタイムの被雇用者68.5% 2. 自営業・家族従事者 21.9% 3. 会社経営 6.0% 無回答 3.6%

問8は、問7の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。

問8 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 有 (すぐにでも若しくは1年以内に希望がある) 22.8%	(→ 問8-1及び問8-2へ)
2. 有 (1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい) 54.1%	(→ 問8-1、2及び問8-3へ)
3. 無 20.8% 無回答 1.9%	(→ 問9へ)

問8-1及び問8-2は、問8で「1.有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」、「2.有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。)(非該当 754)

1. フルタイムによる就労 7.4%	無回答 7.2%
2. パートタイム、アルバイト等による就労 85.5%	(週当たり〔平均 3.3〕日・一日当たり〔平均 5.0〕時間)

問8-2 就労希望があっても、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 子どもがある程度大きくなるまでは、働かずにいたい 57.3%
2. 学童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい 2.0%
3. 働きながら子育てできる適当な仕事がない 22.1%
4. 自分の知識、能力にあう仕事がない 1.8%
5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない 4.2%
6. その他 () 9.0% 無回答 3.5%

問8-3は、問8で「2.有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問8-3 あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

平均 9.4 歳になったとき

3. 新BOP内学童クラブ(以下、学童クラブと言う)の利用についてお伺いします。

問9 あて名のお子さんについて、現在、学童クラブを利用していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

【学童クラブ…放課後、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1～3年生の児童に対し、心身の健全な発達を促します。世田谷区では、問9-5の「BOP」と一体的に全区立小学校で「新BOP事業」として実施しています。】

1. 利用している 16.3%	(→ 問9-1へ)
2. 利用していない 81.9% 無回答 1.8%	(→ 問9-2及び問9-3へ)

問9-1 上記の問で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。あて名のお子さんについて、学童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる主な理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

週 平均 日くらい → うち土曜日の利用	1. ある 23.6%
4.3 (非該当 1085)	2. ない 68.4% 無回答 8.0%

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 現在就労している	79.7%
2. 就労予定がある	1.4%
3. 家族・親族などを介護しなければならない	2.4%
4. 病気や障害を持っている	0.9%
5. 学生である	0.5%
6. その他 ()	7.5%

問9-2 上記の問で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(非該当 235)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 現在就労していないから	60.5%
2. 就労しているが、学童クラブを知らなかったから	0.4%
3. 就労しているが、学童クラブの入会要件に該当しないから	6.7%
4. 就労しているが、学童クラブの対象年齢ではないから	4.1%
5. 就労しているが、学童クラブの開所時間が短いから	0.9%
6. 就労しているが、間食費等を払わなければいけないから	0.2%
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから	4.3%
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから	3.6%
9. 就労しているが、他の施設に預けているから	0.5%
10. その他 ()	11.9% 無回答 7.0%

問9-3へ

問9-3 問9で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。あて名のお子さんについて、今後、学童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1. 利用したい	15.5%	-週	平均 3.2	日くらい	うち土曜日の利用希望	1. ある	28.5%
2. 今後利用しない	80.2%	無回答	4.2%	(非該当 1132)		2. ない	52.7% 無回答 18.8%

問9-4 今後学童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。
(非該当 1132)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 現在就労している	18.8%
2. 就労予定がある	3.6%
3. そのうち就労したいと考えている	50.3%
4. 家族・親族などを介護しなければならない	2.4%
5. 病気や障害を持っている	0.6%
6. 学生である／就学したい	1.8%
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい	13.9%
8. その他 ()	7.3% 無回答 1.2%

問9-5 新BOPには、「学童クラブ」と「BOP」がありますが、「BOP」の利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
【BOP…当該小学校の1～6年生のすべての子どもを対象として、希望者が小学校の施設や校庭等を利用して、異なる年齢の子どもたちと共に遊びを通して創造性・自主性・社会性を養い、児童の健全育成をはかるものです。】

1. 意向がある	64.2%	→	週	平均 2.4	日くらい
2. 意向がない	22.8%				
3. 対象のサービスがない	3.9%	無回答	9.1%		

問10 あて名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
【児童館…0歳～18歳を対象とした施設で、子育て支援、小学生への遊びの提供や中高生の居場所、自立に向けた支援活動などを行っています】

1. 学童クラブを利用したい	11.7%				
(1.を選ばれた方) - 小学		平均 5.4	年生まで利用したい	→	(問10-1へ)
2. BOPを利用したい	33.8%				
3. 児童館を利用したい	7.9%			→	(問10-2へ)
4. クラブ活動をさせたい	11.0%				
5. 習い事をさせたり、学習塾に通わせたい	24.1%				
6. 利用を希望するサービスは特にない	4.8%				
7. その他 ()	3.9%	無回答	2.7%		

問10-1 問10で「1. 学童クラブを利用したい」「2. BOPを利用したい」を選ばれた方にお伺いします。利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に○をつけてください。（非該当 707）

1. 学校から移動せず、安心して安全な活動ができる場所だから	73.6%
2. 友達と遊んだり交流できるから	12.5%
3. 校庭や体育館などで思いっきり遊べるから	3.6%
4. 日常活動や行事が楽しいから	0.3%
5. 保護者の就労等により、家で留守番させられないから	7.3%
6. 放課後過ごせる場所をほかに知らないから	0.2%
7. その他（	） 1.2% 無回答 1.4%

問10-2 問10で「3. 児童館を利用したい」を選ばれた方にお伺いします。利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に○をつけてください。（非該当 1194）

1. 子どもが安心して安全な活動ができる場所だから	53.4%
2. 友達と遊んだり交流できるから	30.1%
3. 中・高生などと一緒に活動でき、色々なことを教えてもらえるから	1.9%
4. 他の学校の児童と交流や遊びが出来るから	1.0%
5. 日常活動や行事が楽しいから	1.9%
6. 子どもが遊べる設備があるから	4.9%
7. 保護者の就労等により、家で留守番させられないから	1.0%
8. 放課後過ごせる場所をほかに知らないから	3.9%
9. その他（	） 1.9%

問11 子どもが放課後の過ごす場所として、世田谷区には、「新BOP」「児童館」「プレーパーク」などがあります。今後、充実すべきことは何だと思えますか。重要だと思うもの1つだけ○をつけてください。

【プレーパーク…プレーパークは「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした遊び場です。自然と触れ合いながら自由に遊ぶ中で、子どもたちが自らの限界と可能性に挑戦し、本当の意味での「生きる力」を身につけてもらいたい。そんな願いが込められた遊び場です。】

1. 安全・安心対策の充実	49.6%
2. 施設・設備の充実	9.3%
3. 利用時間の拡充	4.9%
4. スタッフ（職員等）の充実	11.6%
5. 子どもの遊び支援など日常活動の充実	5.6%
6. 異年齢（乳幼児から大人までとの）による活動の充実	2.1%
7. 行事や地域交流活動の充実	2.0%
8. 障害児等、配慮を要する子どもへの支援	2.2%
9. 現状のままでよい	5.6%
10. その他（	） 2.4% 無回答 4.7%

4. あて名のお子さんが病気やケガの時の対応についてお伺いします。

問12 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった 52.7%	(→ 問12-1へ)
2. なかった 46.5% 無回答 0.8%	

この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問12-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。(半日程度についても、1日としてカウントしてください) (非該当 613)

1. 父親が休んだ 13.0%	平均	2.6	日
2. 母親が休んだ 31.9%	平均	4.1	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた 12.4%	平均	4.3	日
4. 就労していない保護者がみた 55.1%	平均	5.1	日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む) 0.3%	平均	2.0	日
6. ベビーシッターを頼んだ 1.6%	平均	3.0	日
7. ふれあい子育て支援事業を利用した 0.3%	平均	3.5	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 6.4%	平均	2.4	日
9. その他 () 1.5%	平均	2.1	日

問12-2

問12-1で、「1.父親が休んだ」、「2.母親が休んだ」、「3.親族・知人に預けた」を選ばれた方に伺います。その際、できれば一時的に預けられる施設に預けたい、と思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

平均	3.8	日は、できれば施設に預けたいと思った
----	-----	--------------------

5. すべての方に、あて名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問13 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある	→	年間	平均	13.9	日
34.1%					
			(理由別)		
			① 私用（買物、習い事等）、 リフレッシュ目的	55.0%	平均 6.2 日
			② 冠婚葬祭、子どもの親の病気	37.3%	平均 4.9 日
			③ 就労	34.4%	平均 22.2 日
2. ない	64.8%	無回答	1.1%		

問14 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に	平均	2.7	日くらい
----	----	-----	------

6. すべての方に、あて名のお子さんの夜間の一時預かりのことについてお伺いします。

問15 この1年間で、保護者の方のお仕事や急な用事のために、お子さんを家族以外の誰かに夜間一時的に預けたことはありましたか。

1. ある	→	年間	平均	20.5	日
8.2%					
			(理由別)		
			① 仕事 急な残業など	51.4%	平均 33.8 日
			② 急用 親族の病気など	17.8%	平均 2.3 日
			③ その他	37.4%	平均 3.7 日
2. ない	90.6%	無回答	1.2%		

問16 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。（無回答 262）

1. 利用したい	13.5%								
月に	平均	2.6	日くらい	平均	17時40分	時から	平均	21時20分	時まで
2. 利用希望はない	66.3%	無回答	20.2%						

7. すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問17 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった → 年間	平均	6.6	日	(預け先が見つからなかった場合を含む) (→ 問17-1へ)
9.0%				(理由別)
				① 仕事 42.4%
				② 冠婚葬祭 16.9%
				③ 家族・親族の病気 24.6%
				④ 子どもの親の病気 16.1%
2. なかった	90.4%			無回答 0.6%

問17-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。(非該当 1180)

1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	87.2%	平均	6.4	泊
2. 保育サービス(ショートステイ事業を実施している児童養護施設、ベビーシッター、その他保育施設等)を利用した	3.4%	平均	8.5	泊
3. 仕方なく子どもも同行させた	7.7%	平均	4.3	泊
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4.3%	平均	3.4	泊
5. その他()	5.1%	平均	3.7	泊

問17-2 問17-1で、「1. 親族・知人に預けた」を選ばれた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。(非該当 1195)

1. 非常に困難	18.6%	2. どちらかという困難	45.1%	3. 特に困難ではない	35.3%
無回答 1.0%					

8. すべての方に、ふれあい子育て支援事業の利用についてお伺いします。

問18 ふれあい子育て支援事業を利用していますか

【ふれあい子育て支援事業】社会福祉協議会による、子育ての援助を受けたい保護者と、子育ての援助を行いたい住民との支えあいにより、乳幼児から小学校3年生までを預かるしくみ

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 利用している 2.5% | (→ 問18-1,2,3へ) |
| 2. 利用していない 96.6% 無回答 0.9% | (→ 問18-4へ) |

問18-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。(非該当 1265)

- | |
|--|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している 28.1% |
| 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等) 25.0% |
| 3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している 6.3% |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している 25.0% |
| 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している 9.4% |
| 6. 学童クラブ等の送り迎えに利用している 3.1% |
| 7. その他の目的で利用している 21.9% |

問18-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 2.9	日くらい	1回あたり	平均 3.3	時間程度
----	-----------	------	-------	-----------	------

問18-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 25.2	時間くらい
----	------------	-------

問18-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 8.6	時間くらい
----	-----------	-------

9. ベビーシッターを利用していらっしゃる方にお伺いします。

問19 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

- | |
|---|
| 1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している 1.2% |
| 2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している 2.3% |
| 3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している 0.5% |
| 4. その他の目的で利用している 4.8% |

問19-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 5.4	日くらい	1回あたり	平均 4.2	時間程度
----	-----------	------	-------	-----------	------

問20 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に	平均 5.5	日くらい
----	-----------	------

10. すべての方に子育て全般についてお伺いします。

問21 子育てに関する情報を、どのように入手されていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 区のおしらせ（区広報誌）や区の情報誌 71.6%	7. 児童館 18.3%
2. 区役所や区の施設 10.6%	8. 新BOP 18.0%
3. テレビ、ラジオ、新聞 32.6%	9. 子育てサロン、子育てひろば 2.2%
4. インターネット、携帯電話のサイト 30.8%	10. 情報の入手の仕方がわからない 4.4%
5. 子どもを介して知り合った友人 60.6%	11. その他（ ） 5.9%
6. 子育て雑誌、育児書 18.2%	

問22 子育てについて、心配ごとや悩みごとはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 養育費や教育費など経済的な負担 28.8%	5. 家事の負担 1.6%
2. 子どものしつけや接し方 33.5%	6. 仕事の負担 1.5%
3. 子どもの健康状態 4.8%	7. 親同士の間人間関係 3.5%
4. 自分の健康状態 1.9%	8. 特にない 19.9%
	9. その他（ ） 無回答 1.2%

問23 子育てについて、心配ごとや悩みごとがある時、誰に相談しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者 77.7%	9. 近所の知人、友人 35.3%	17. 学校や担任教諭 30.8%
2. 自分の親 58.8%	10. 子どもを介して知り合った友人 60.1%	18. 教育相談 2.5%
3. 自分のきょうだい 25.8%	11. 民生・児童委員、主任児童委員 0.2%	19. 習い事や学習塾の先生 9.7%
4. 配偶者の親 16.4%	12. かかりつけ医 16.0%	20. 子育てテレフォン 0.8%
5. 配偶者のきょうだい 4.9%	13. 看護師 0.3%	21. 区役所など行政の相談窓口 1.5%
6. その他親戚 4.4%	14. 保健師 0.2%	22. 民間の電話相談等 0.2%
7. 学生時代の友人・知人 24.4%	15. 新BOPや児童館 3.1%	23. 相談できる人はいない 2.4%
8. 職場や仕事上の友人・知人 12.1%	16. 児童相談所 0.2%	24. その他（ ） 2.2%

問24 子育ての不安がある時や、疑問に思うことを相談したり、子育てのノウハウを学んだりする場合、どのような形で対応して欲しいですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 近くの児童館で、相談会を定期的実施して欲しい 13.7%
2. 総合支所（生活支援課や健康づくり課）などで、専門職（保健師等）による総合的な相談窓口を常時開設して欲しい 21.6%
3. サークルなどの活動場所に、専門職（保健師等）が来て、相談会や講習会を実施して欲しい 8.3%
4. 子育てカレッジなどで、子どもと一緒に参加する、親子参加型の子育て支援講座を開催して欲しい 16.1%
5. 大学・NPOなどの研究機関での活動内容を広く広めて欲しい 9.1%
6. インターネットなどにより、年齢に応じた子育て情報を充実して欲しい 28.4%
7. 地域での子育て行事を充実し、身近な場所で相談や交流をできるようにして欲しい 31.9%
8. その他（ ） 5.9%

問25 子育てについて、楽しいと感じることが多いと思いますか。辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多い 40.5%	5. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい 16.8%
2. どちらかという、楽しいと感じることの方が多い 35.6%	6. わからない 1.4%
3. 辛いと感じることの方が多い 1.8%	7. その他（ ） 0.7%
4. どちらかという、辛いと感じることの方が多い 2.9%	無回答 0.2%

問26 子育てをしやすい社会とは、どのようなものだと思いますか。A群からC群のなかで、それぞれ重要だと思うものを各群から1つ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。 問27

A 群 無回答8.6%	1. 職場の理解がある（子育てに協力的な雰囲気がある） 44.9%	10.9%
	2. 職場の子育て支援制度（育児休業、短時間勤務等）が充実している 22.7%	3.9%
	3. 在宅勤務など多様で柔軟な働き方が認められている 23.8%	5.7%
B 群 無回答7.9%	4. 地域で子育てをサポートする雰囲気と仕組みがある 28.2%	11.4%
	5. 区の子育て支援策が充実している 18.7%	8.6%
	6. 国などから子育て世帯への手当金（支援金、医療費等助成）が充実している	25.0%
C 群 無回答8.1%	7. 家族が、育児や家事に積極的に参加する 50.7%	19.1%
	8. 親やきょうだい近くに住み、育児等を手伝ってくれる 21.3%	7.0%
	9. ベビーシッターや家事代行など、専門サービスが利用しやすい 23.6%	3.6%

無回答 4.7%

問27 問26で○をつけられた3つのなかで、もっとも重要だと思うものはどれですか。1番から9番までで、あてはまる番号をひとつだけ記入してください。

最も必要な取り組みは 番

1.1. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします。

【仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）】

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態をいいます。ワーク・ライフ・バランスは、「仕事の充実」と「仕事以外の生活の充実」の好循環をもたらす、多様性に富んだ活力ある社会を創出するために重要です。

問28 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家庭生活（家族と過ごす時間、家事、育児、介護など）」、「プライベートの生活時間（趣味、娯楽、スポーツ、社会参加活動、ボランティア活動、学習、研究など）」の優先度についてお伺いします。「希望」と「現実」それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

理想	1. 「仕事時間」を優先 0.2%	5. 「仕事時間」と「プライベートの生活時間」をともに優先 2.7%
	2. 「家庭生活」を優先 13.2%	6. 「家庭生活」と「プライベートの生活時間」をともに優先 37.4%
	3. 「プライベートの生活時間」を優先 2.8%	7. 「仕事時間」「家庭生活」「プライベートの生活時間」をともに優先 26.6%
	4. 「仕事時間」と「家庭生活」をともに優先 9.8%	8. よくわからない 2.2% 無回答 5.1%
現実	1. 「仕事時間」を優先 12.6%	5. 「仕事時間」と「プライベートの生活時間」をともに優先 1.6%
	2. 「家庭生活」を優先 52.0%	6. 「家庭生活」と「プライベートの生活時間」をともに優先 9.3%
	3. 「プライベートの生活時間」を優先 0.5%	7. 「仕事時間」「家庭生活」「プライベートの生活時間」をともに優先 3.2%
	4. 「仕事時間」と「家庭生活」をともに優先 13.3%	8. よくわからない 2.2% 無回答 5.2%

問29 「仕事と生活の調和が実現された社会」に近づくためには、区が、どのような取組みを進めることが必要だと思いますか。以下のそれぞれの取組みの中で、あなたの考えに近いものを、それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

啓発	1. 「ワーク・ライフ・バランス」の重要性についてPRする 45.5%	問30 10.6%
	2. インターネットで「ワーク・ライフ・バランス」について情報を提供する 6.9%	0.8%
	3. 有名人の「ワーク・ライフ・バランス」の実践を紹介する 5.9%	0.7%
	4. 官庁や地方自治体が「ワーク・ライフ・バランス」を自ら実践する 32.7%	無回答 9 9.1%
企業	5. 「ワーク・ライフ・バランス」が進んでいる企業の事例を紹介する 29.7%	3.4%
	6. 「ワーク・ライフ・バランス」についての企業の情報を公開させる 34.2%	4.9%
	7. 「ワーク・ライフ・バランス」が進んでいる企業を表彰する 11.4%	無回答 1.1%
	8. 求職者や学生に「ワーク・ライフ・バランス」が進んでいる企業の情報を提供する 11.4%	3.2%
施策	9. 保育サービスの充実など、子育て支援策を拡充する 51.7%	33.4%
	10. 「ワーク・ライフ・バランス」を進める企業に助成金を支給する 21.7%	11.3%
	11. 「ワーク・ライフ・バランス」のための規制を強化する 15.7%	10.4%
	12. その他 2.4%	無回答 8.6% 1.1%
		無回答 10.0%

問30 問29で○をつけられた3つのなかで、もっとも必要な取組みだと思うものはどれですか。1番から12番まで、あてはまる番号をひとつだけ記入してください。

最も必要な取組みは 番

12. この調査票の回答者の方についてお伺いします。

問31 この調査票を、ご記入いただいた方は、封筒のあて名のお子さんからみて、どなたですか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

1. 父親 4.7%	2. 母親 88.4%	3. 祖父 0.0%	4. 祖母 0.2%	5. その他() 0.0%
無回答 6.6%				

問32 この調査票を、ご記入いただいた方の年代について、あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

1. 20歳未満 0.0%	2. 20-24歳 0.0%	3. 25-29歳 0.6%	4. 30-34歳 8.7%	5. 35-39歳 33.5%
6. 40-44歳 36.3%	7. 45-49歳 12.4%	8. 50-54歳 1.3%	9. 55-59歳 0.2%	10. 60歳以上 0.2%
無回答 6.7%				

質問は以上です。お忙しいところ、ご回答いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒で、10月31日（金）までにご返送ください。